



0041317000

0041317-000

特219-6

教育学概論

入沢宗寿・〔著〕

帝大プリント聯盟

昭和13

AHB

入澤宗壽先生

講義プリント

教育學概論

(全)

聽講參考

昭和十二年四月—十三年二月^末
東京帝國大學文學部講義

帝大プリント聯盟發行

特 219
6



入澤宗壽先生

講義プリント

教育學概論

(全)

聽講參考



昭和十二年四月—十三年二月^末
東京帝國大學文學部講義

帝大プリント聯盟發行

入澤教授 教育學概論

目次

第一章 教育學ノ本質	(7)
参考書	(10)
第二章 教育學ノ性質及ヒ發達	
教育學ノ科學性・獨立性	(12)
第三章 教育學ト他ノ學問トノ關係	(25)
第四章 教育ノ可能ノ基礎	
可塑性 (Bildsamkeit) ノ問	
題ト選擇ト環境	(37)
第五章 教育ノ主体ト客体	(49)
(附) 人名索引表	
第六章 教育ノ目的 (Zweck)	(55)
第七章 教育ノ任務 (Aufgabe des Unterrichts	
.....)	(60)
第八章 教材ノ選擇・排列及統合	(67)
第九章 教授ノ段階及ヒ様式	(80)
第十章 教授ノ方法 (原理)	(86) a
指導學習	(94)
第十一章 訓 練	(121)
第十二章 宗教教育	(123)



新編

(全)



第十三章 美育及ビ体育 (130)
第十四章 學校論 (136)
第十五章 家庭教育及ビ社会教育 (142)

— 終 —

入澤教授 教育學概論

第一章 教育ノ本質

教育學ハドイツ語ノ *Erziehungslehre, Pädagogik*, 英語ノ *Pedagogy, Science of Education, Philosophy of Education* デアリ、最近デハ *Erziehungswissenschaft* トモ呼バレルガ、コレハ教育學向デアルカラ、教育トハ何ヤト云フコトヲ考フル必要ガアリ、ソレニ関シテ教育ト云フ言葉ノ意味ヲ見ルト *Education* ナル原語 *Educare* ハ引キ出スデアリ、*Erziehen* モ引キ出ス、注ミ出スト云フ意味ノ言葉デアリ、コノ語義カラシテ教育ハ性能ノ發揮ト云フコトガデキルノデアル、書經ノ周書康誥ニ克明徳トアルノハ天賦ノ徳ヲ發揮スルコトデアル。西洋ニ於テハ *Salzmann* ガ教育トハ子供ノ力ノ発達及ビ練習デアルトシテ居リ、*Rousseau* ガ生活ノ痼疾ト言ツテキルノガ矢張り性能ノ發揮デアル。猶ホドイツ語ニハ *Bildung* ト云フ言葉ガアルガ、是レハ *Formgeben* デアリ、教育ガ形ノ成マシ

ナイモノニ形ヲ異フルコトヲ意味スルノデアリ、ソレヲ陶冶ト云ツテキル。Unterrichtト云フ言葉ハ廣義ニハ教育トモ言ハレル。

HerbartガUnterrichtヲ經驗ト實際トノ補俣ト見タノハ同様ニ子供ノ力カラ成立シテキルノデアル。

漢字ノ教育ト云フ言葉ニ付イテ見ルト教ハ^教デアリ子が倣フト云フコト、^母即チ強拘スルコトヲ意味スルノデアル。育ハ養ナリ、ノ意味ガアリ、体育ヲ意味スル。コノ意味カラ教育ハ強制ニヨツテ模倣サセテ養育スルト云フコトヲ意味スル。所が^{模倣}模倣ト云フ字ハ^倣即チ模倣ノ意味ト字即チ子ヲ保護スル意味ヲ持チユ、ニ所謂教育ノ兩極性ヲ示シテキルノデアル。

國語ノオシフハ^教シ^教シノ意味デアリ、ソダツノ方ハ^{模倣}模倣ト云フ字ハ^倣即チ模倣ノ意味デアリ、^{模倣}模倣シテ生活ノ準備ヲ與フルト云フ意味デアル。猶水國語ニハヒタスト云フ言葉ガアリ、コレハ日尺スカラ来タノデアルガ、宣長ハ^{模倣}模倣ト云ツテキルガ、コレハ体育ノ意義デアル。猶水神習フト云フ言葉ガアリ、コレハマナブ、ナラフト同ジク^{模倣}imitate(模倣)スルコトデアリ、猶水

スタレタ言葉トシテオホスト云フノガアリ、コレハ生ヒシム、育ツト云フ意味デアリ、別ノ言葉トシテ^{模倣}模倣ト云フノガアリ、イタハシ、イトホシト云フ意味デアル。

以上述べタ如キ語原的解釈ニヨリ教育トハ^{模倣}模倣ノ助成、生活ノ準備、^{模倣}模倣ト強制等ノ意味ヲ持ツテ居リ昔カラ教育ノ性質トシテ言ハレタ主ナルモノヲ含ンデ居ルコトヲ見ル。

次ニ文化現象トシテノ教育ヲ考ヘテ見ルニ原始社会ニ於ケル最初ノ教育形式ハ

- (1) Parental fosterage (母ノ養育)
- (2) Parental training (母ノ訓練)
- (3) Social training (社会教育)

デアリ、社会ガ各員ヲ軍事ト宗教、職業ニ向ツテ^{模倣}模倣スルモノデアル。ソレニハ誓、入盟式等ガアルガ、ソノ社会ニ於ケル風習、儀礼、規則等ノ増加スル結果特ニ又文字ガ^{模倣}模倣サレテコレガ学校ト云フ形式教育ノ機關ヲ造ルニ至ルモノデアル。右代ノ支那ニ於テハ堯舜以前黄帝ノ時既ニ文字ノ教育ガアツタガ、堯ノ時、九族既睦平章百姓(尙書堯典)トアルノハ^{模倣}模倣ヲ^{模倣}模倣シヨウトスルコトヲ示シテ居リ、舜典ニ^{模倣}模倣作司侯

敬教五教在寛トアルノハ世界ニ於ケル教育官ノ
始メデマル。猶ホ字典ニハ教育法ヲ説イテ教育
子直而温(子トハ六子ヨリ御天^の子)寛而栗
トモアル。周代ニナルト年制ガ完備シテ整、序、
序、學ト云フモノガ完備シ、教育法モ礼記ノ中
ノ年紀ニ見ルマウナ詳シイモノガ表ハレテ平ル。
然シ勿論文字ヲ教フルニ止マラズシテ、釋奠ソ
ノ他ノ礼ニヨル教育ヲ主ンジタコトニ注意スベ
キデアアル。斯クノ如キ教育ノ起原ニ見テ教育ハ
社会的ナモノデアアルコトガ明カデアリ、茲ニ
Kant ヲ Schleiermacher ハ教育ヲ以テ前ノ
generation ガ後ノ generation ニ與ヘル影響ヲ
アルト定義シテ平ルガ、然シ同時ニ Kant ハ自
然ニ主レタ素質ヲ漸次ソレ自身カラ発達サセル
コトガ教育デアアルト云ツテ、猶ホソノ素質、稟
賦ノ調和的発達ヲ説クノデアアル。

Butler ハ次ノ如ク云フノデアリ、教育トハ
個人特有ノ可能性ヲ實現シテ文化ト称スル思想、
行動、制度ニ進マセルコトヲ補助スル見解ヲ以
テ種族ノ精神的財産ニ漸次適用スル事デアアル。
コ、ニ云フ精神的財産ト云フノハ(1)科学的、(2)
文学的、(3)美的、(4)制度的、(5)宗教的デアリ、

子供時代ハコノ五ツノ遺産ニ適應(adapt)サ
セルタメニ存在スルモノデアルト云フ。コノ
Butler ノ定義ハ個性ノ性^の發揮ト云フコト
ト文化ヘノ適應ト云フコトヲ明カニ云ツタモノ
デアアルガ、ドイツニ於ケル文化教育學者ハ文化
ノ典型的ナモノトシテ學問、道德、芸術、宗教、
經濟、政治ヲ擧ゲテ之等文化ノ傳達ニヨツテ、
文化ノ創造ノカヲ養ハセルコトガ教育デアルト
スルノデアアル。Spranger ニヨレバ、教育ハ
全体的價值受容性及ビ價值構成カヲ内部カラ開
展セントシテ他人ノ心ニ対スル賦與的^の發ニヨツ
テ運バレル意志デアルト云フノデアアル。猶ホ彼
ニヨレバ教育ハ客觀的歴史的ニ與ヘラレタ文化
ノ了解ニ遠引キ上ゲルコトデアツテ、與ヘラレ
タ文化ヲ經由スルコトハ常ニ眞ノ文化意志ヲ惹
キ起ス手段ニスギナイ。畢竟ソレハ与ヘラレタ
客觀的文化ニ觸レルコトニヨツテ文化ヲ造リ出
スカヲ養ハウトスルノデアアル。

斯クノ如ク教育ヲ社会文化ヨリ考フルトキ、
社会学文化学ニヨルモノデアリ教育ハ社会学ヲ
アリ、文化ニ向スル事柄デアアル。又生物学等ガ
環境ニ対スル適應トシテ見ルコトニ導イタ。ソ

ウシテ一般ニ歴史的研究ノ秘途ガ教育ノ本質ニ
貢献シタノデアアル。カクシテ *Kriek* ハ教育ヲ
以テ社会生活ノ根本概念トシテ即チ人間ノ本質
的ナ必然的ナ表現デアルトシテ他ノ文化及ビ社会
組織ト同様ニ社会ノ根本形式トシテ見テ教育
ハ成長シツ、アル各個人ニ社会ノ *Type* ヲ移住
スルコトデアアル。或ハ又社会ニヨツテ人間ノ成
長ヲ覚醒スルコトデアアル。

Barth モ夙ニ教育ヲ社会共同体ノ精神的骨
柱デアルト定義シテキル。

Dewey ハ人間ガ生活体トシテ必然ニ要求ス
ル自己更新 *Self-renewing* デアリ、コノ更
新トハ信念及ビ理想ニ依ルモノデアリ、ソレハ
社会的ナモノデアルカラ、教育ハ社会的ナモノ
デアアル。

斯クノ如クシテ教育ハ或ハ個人的ニ又ハ社会
的ニ或ハ形式ノ賦与文化ノ移住ト云フ如ク種々
ニ見ラレルガ、廣義ニ云フナラバ、個体が環境
ニヨツテ影響ヲ受ケテ成長発達スル過程デアアル
トシ、狹義ニハ成熟者ガ未成熟者ニ対スル具象
的ナ意識的ナ影響ト見ル、勿論コノ定義ノ背後
ニハ社会ヲ豫想シテキル。コノ狹義ノ定義ガ從

采ノ一破ニ教育ノ意義トシテ誦メラレテ采タモ
ノデアアルガ、斯ク限定スルト *adult-education*
(成人教育) *self-education* (自己教育) ハ
含メナイモノトナル。ソレ故ニ寧ロ廣義ニ見ル
ノガ現在ノ状態デアルト云ヘル。然シ研究ノ対
象トシテ漠然タルモノデアアル。コレニ就イテ
Dewey ハコノ廣義ノ見方ヲトツテ置イテ同時
ニ教育ニ於テハ形式的ナモノト非形式的ナモノ、
任意モノト意図的ナモノトノ均衡ヲ保ツコト
が必要デアルト云フ。此ノ矣ニ因シテ *Frisch-*
eisen Köhler ハ次ノ如ク言フ。現在ト理想、
存在ト價值、必然ト自由トノ一致ハ無意識的ナ
発達ニモ意識的ナ発達ニモ見ラレルト云フノデ
アルガ、教育ハ此ノ無意識ナモノヲモ生ムベキ
デアアル。畢竟、教育ノ本質ハ簡單ニ云フナラ子
供ノ自然ヲ理想化スルコトデアリ、*Hönigswald*
ハコレヲ主観ノ客観化、又ハ客観ノ主観化デア
ルト云フノデアリ、コノ意味ハ兒童ヲ文化的ニ
スルコトデアアル。猶ホ教育ヲ教育トシテ見ルヨ
リモ陶冶トシテ廣ク見ルコトガ今日ノ傾向デモ
アル。*Kerschesteiner* ハ陶冶ノ概念ヲ價値
的方面 (*axiologische*) 心理的方面 (*psycho-*

logische) 目的々方面 (teleologische) ノ三
方面ヨリ見ルモノトシ、陶治ハ個人ニ可能ナ廣
ク及び深キニ於テ可能ナ文化財ニヨツテ喚起サ
レテ個人的ニ組織セラレタ Wertsinne 價値
的意義ヲアルト定義スル。猶、陶治ニ関シテ
Frischeisenköhler ハ次ノ如クイフ。

個性ハ現実ニ現ハレル理想ヲ自ラ持ツガ故ニ
自念ヲ完成シ、陶治ハコトニ神のナモノト自然
的ナモノトが結合セラレル過程ニ於テ個性が進
ム Process デアルト云フ。又陶治ハ東賦ノ発達
デアツテソレハ内的條件カラノ影響ヲ含ムノデ
アルト云フ。茲ニ彼モ價義ニ考ヘテキル。

教育ノ本質ヲ歴史的ニ見ルナラバ初期社会ニ
於テハ体育カラ訓育ヘ、ソレカラ智育ヘト発展
シ社会的ニハ徳教ヲ布クト云フコトが中心デア
ル。徳ヲ明カニシ、五教ヲ布クト云フノハソレ
デアル。知育ニ於テモソノ教育内容ハ實際的デア
ル。然ルニ支那、印度、希臘ニ見ル所ノ文化
政治が盛ンデアルトモハ學術ヲ教育ノ中心トナ
スニ至リ、教育ノ中心ハ六藝、五明、七科ト云
フマウナ云ハハ各科的智識ノ教育が教育ノ中心
ヲ形成シタ。

ソノ次ニ承タ時代ハ宗教的修養ヲ教育ノ本體
トシタ。

近世ニナルト文芸、自然科学、体育ノ要素ヲ
汲活スルコト、ナリ、十七世紀ニ於テハ Come-
nius, Milton 等ニ見ル如ク宗教的デアアルガ
同時ニ吾間的、社会的ノ要素即チ社会生活ノ準
備ニ教育ノ中心ヲ置き、十八世紀ニ至リ汎愛派
Philanthropisten ニ見ル如ク社会的意義ノ
方が中心トナルニ至ツタ。然モ同時ニ Salzmann
ノ如クカノ発達及び練習トシ所謂形式陶治、即
チカノ陶治ヲ主トシタノデアアルガ、元來 Ergie-
hung ト云フ言葉ハ狹義ニハ訓育ヲ意味シ、又
形式陶治ヲ意味スルノデアアル。又 Salzmann
が教育トハ少年ヲ素質及び使命ニ従ツテナシ得
ルモノ及びナスベキモノニスルコトデアルト云
ヒ、又ヨキ教育ニハ教育スル人トセラレル人ト
ノ両要素が存在スルト云フノモ教育ノ本質ニ関
スル吟味ヲ云フノデアアル。

Kant ハ社会的ニ見タノデアアルガ、Kant 派
ノ Heusinger, Niemeier ニ至ルト環境ノ影響
ヲ注意シ廣義ト狹義トヲ吟味シテキル。ソシテ
十九世紀ニ於ケル社会学生物学ノ進歩ガ教育ニ

及ボシタ影響ハ多大デアリ、既ニ見タ如クデア
ル。Guyeauガ教育ヲ正常的暗示 Normal
Suggestionトシ、又国民的ニ見タコトハコノ
生物学社会学並ビニ心理学ノ考察ニヨルモ、デ
アル。

結 論

教育ニ於テハ教育スル者即チ教育ノ主体ト、
教育セラレル者教育ノ客体トガ具ツテキルト見
ルノガ狭義ノモノデアルガ、此ノ教育スルモノ
ハ必ズシモ個人デナク、社会若シクハ自然モ感
化影響ヲ与フルモノデアル。コノ個体ト、交渉
或ハ接触ノ莫ニ教育ノ本質ハ存スルノデアリ、
コノ影響変化ニツイテ研究スルノガ教育学デア
ル。

(参考書)

Butler - The Meaning of Education
(1915)

Dewey - Democracy of Education
(1916)

Henderson - Text-Book in the Princi-
ples of Education (1910)

アメリカニ於テ生物学的社会的方面カラ見テ

最も組織的ナモノ、新シイモノトシテハ

Thomson, G. - a Modern Philosophy
of Education (1919)

Barth - Die Elemente des Erziehung
Unterrichtlehre 5版 (1912)

Spranger, E. - Lebensformen 3版 (1922)

" - Kultur und Erziehung
2版 (1923)

Krieck - Philosophy der Erziehung
(1922)

" Menschenformung (1925)

" Erziehungswesen (1927)

Flitner, W. - Systematische Pädagogik
(1933)

Sturm, K. - Allgemeine Erziehungswesen
(1927)

Petersen, Allgemeine Erziehungswesen
(1924)

" Der Ursprung der Pädagogik
(1931)

" Pädagogik (1932)
(11)

Petersen; Führungslehre der Unter-
richt (1937)

第二章 教育学ノ性質 及び発達

教育学ハ文化現象ナル所ノ教育ニツイテ研
究スル所ノ學問ナルガ、従来ソレガ學問ノ体
系ノ中ニ占ムベキ地位性質ニ関シテ種々ノ議論
ガアツタノナルガ、ソレヲノ議論ヲ顧ミルコ
トニヨツテ先ツ教育学ノ性質ヲ明カニシヨウト
思フ。

Deakel ハ自然科学、数学、心理学、言語学、
歴史等ヲ純粋科学トシ、應用科学トシテ医学、
教育学、倫理学、社会学、政治学、法理学、神
学ヲ挙げテ平ルガ、彼ガ應用科学トシタ所ノモ
ノハ夫々独立ノ研究対象ヲ持ツテ平ル以上今日
ハ應用科学トハ見ラレテキナイ所ノモノナル。

従来議論サレタ第一ノ点ハ教育学ハ叙述科学
カ説明科学カ規範科学カト云フ問題ナル。之
ニ付イテ考ヘテ見ルニ教育学ガ人間ヲ如何ニ教

育スベキカト云フ問題ニ就イテ考察スル以上現
実ニ於テ如何ニ有ルカ、又ハ歴史上如何ニアツ
タカト云フノミヲ以テ決スルコトハ出来ヌカ
ラ教育学ハ此處ニ批判科学ヲナケレバナラナイ。
教育ニ於テ教育的價值、目的ノ問題ニ関スル限
リ特ニサウナルガ、方法ニ関スルモノト雖モ
Mesmer ガ云フマウニ方法上ノ規範ヲ演進ス
ル說ニ於テ規範科学ト云ヒ得ルノナル。佛シ
作ラ従来斯クノ如キ規範ヲ單ニ哲學的ノ思辨ニ
ヨツテ考ヘ教育ノ事實的歴史的的研究ヲ無視シテ
来タモノガアツタタメニソレニ對シテ先ツ叙述
科学トシテノ教育学ヲカ説スルモノガアル。

Johannes Kretzschmar ガ嘗テ哲學的教育
学ノ終ト云フ言物ヲ公ニシテ教育学ハ比較法ト
絶對心理学トニヨツテ建ツベキモノナルト云フ
コトヲ主張シタガ、モトモトナル在紀ノ水頃カ
ラ實驗的統計的研究ガナサレテソレヲマトメテ
實驗教育学ガ成立シ又今日 America ニ於テハ
教育測定、学校調査ノ如キ数量的研究ガナサレ
テ平ルノナル。此等ノモノハ謂ハマ下カラノ
教育学デアリ、之ヲ以テ従来ノ上カラノ教育学
ニ異ラントスルノナルガ、カ、ル数量的研究

ヲ以テナシ得ザル部分が非常ニ多ク又事實ノ研究ヨリ目的乃至規範ヲ直チニ引キ出スコトモ不可能ニ屬スル。然シ事實ノ研究ノ必要ナルコトハ言フヲ候タナイコトデ、*Lochner*ノ敘述教育学ノ如キ教育事實ノ歴史的社会的研究ヲ企テルモノデアリ、又ソレトハ哲學的ナル實ニ於テ異ツテハキルガ、*Krieck* ヲ *Petersen*ノ如キモ歴史的ニ教育事實ヲ研究セントスルモノデアル。此ノ哲學的研究ガ近時著シクナツタノハ實驗的ノ研究ニ對スル反動デモアルガ、ソノ中デ所謂批判的教育學ノ人々ガ確カニ上カラノ教育學デアルトシテモ、*Dewey*ノ如キ經驗哲學カラスルモノハ兒童ト現實即チ下カラ考察スルモノデアリ、而シテ亦全体觀ノ哲學カラスルモノハ歴史事實、心理ト同時ニ理想目的、價値カラ見テ教育學ガ敘述科學タルコトモ認メ、同時ニ批判科學タルコトモ認容スルノデアル。コノ立場ニ立テバ、教育學ハ敘述科學ノ學デアルト共ニ規範科學デアツテ事實的研究ト同時ニ批判的研究ヲナスベキモノデアル。教育學ハ現實ヲ理想化スル事柄デアルガ、故ニ必然的ニ兩者ヲ含マナケレバナラナイ。

教育學ノ性質ニ關スル第二ノ問題ハ教育學ノ理論ガ一般的ノ價値ヲ持ツカ否カト云フコトデアル。コレヲ疑フ人ハ教育ガ時ト所ヲ異ニスルコトニヨツテ人向ノ発達程度ト文化ノ狀況ヲ異ニスルガ故ニ何レノ時所トニ一般的理論ハアリ得ナイトスル。シカシ此ノ考ヘハ時ト所ト又個性ノ相違ノミヲ見ルタメデアリ、ソレラニ共同ノ實ヲ注視スルナレバ、其処ニ一般的ノ原理ヲ立テ得ルノデアル。

又斯クノ如キ一般的ノモノハ抽象的デアルカラ實際トハナレタモノデアリ、實際ノ適用ニ當リ考慮ヲ要スルノデアルガ、一般的ノ方針方法ハ教育ノ實際ヲ指導シ、實際ニ行ハレ得ルモノデアル。コノ一般的ノ價値ヲ疑フ者著シイ例ハ *Dilthey*ノ「一般的教育學ノ可能ニツイテ」ト云フ1888年ノ論デアル。彼ハコノ内ニ、從來ノ教育學ガ教育ノ目的、教材ノ價値、教授ノ方法ヲ一般的ニ決定シヨウトシテ國民性ノ相違ト國家ノ要求ヲ顧ミナイタメニ現在ノ學校制度ヲ害スルコトヲ主張シテ、又精神生活ソノモノカラ目的及ビ方法ヲ引キ出シテ來ルベキデ、コノ一般的ノモノガアルト云フノデアル。

コレハ心理、歴史、現実ニ捕ハレタ見解ト云ハ
ザルヲ得ナイ。又カクノ如キ見方が教育ノ特殊
性ニ着眼シタコトハ考フベキコトデ、東洋ニ於
ケル時、所、位ノ思想モコレデアリ、鎌倉時代
ニ日蓮が概、時、國ニ注意シタノモコレデアル。

Bergemann (1862~)モ1900
年ノ社会教育学ニ於テ各個人ハ此衝能カヲ異ニ
シ、各時代ハソノ発達状態ヲ異ニスルが故ニ、
教育ノ目的モ方法モコノ主物的歴史的ナ基礎カ
ラシテ一般的デアリ得ナイト云フノデアルガ、
彼モ又特殊の方面ノミヲ見テ共通ナモノヲ看過
シテ平ルノデアル。只彼等ノ主張ニ考フベキ所
ハ教育ノ實際が個性的民族的文化的デアルコト
ヲ認識スベキコトデアリ、理論ニ於テ共通デア
リ得テモソレヲ特殊ノ方面ヘ適用スル場合ニ考
慮ヲ要スルノデアル。此故ニ一般教育学ト云フ
モノト共ニ特殊的教育学若シクハ應用教育学ノ
存在ヲ必要トスルノデアル。

Schleiermacherモコノ異ニ因シテ凡ニコレ
ヲ概ツテ教育セラルベキ少年ハ個々ノモノデア
ルカラ理論ハ普遍的デアリ得ナイ。又言語ト民
族トノ範圍ハ同一デアルカラ、ソコニ教育学ガ

可能デアルト云フノデアル。

Sprangerガ国民生活ヨリスル教育学ト云
フモノモコノ傾向ノモノデアル。

然シ乍ラ Barthガ言フが如クニソレヲノ上
ニ一般的ナモノガアリ得ルノデアル。即チ例ヘ
バ教材ノ論ガ文化ニ左右セラレルノデアルガ、
コレトテモ Latin語ノ論ハ Europe一般ニハ
共通デアルト云ツテ平ル。猶ホ彼ニヨレバ教育
ハ社会ノ伝達ト定義スベキデアリ、教育ハソノ
生活セル社会ノ目的理想ノ如何ニヨツテ内容ガ
異論ニヨツテ決定セラレル。ソレ故ニ嚴密ニ言
ハバ教育学ハ普遍的デナク、一定ノ社会ニノミ
共通スル。コレハ教育ノ本質カラ自然ニ出テ来
ルコトデアル。ソレ故ニ彼ノ書物ニモドイツノ
社会ノ目的、理想ヲ常ニ眼中ニ於テ論ジ得ルニ
通ヤナイ。ソレハ歐洲ノ他ノ文明諸國ト大差ハ
ナイ。目的ノモノハ変化スルケレドモ共同体
ノ目的ニ奉仕スルコトハ一途不変ダ。ソノコト
カラ一定ノ徳目ガ現ハレテソレハ普遍妥当的デア
リ、一般的デアリ、人類的デアルカラ古代ノ
人がソレニツイテ言ツタコトハ今日ニ於テモ價
値ガアル。教育学ニ含まレル現實性ノタメニ通

去ノ教育学説が我々ニ彼ニ立タナイト云フノハ
誤リデアルト云フノデアアル。ソシテソレハ正直
ナ告白デアアル。

第三ノ問題トシテハ教育学ハ術カ學カト云フ説
ヒヲ起シタモノガアル。十八世紀ノ末ニハ教育
學ヲ *Ergiehungskunst* (教育術) ト呼ンダヒ
ノガアツタガサウ云フ意味デコレヲ術トシテ學
ニ非ズトスルノハ教育学ノ理論ガ自然科学ノ法
則ノマウニ例外ノナイモノデナク、又直接デナ
イト云フコトヲ以テ云フノデアアルガ、然シコレ
ハ文化科学一帯ガ自然科学ト異レルメデアリ
ソノ故ヲ以テ文化科学ガ科学ヲナイト云フコト
ハ云ヘナイ筈デアアル。此ノ問題ノ起ル理由ノ一
ツトシテハ從來ノ教育学ガ規則ヲ挙ゲルニ留ッ
テ原理法則ヲ与ヘナイコト、若クハ單ニ意見ニ
留マルト云フコトガアルガ、然シ教育事實ニツ
イテノ研究ノ結果立テラレタモノハ單ナル規則
デモ意見デモナク原理法則デアアル。*Natorp* ハ
教育学ヲ陶冶ノ學向トシテ單ナル術ノ教デハナ
ク學向的性質ヲ備ヘタモノデアルト云フノデア
アル。コノ學向ノ性質如何ト云フコトガ問題ニ
ナルデアリ、*Butler* ハ教育ノ科学的研究ガ

不可限デアルト云フ論ハ科学ニ対スル誤解カラ
来ルト云ヒ、科学トハ分類サレタル智識デアツ
テソレ以外ノモノデハナイ。所謂精確科学ハ教
學ノ外ニ無イト云ツテ居リ、元來教育学ハ
Comenius 以來系統的ニ敘述ガ試ミラレテ来
爾来又 *Trapp* ハ心理的且ツ社会的ニ教育法則
ヲ見出サウトシテ居リ *Kant* ハ教育ニ対シテ概
念的吟味ヲ加ヘテ居リ十九世紀ニ於テ *Herbart*
ガ系統的ニモノヲ建設シテ今日ニ至ツテキルノ
デアアル。*Herbart* ハ科学トシテノ教育学ハ原
理ノ集マツタモノデアツテ、教授學トシテノ術
デハナク科学ハ術ノ準備トナルモノダト云ツテ
キル。*Niemeyer* ハ人間ノ本性及ビ有機体ノ
内外ノ法則ヲ熟知スルニ從ツテ教育ノ規則ガ完
成シテ科学的ニ取扱ハレタモノガ教育学教授業
トナツタ。人間ノ性質及ビ能力ノアラユル変化
ハ何ラカノ條件及ビ法則ヲ必要トシテコノ條件
及法則ハ人類學及ビ心理学ノ研究ニ於ケルガ如
ク充分ナル觀察ニヨリ発見シテ科学的研究ニヨ
リ秩序立テラレヌバナラナイト云フガ、コノ変
化影響ノ條件法則乃至規範ヲ系統的ニ組織シタ
モノガ教育学デアリ、既ニ系統的智識ガ學向デ

アレ以上教育学ノ科学的智識ヲ否定スルコトハ出来ナイ。又コノ変化ノ法則ヲ客観的ニ又数量的ニ否定シヨウトスル努力ガ能ケラトキルガソレハ教育研究ノ一方固デアリ、之ニ対シテ哲学的或ハ規範的ノ研究モ又ナサレナケレバナラナイ筈デアアル。

第四ノ向題トシテ教育学ハ純正科学、即チ独立ノ学向カ應用科学カト云フ論ガアル。学向ノ系統ノ内テ教育学ハ他ノ学向ト共ニ應用科学ニ分類ヒラレタコトモアリ、又教育学ノ科学性ヲ認メタ *Herbart* ガ教育学ハ実践哲学ト心理学トニヨツテ前者ハ教育ノ目的ヲ示シ、後者ハ方法手段トナルモノヲ示スト云ツタコトハ頗ル誤解ニ導キ易イノデアアルガ、倫理学ハ人生ノ目的ヲ示ストシテモ直チニ教育ノ目的ヲ示ストモ限ラナイ。又心理学ハ方法的研究ノ一ツノ基礎ヲ与ヘテクレルガ、ソレカラ直チニ手段方法ヲ取ルコトハ出来ナイ。教育ノ目的ハ可観的ナモノデナケレバナラヌカラ必ず子供ノ現実ト關係シテ考フルベキモノデアルカラ、方法ハ又教育ノ目的ト關係シテ考ヘナケレバナラナイモノデアリ、コノ子供ノ現実ガ直チニ方法ヲ示スモノデナイ。

コノ其ガ *Messmer* ガ教授学ト心理学トヲ區別シテ教授学ハ方法上ノ規範ヲ研究スルモノデアリ、ソレハ心理学ノミガ立テ得ルモノデナイト言ツテ居ル所デアアル。教育学ハモトヨリ種々ノ学向ト關係スルガ、ソレラノ学向ノ原理ト教育原理トハ別デアアル。教育ノ目的及ビ方法ハ教育学以外ノ何レノ科学ヲ以テシテモ決定スルコトハ出来ヌモノデアアル。教育トハ既述ノ如ク現実ノ理想化ノ課程デアリ、教育ハコノ独立ノ研究範圍ヲ持チ独立ノ学向ナラザルベカラザルモノデアリ、此ノ其ガ近時教育学ノ独立性トシテ *Kriech* 等ノカ説スル所デアアル。

過去ニ於テ *Schleiermacher* ハ教育学ヲ政治学ト同視ニ倫理学ノ應用科学デアルトシタガ、倫理学ハ單ニ教育ノ目的ニ關シ或ハ訓育ニ關シテ關係ヲ持ツダケデアアル。*Herbart* ハ歴史哲学ガ政治学ノ基礎トナルト同ジク、心理学ガ教育学ノ基礎デアルト云フガ、之ヲ以テ心理学ノ應用科学デアルト云ツタノデナク、又 *Herbart* ノ考ヘタ心理学ハ文化心理学ヲ含ムモノデアリ、従ツテ歴史哲学ガ教育学ニモ重大ナル關係ヲ持ツテ居ルノデアアル。斯クシテ教育学ト政治学ト

ハ確カニ並行シタモノデアリ、ソコニ又歴史哲
学の探求が必要ナルデアアル。全テ他ノ学
向ニ於ケル研究結果ヲ採取スルト云フコトハ決
シテソノ学向ノ独立性ヲ失フ所以デナク、ソレ
故ニ心理学ハ多クノ人文学ニ影響シタノデアリ
生物学モ亦大ナル影響ヲ與ヘタモノデアアル。

斯クシテ教育学ハ教育ノ事實ニ対シテ事實的
經驗的並ニ規範的哲學的ノ研究ヲシテ理想ト現
実、目的ト方法トノ関係ノ上ニ研究シナケレバ
ナラナイデアアル。且ツ又 *Jonas Cohn* ガ云
フ如ク一般ナルモノヲ歴史的ナ特殊ト結合ス
ルノモ必要デアリ、歴史的ナ状態、国民、邦土
ニ於ケル特殊性ト普遍性トノ関係ニツイテ考ヘ
ル所が無ケレバナラナイデアアル。教育学ガ第
三第四ノ如キ問題ヲ起シタノハ、ソレガ可ナリ
石イ学向デアアルノニモ拘ラズ客観的理論的系統
的叙述ガ少ナカツタコトニヨルデアアル。ソレ
ニ対シテ既ニ十七世紀ニ於テ *Comenius* ハソノ
法則ヲ発見シヨウトシ、又ソレヲ列挙シテキル
ガ、全テ自然ノ *Analogy* 類似ニスギナイモノ
デアリ、ソノ根底ハ心理学的考察ニヨルモノデ
アル。 *Analogy* ハモトヨリ研究法ノ一種

デアリ、今日ノ生物学的教育原理ハソレニヨル
モノが多いガ、然シソレガ教育的ニ基礎ツケラ
レテキレバ教育ノ理論ト云ヒ得ルデアアル。
十七世紀、十八世紀ニ於テ *Locke*, *Rousseau* 等
ノ教育意見ノ陳述ハ可ナリ多ク出テキルガ、学
的見地カラ教育ヲ説クノハ 1780年ニ公ニサ
レタ *Trapp* ノ教育学ノ研究デアアル。彼ハユノ
書物ニ観察、実験、統計ニヨツテ教育事實ヲ客
観的ニ研究スルコトヲ唱ヘ同時ニ教育原理ハ一
方心理的ニ他方社会的ニ追求スルコトヲ明言シ
テキル。

Niemeyer モ同様ノ意見ヲ彼ノ書物ニ述ベテ
居リ且又人類学的、教育学的調査ノ必要ヲ説キ
且ツ基礎科学トシテ人類学、生理学、心理学、
倫理学ヲ取入レルベシト云ツテキル。此ノ基礎
科学ノ採取ハ決シテ之ヲ応用科学タラシムルノ
デハナクテ之ガ科学的基礎ヲ提供スルモノデア
ル。猶木根ノ書物ハ組織的ナモノトシテ注意サ
ルベキデアアル。

十九世紀ニ至リ教育学ノ性質ニ関シテ論述シ
テキルノハ *Schleiermacher* デアルガ、彼ガ
教育学ヲ倫理学ノ応用科学トシタノハ偏見デア

ルトシテモ、ソレヲ以テ学向的建設ヲナサウト
スル考ヘハ認ムベキデアリ、且ツ彼ノ術トシテ
ノ教育ト学トシテノ教育学ハ明カニ區別シテ平
ルノデアリ、教育学が經驗的デアルカ思辨的デア
ルカト云フ問題ヲ掲ゲテ教育学ハ後者即思辨
的ナモノデアルト云フ。即チ理論トシテ分類シ
概念的ニ整理スルコトヲ云ツタノデアル。

Herbart 及ビ Beneke ハコノ理論化、系統化
ニ於テ非常ナ進歩ヲ作ツタモノデアリ、コノ両
者ニ於テ心理学的研究が最も重ンビラレ基礎ツ
ケラレテキル。Spencer = 至リ教材ノ價值ノ問
題ヲ論及シ、生物学的、心理学的基礎カラ追求
スルコトニ努カシ Bain ハ教育ノ概念ヲ吟味
シ又教授ヲ論理的、心理的ニ研究シテキル。

生物学的研究ハ素直ト環境トノ方面ニ於テ教育
学ノ研究ヲ追メ Trapp ノ方法ガ實驗教育学並
ビニ数量的研究トナリ教材價值ノ問題ハ文化哲
学、價值哲学ニヨツテ進メラレテ来タ。Bain
ノ方法ハ Messmer, Sallwürk 等ノ教授学
的ナ研究トナリ又美学的ナ研究ガ Weber 等ニ
ヨツテ進メラレテ同時ニ歴史的哲學的研究ガ文
化哲學的方面カラ進メラレテ来タ。之等ノ教育

学ノ発達ヲ積水各學向トノ關係ニ於テ述ベテ見
ヨウト思フ。

第三章 教育学ト他ノ 學問トノ關係

教育学ハ教育ガ社会現象デアル以上社会学ト
歴史学ト關係シ又精神現象ヲ取扱ヒ以上心理学
哲学ト關係シ、又身体ノ方面ニ就イテハ生理学
人類学等ト關係シ之等ノ學問ノ発達ガ教育学ノ
発達ニ貢獻シタコトハ少ナカラザルモノガアル。
尤モ教育ガ発達ノ助成デアアル莫ニ於テ生物ノ發
達学デアル生物学ト關係ヲ持ツテキル。教育ノ
理論ニ於テハ Comenius が動植物ノ現象ヲモツ
テ教育ニ類比シタト云フコトハ有名ナコトデア
ルガ、我が國ニ於テモ細井平洲ノ如キハ草木ノ
生長マ獸ヲ飼フモノニツイテ考ヘ、全テモノニ
ハ始中終ノ順序ガアルカラ教育モ又ソレニヨル
ベキデアルト云フコトヲ主張シ Froebel ハ幼稚
園ノ建設ニ當ツテ植物比喩ヲナシタノデアツタ。
十九世紀ニ於テ生物学ガ成立シタコトカラ哲学

倫理学、社会学等ニ多大ノ影響ヲ及ボシタト同
ジク、教育学ニモ影響スル所が甚ダ多カッタ。
殊ニ教育ニ於ケル遺伝、環境、反復原理ノ適用
ニ於テ教育方法ニ示唆ヲ與ヘタ。生物学ノ理論
ノ適用ハ廿世紀ニ至リ着シクナリ *America*、
教育ハ多カレ少ナカレ生物学的デアルト云ヒ得
ル。ドイツニ於テモ *August Lay* (1862~19
26)ノ実験教育学(1908)ト云フ書物ハ生
物学的指導原理ヲ十箇數ヘテ居リ、教育学ヲ生
物学的基礎カラシテ考察シテ居ル。猶ホ *America*
ニ於テハ一層廣ク生物学的基礎カラ教育ヲ眺メ
テ居リ、或ハ教育ヲ順應ノ過程トシテ取扱ヒ或
ハ学習ノ過程ヲ動物ノソレト比較シ、社会ニ於
ケル現象ヲ生物学的考察ノ上ニ眺メテキルノデ
アル。*America*ノ *Coe*ハ進化論ガ教育活動ニ
新シイ見地ヲ與ヘタ矣ヲ次ノ三ツノ矣トシテ居
ルノハ大体ニ於テ正当ト認ムベキモノデア
ル。

- (1) 人間精神ノ発達的ノ見地ヲ立テタコト。
- (2) 本論ガ重要視セラレルコトニ至ツタコト。
- (3) 教育ヲ種族ノ発達ノ見地カラ眺メサセル
コト。

猶ホ *Miller*ハ生物学ガ教育ニ与ヘタ重要ナ

ル貢獻ノ一ツハ有機体ノ各部ノ動的ノ關係ヲカ
説スル矣ニアル。ト云ツテキル。次ニ生理学及
ビ衛生等モ人間ガ身体ヲモツ候リ、ソノ発達ニ
関シテ教育学ニ重要ナル關係ヲ持ツテキル。殊
シテ生物学ガ直チニ教育ノ法則ヲ立テル事ガ
出来ナイマウニ生理的方面ノミカラ教育ヲ論ズ
ルコトハ出来ナイノデア
ル。

次ニ人類学ハ人類ノ原始区分ヲ研究シ又人類
ト風土トノ關係ヲ吟味スルモノデアリ、又人類
ノ特性ヲ明カニスルモノデア
ルカラ教育ニ關係
ヲ持ツテキル。即チ *Montessori* (1870~)
教育学的人類学 *Meumann* (1862~1915)
ノ児童ノ人類学的研究等ハコノニ必要ナモノト
ナルノデア
ル。

*Meumann*ハ人類学的研究ト並行シテ医学
的ノ研究及ビ精神病学的ノ研究ヲ以テ児童発達
ノ研究ヲ企テタモノデア
ルガ、ソレハ *Normal*
(正常的)ノ場合ニモ大ナル参考ヲナスモノデア
ル。*Albert Hirth*ノ *Pädagogische
Anthropologie*ニモ同ジマウニ説明シテキル。
心理学ハ古代カヲ *Plutarch* ソノ他ノ人々ガ教
育論ノ基礎トシテ考ヘタガ近世ニ至ツテスペイン

Tives 等は、評シクソレヲ取リ 十七世紀ニハ一層ソレガ廣ク考ヘラレタガ、十八世紀ニナルト *Teten* 等、経験的心理学 *Tiedeman*、児童心理学等ガ現ハレ、教育ニ於テハ *Basedow*、*Elementalwerke*、中ニ人間ノ悟性ニツイテト云フ部分ニ感覺、注意等ニ當ツテ心理的、教育的ニ説イテキル。ソノ部分ハ今日ニ於テ教育的心理学ト云ヒ得ルモノデアル。猶木進ンデ *Trapp* ハ実験物理学カラ実験心理学ノ可能ヲ推測シテソレヲ教育研究ニ適用スベキコトヲ唱ヘタノデアルガ、十九世紀ニナルトソレガ實現サレテ学習ノ課程ヲ実験心理学的ニ研究スルコトニナツテ、ソレヲノ研究ヲマトメテ *Lay Meumann*、*Rusk* 等ノモノヲマトメテ実験教育学ガ成立シタ。勿論ソレハ児童ノ学習作用ノ実験的研究デアリ教育研究ノ一部デアリ、デアル。猶ホ又教授ノ結果ニ對スル実験的研究ガ教育査定又ハ教育測定トナツテ *America*ニ於ケル盛ンナ研究ヲ惹キ起シテキルガ、ソレハ心理学ニ於ケル *Mental Test*、考ヘテ教育ニ適用シタモノデアリ、同時ニ通常ノ試験ニ於ル科学的方法ヲ立テヨウトシテナサレツ、アルノ

デアル。勿論ソレ等ハ従来ノ主観的評價ニ代フルニ主観的測定ヲナサントスルモノデアルガ、ソコニ限限ノアルコトハ承認シテ弁ナケレバナラナイコトデアル。コノ実験的数量的研究ト共ニ十九世紀ニ於ケル心理学ノ内デ教育ニ貢獻シタノハ実験心理学、発達心理学デアル。コレハ生物学ガ心理学ニ對スル影響トシテ現ハレタモノデアリ、コノ方面カラ児童ノ発達原理ニ貢獻シタ莫ハ少クナイノデアル。

Judd; *genetic psychology for Teacher*
(1903)

The psychology of Social Institution

モコノコトヲ述べテキル。

児童心理学ハ児童ノ発達ヲ研究スルモノデアルカ *Claparide* ガ云フマウニ教育ガ子供ノ智識ノ上ニ立ツ外同様デアル。児童ノ心理ハ *Preyer*、*Groos* 等ノ幼児 (*Infant*) 研究ヲナシタモノデアツタガ、近頃ハ直接法令児童ノ研究ヲナスコト、ナリ、*Oswald Kroh*、*Die Psychologie des Grundschul Kindes* 1930 等ガ出ヅルニ至ツタ。猶ホ児童ノ研究

トシテハ *Bühler, Piaget* 等ノモノガ教育研究ノ基礎的ナモノトシテ注意セラルベキモノデア
アル。従来教育的心理学ト云ツテモノハ一般
心理学ニツイテ教育的考察ヲ行ツタモノデア
ツタガ、近頃個性的心理学即チ氣質又 *Type* ニ
注意スルト共ニ文化ノ各方面ノ心理ヲ注意スル
コト、ナツタノデアアル。コトニ於テ價值ニ関ス
ル心理学即チ *Dilthey* 派ノ了解心理学ガ青年
心理ノ方面ニ於テ見ルコト、ナツタノデアアル。
猶ホ精神分析ガ個性感情、慾望、無意識状態等
ニツイテ従来心理学ニ於テ取ラレナカッタコ
トヲ重シジタコトカラソレガ教育ニモ幾多ノ暗
示ヲ与ヘルコトニナツタ。心理学ガ教育研究ニ
及ボス関係ニツイテ *Spranger* ハ四ツノ具ヲ挙
ゲテキルガ、ソレハ

- (1) 一般心理学
- (2) 発達心理学
- (3) 素質ト性格トノ関係、環境ト遺伝トノ関係ヲ研究スル心理学的研究、
- (4) 教育力ノ促進及ヒ妨害ノ心理ト云フノデア
アルガ、ユノ第四ニ関シテハ精神分析等ガ可ナ
リ大ナル *suggestion* ヲ与ヘルモノデアアル。

心理学ガ精神ノ全体ニ関シテ教育学ト多様関係
スルノト違ツテ精神ノ一部分ト交換ヲモツ精神
科学ナル論理学、倫理学、美学、宗教学、経済
学、政治学等ハ夫々密接ナ関係ヲ持ツテ居ル。

先ヅ論理学ハ教育ノ智的ナ方面即チ教授ニ関
スルモノデアアルガ、ソレハ既ニ十七世紀頃カ
ラ用ヒラレ *Comenius* ハ分析ト綜合カラ教育
ヘ又合理的ナ方面カラ論理的基礎ヲ明カニス
ベキヲ述べ、*Locke* ハ演説ト帰納ノ方法ニ慣
ラスベキ事ヲ主張シテ特ニ *Conduct of*
Understanding トイフ本ニ於テ論理的陶冶
ヲ述べテ居ル。*Rousseau* モ又分析ト綜合、
帰納ト演説トノ方法ヲ説イテ居リ、*Pestalozzi*
ハ合理的ニ過ギルト思ハレル程論理的、分析的
ニ彼ノ初歩法ヲ立テ、居ル、デアアル。

Herbart ハ教授ノ *Gang* (過程) ヲ分析
ト綜合ニ分ケ、ソレハ智識ヲ獲得スルニツノ種
類トシテ居リ、*Bain* ニ至ツテハ心理学ニ對シ
ニ論理的トイフ事ヲアゲ教材ノ内容ト教授ノ課
程トヲ *logical* ニ考ヘテ居ル。ソノ後二十
世紀ニ至リ1911年ニ英ノ *Welton* ガ

Logical Bases of Education
ナル本ヲ著シテ古ノ注意ヲ惹イタノデア
ルガ、ドイツニ於テハ *Natrop*,
Sallwürck, *Messmer* 等ハ教授
ノ形式並ビニ課程ニ於ケル論理的要素ヲ
重シクテ教授学ヲ立テ、居ル、ソシテ論
理学ガ心理学的ナ論理学或ハ発生的論理
学、若クハ認識論的論理学ニ発展シタ所
カラ教育ニ対スル關係ハ一層密接ニナツ
タ。

(註) *H. Schmidkung*,
Logik und Pädagogik
1920. 参照

論理学ハ人生ノ目的乃至道德ノ目的ノ理論ヲ
提供スル矣ニ於テ德育ト關係シテクル。

Herbart, *Schleiermacher* 等ハ最モソノ
關係ヲ發端シタガ、彼等ハ少シ行キ過ギタカノ
感ガアル。然シ倫理ニ於テモ例ヘバ *Görland*
ハ學校ガ生徒ト教師トノ共同体デアリ、家庭モ
又ソウデアルカラコノ共同体ノ學問或ハ善ノ學
問ガ教育学デアルトイフ。*Wentzcher* ハ陶
治ノ最高目的ハ倫理学ガ基礎ツケル人間ノ意志
及ビ努力ノ最高目的ニ密接ニ關係スルト云ヒ、
従来ノ倫理学説ヲ検討シテ自由原理ニヨル教育
ヲ述ベテ人間ノ活動ノ主ナル領域トシテ人格的
生活、歴史的國民的精神生活、現實的文化活動
ノ三ツニ就イテ倫理的且ツ教育的ニ述ベテ居ル。
倫理学ト教育学ノ關係ノ深イ事ハ必要デアルガ
コノ關係ヲ深ク見過ギル事モ誤デアル。

美学モ亦美育ニ関シテ直接ノ交渉ヲ持ツモノ
デアルガ、コノ關係ヲ重々視スルモノハ教育ヲ
藝術的ナモノト見テ教育的美学ヲアゲテ美学ノ
批判原理カラ教育ノ全テヲ論ゼントスルモノガ
アル。

(註) *Weber*、教育ノ基礎科学トシテ、美学ニ於テモ上述ノ如ク教育ト美学トノ聯関ヲ説イテ居ル。

又、児童ガ藝術的デアルトイフ事、又ハ青少年ガ藝術的ナ方面ノ陶冶ヲ必要トスルノハ當然ナ事デアルノデ *Steiner* (1861~1925 *Steiner Schule*ヲ各地ニ立テタ)ハ、自分ノ學校ニ藝術史ヲ課シタリ、彫型ヲ教科トシタリシテ子供ノ藝術的ナ取扱ヲ主張シテ文字ノ教授マ算術ノ教授等モ藝術的全体のナ立場カラ行ツテ居ル。

宗教学ハ宗教教育ニ關係シ、経済学ハ教育ノ契機ノ問題又文化ノ内ノ経済ヲ取ツテ産業教育ニ於テ直接ノ關係ヲ持テ政治学ハ從來モ考ヘラレタ如ク直接ノ關係ガアリ、特ニ国家民族トノ關係ガソレヲ重大視スル事トモナツテ居ル。

社会学ハ生物学ト共ニ十九世紀ニ形成サレタ新シイ學問デアルガ、教育ガ社会的現象デアル以上密接ノ關係ガアリ、*Trapp*ハ教育原理ノ基礎ヲ心理学的社会的、兩方面ニ求メ、ソノ後廿世紀ニ於テ教育ト社会トノ關係ハ一層強ク見ラレルニ至ツタガ、*Dilthey*ハ教育教授ノ

學校ノ起源ヲ社会学的ニ追求シテ居リ1900年ニ公ケニサレタ *Bergemann*、社会的教育学ト云フ書物ハ直接社会ノ起源、飛連組織ニ就キ社会学ノ研究結果カラ教育ヲ論及シテ居ル。同年刊行サレタ *Davidson*、教育史ハ原始時代ノ教育ニ於テ社会学ヲ大イニ取入レテ居リ、*Barth*ノ教育史ハ彼自身社会学者デモアル点ニ於テ一層全体的ニ社会学的参考ヲナシテ居ル。之ガ *America*ニ於テ *Educational Sociology* (教育的社会学)トシテ重要視セラレル事ニナツタ。

ドイツニ於テハ *Barth*、改革シタ方面ガ *Petersen*、*Kriech*等ニヨツテ継承セラレタトモ云ヒ得ルノデアル：*Petersen*ハ経済ト社会トノ基礎カラ出発シ特ニ社会ノ精神的意義ヲカ説シテ宗教及ビ国民ノ上ニ學校ガ存在スベキ事ヲ主張シテ居リ、*Kriech*ハ教育学ヲ社会生活ノ一般陶冶ノ學問デアルトシテ *Max Weber*等ノ社会学的研究ヲ以テ教育ヲ考察シテ居ルノデアル。猶ホ文化ノ研究ノ方面カラ社会学トノ關係モ密接ニナリソ、アル。教育ノ方法ノ上ニ於テモ環境ノ影響、模倣、暗示、同情

ノ原理ハ社会ト教育トノ両者ニ共通ナル根本原理トシテ教育学ハ社会学ト共ニ研究スベキモノデアアル。

猶ホ哲学モ亦教育学ニ重大ナル關係ヲ持ツモノデアリ、事實的研究ヲ主トスルモノハ哲学トノ關係ヲ否定セントスルモノデアアルガ、教育及ビ教育学ノ性質上哲学ト分離シ得ナイモノデアアル。

America, Macvannel ハ哲学ガ統一的ニ解状スル点ニ於テ分析ヲ主トスル科学ト異ナル領域ヲ持ツトシテ教育哲学ハ材料ニ於テハ教育科学ト多ク異ナラナイガ、立場ニ於テ相違シテ居ルトイフ事ヲ云ヒ、今日ノ教育原理ノ無政府状態ヲ整理スルモノハ教育哲学ナラザルベカラズ、畢竟教育ノ哲学的研究ハ統一的見地カラ教育ヲ眺メルモノデアルト云フ。*Cohn* ニヨレバ教育ノ目的ハ一方ニハ教育問題ノ決定ニ規範トナルモノデアリ、他方ニハ人生觀ニ從屬スルモノデアリ、コノ点ニ於テ教育学ハ哲学ニ從屬スルト云ヒ、ドイツ人トシテ又ヨーロッパ人トシテ如何ニ我々が感スベキカハ歴史ガ共ヘルモノデナク哲学ガ共ヘルトイフ事ヲ主張シテ

居ル。

Litt ハ哲学ト教育学トヲ同じ幹カラ出クニツノ芽生ヘノ生キタ結合デアルト云ヒ、經驗論ト合理論ヲ生命ニ基ヅイタ世界觀及ビ教育思想トニヨツテ結び付ケネバナラナイト主張シテ居ル。

(註) *Frischeisenköhler* ハ哲学ト教育学トノ聯関ヲ全体觀ノ上カラ見テ居ル。

第四章 教育ノ可能ノ基礎

教育ノ可能ニ就テ昔カラ万能ヲ稱スルモノト不可能ヲ稱スルモノトガ有ルガ、凡ソ人間ノ可陶性 (*Bildsamkeit*) ヲ豫想スルノデナケレバ教育ノ樹立並ビニ理論ハ成リ立ツヌワケデアルカラ、*Iderbart* ハ可陶性ヲ以テ教育ノ基礎概念 *Grund Begriff* ナリト云ツテ居ル。

東洋ニ於テハ孔子ガ有教無類、性相近習相遠ト云フノハ一見方能論ニ思ハレルガ、然シ同時ニ上知共下愚不移 (陽貨) ト云ツテキルカラ必ラズンモ万能論者トハ云ヘヌ。

朱子ハ近思錄ニ於テ人性本善、有不可革者何也。曰語其性則皆善也。語其才則有不愚之不移トアリ。又弟子曰有自幼而善有自幼而惡其氣稟有然也。善因性也然惡亦不可不謂之性也。猶問氣質弱者如何。涵養到剛勇。曰只是一箇勉強然化氣質最難。聖德太子ノ十七條憲法ニハ、人鮮尤惡。能教徒之。少生知射念作聖ト云ハレテ居ル。

西洋ニ於テハ Kant ノ如キ合理論ヲ取ルモノハ萬人共通ノ理性ヲ豫想スル所カラ教育ノ萬能ヲ説クガ。Trapp ハ之ヲ評シテ Kant ハ具體的ナ人間ヲ抽象的ナ人間トシ、概念上ノ人間トスルカラ誤ニ陥ルノデアルト云フ。所ガ經驗論ヲ取ルモノハ、後天的ナ矣ヲ強調スルカラ。Locke ノ如ク子供ヲ *tabula rasa*、或ハ蠟マ木ニ比ベテ如何様ニモ變化シ得ルモノト云フ。コノ教育万能論ニ對シテ不可能論ヲ説クモノアリ。東洋ニ於テハ氣質不變化論ガアリ。萩生徂徠ハ氣質ハ何トシテモ變化サセル事ハ出来ヌ。ト云ヒ。西洋デハ Schopenhauer ハ宇宙ノ原理ガ不変デアアル如ク人間ノ本性モ不変デアルト云ツテ居ル。

コノ氣質不變化論ニ勢ヲ加ヘタノガ進化論デ。特ニ Weismann 派ノ生物学者ハ、全テガ芽胞ニ歸スルト云フ所カラ全テガ先天的ニ決定サレテ教育ハ不可能トシテ居リ。又 Mendelism ノ学者モ全テヲ遺傳ニ歸スル所カラ教育ヲ否定シ。又犯罪学者ノアルモノモ先天的ノ犯罪ヲ主張シテ教育ノ効果ヲ疑フ。我々ハ先ツ可能論者ニ就テ萬人ニ對シテ理性ヲ豫想スルノモ、或ハ先天的要素ヲ否定スル事モ共ニ事實ニ合シナイモノデアリ。Locke ハ神ガ人間ノ精神ニ或ル特性ヲ與ヘ、ソレハ恐ラク少シ、カ補フ事ノ出来ヌモノデアリ。ソレヲ全ク反對ノモノトスル事ハ不可能デアルト云フ。即チ、遺傳及ビ素質ハ變化改善スル事ハ出来ルガ決シテ可能デハナイ。

不可能論ニ就テ考ヘルト、彼等ハ不變化ノ方面ヲ見テ變化ノ方向ヲ怠ル傾向アリ。進化論者ノ如キハ自然的、物質的ナ形体的ナ精神ノ方面ヲ重視スル傾向ガアルカラデアル。Barth ハ之ニ就イテ Mendel ノ法則ハ一般の *Anatomische* (解剖学的要因) *factor* ニ關スルモノデ、人間ノ性質ハ傾向 *Tendenz*

が主テアルカラ同一視シテハナラナイト云フ。

又、犯罪学者ノ主張ハソレガ遺傳ニヨルカ環境ニヨルカ不明デアリ、即チ全テヲ遺傳ニ歸スル事ハ出来ナイ。又進化論ニ於テ習得性

(*acquired character*)ノ遺傳ガ問題トサレルガ、例ヘソレガ遺傳シテトモソレガ一代ノ間ノ変化ヲ呈スルノデアリ、且ツ又ソノ性質ガ遺傳シナイテ環境ニヨル変化ガナイトスルト進化 *evolution* ガ否定サレ反ツテ進化論ハ環境ニヨル変化ヲ主張シテ居ルノデアル。

*Fish*ハ可能ノ事實ヲ人間ニ於ケル *infancy*ノ期間ガ永イトイフ事實ニヨツテ証明シタ。即チ高等ノ動物性順応ノ期間ガ複雑テ、順応ノ準備トシテ高等デアル程 *infancy*ノ間ガ永ク、ソノ間ハ *plastic* 造型的デアリ、ソレガ教育ノ可能ヲ示スト云フ。コノ *infancy*ノ時代ニ於テハ確カニ模倣性、暗示性ガ強ク、即チ *Bildsamkeit* ナリデアル。

*France*ノ *Guyau*ハ教育ヲ正常ニ暗示 (*normal suggestion*)ナリトシ、ソコニ教育ノ可能ヲ主張シテ居リ、精神ノ中ニ人工的ニ本性ヲ Create スル事ガ出来ルト云フ。

彼ニヨレバ教育ハ整頓サレタ合理的ニ暗示、全体デアルトシ、*suggestion*トハ畢竟比較的 *Passive*ニ組織ガ比較的 *Active*ニ組織ニ一致シヨウトシ、後者が前者ヲ支配シソノ行動、意志、信仰ヲ *control* スル。ソレ故教師ガ子供ニ *suggestion*ヲ起ス事ガデキルノデアリ、充分ノ *energy*ヲ以テ考ヘタリ、見タリヌルモノハ他人ヲサウ云フ風ニ考ヘサセル事ガ出来ル。信念及ビ意志ノ傳染的ナカハ内面的ニ緊張ノカニ比例シ、子供ハ特ニ暗示及ビ自己暗示ヲ受ケマスイモノデアルカラ、子供ノ受取ルモノハ夫々暗示デアツテソレガ習慣トナルト云フ。近頃 *Psycho-Analysis* (分析心理)ガ云フ如ク家庭ノ不安感情ノ如キガ最もヨクソノ子供ニ傳ル事ハ最も著ルシイ現象デアル。自己暗示ト云フ事ニ就テハ *France*ノ *Charles Baudouin*ガ暗示ノ種類ヲ分ケテ次ノ如ク云ツテ居ル。

1. *Spontaneous suggestion*
 2. *Reflective suggestion*
 3. *Induced suggestion*
- トシ、①ト②ヲ自己暗示 *Auto-suggestion*

③ の他人暗示 *Idetero-suggestion* トシ、主トシテ自己暗示ニヨツテ子供ヲ導カウトスルノデアル。

自己暗示及ビ他人暗示ハ教育ノ基礎及ビ可能ヲ示スモノデアツテ、コノ暗示性及ビ模倣性、順應性等カラシテ教育ノ可能ハ疑ヒ得ザル事実デアリ。カクシテ教育ハ可能デハナイカ不可能デハナク、*Iderbart* ノ云フ如ク教育ノカハ大キク見テモ誤デアリ小サク見テモ誤デアル。

嘗テハ変化セズト云ハレタ上智若クハ天性ハ *Coue* ノ云フ如ク凡人ヨリモヨリ多クノ変化性 *variation* ヲ持ツテ居ルト云ハレ下愚低能ト云ハレルモノモ医学的並ビニ心理的方法カラ教育ヲ得ルニ至ツタ、コノニ又嘗テ *Iderbart* ガ云ツタ宿命論ト超越的自由論トハ教育学ニ無関係デアルト云フ事ガ眞理トサレル。人間ハ全テ先天的ニ決定セラレタモノデナク絶対ニ自由ナルモノデモナイカラ、教育ト云フ立場カラシテコノ両説ヲ取ル事ハ出来ナイノデアル。

要スルニ暗示ニヨル統制及ビ変化ヲ認メル以上 *Normal suggestion* トシテノ教育ハ可能デアリ。性善悪説ノ如キモ謂ハバ假定デアリ、

Nohl ガ云フ如ク本原的ナ善若クハ悪デナナク、本原的ナ全体ニ對シテソノ中ニ健全ニシテ社会的ナモノヲ引キ出シ又社会的病的ナモノニ反對ニ働キカケルノガ教育デアル。コノ変化サレ得ル事ニ對シテ如何ニ働クベキカト云フ事ガ何願デアルガ、ソレニハ先ヅソノ基礎ヲ追求シナケレバナラス。

カクノ如クニソテ教育ハ働キカケルベキ基礎トシテ遺傳ト環境トノ二ツヲ明カニスル必要ガアル。人間ハ全テ民族若クハ民族ノ *physical and mental* ナ遺傳ニヨツテ類似シタ形、素質先天的傾向ヲ俾ヘラレルモノデアリ。コノ事実ハ生物学ガ成立シナイ前ニモ思想家、教育家ノ常ニ考ヘタ所デアリ、*Salymann* ノ如キハ彼ノ教育論ヲナス前ニ祖父母ノ健康カラ説キ起シテ居ル。進化論ガ成立シタ時ニハソレガ特ニ問題トナツタガ、教育者ノ内デハ *Elen Key* ノ如キハ父母ヲ送ブ権利ヲ主張シテ居リ、コノ父祖カラ遺傳サレタ形体、生理的基礎ハ一代ノ間ニ変化スル事ハ極メテ少イノデアルガ、ソレ

が健全ナル發育ヲナスマウニ助ケル事ハ教育ノ
仕事デアリ。特ニ *Mental* ナ素質ニナルト完
成シタ形ニ於テ遺傳サレルモノデハナフ。個体
ノ成長発達ノ間ニ現レテ来テ環境ノ影響ト相俟
ツテ完成サレテ行クモノデアルカラ。ソレニ對
シテ適當ナル手段方法ヲ講ズル事ガ教育ノ主ナル
仕事デアルト云ツテ居ル。

(註) *Isherhart* ノ如キハ *Physical* 健康的
ナ方面ヲアマリ重要視シナイ。

コ、ニ遺傳的個性ヲ明ラカニスルトイフ事ガ
教育ノ出立矣トシテ必要ナル研究トナルノデア
ル。ソシテコノ遺傳ノ基礎ノ上ニ察キ上げラレ
ル変化ガ子孫後代ニ於テ如何ニナツテ行クカト
イフ事ヲ考察スルノモ社会的見地カラ云ヘバ、
重要ナル事デアリソコニ獲得性ノ遺傳如何ト云
フ問題ガアルガ、教育上ニ於テハソノ如何ヲ問
ハズ、遺傳ノ基礎ノ上ニ考察スルト云フ事ガソ
ノ仕事トナツテ来ル。 *Isherson* ハ一般ニ
生物ノ遺傳的基礎トシテ次ノ四ツヲ擧ゲテ居ル。

1. 有機体ノ本能ト欲求
2. 有機体ノ活動ノ系統
3. 失敗シタ場合ノ感受性

4. ソノ他ニ變スル所ノ生理的ナ素質或ハ
神経系統。ソシテ人ハ他ノ生物ヨリモ多数ノ
巨ツ複雑ナ形ニ於テコノ四ツヲ持ツテ居ルノ
デアリ。特ニ手ト頭ニヨツテ適應ヲ巧妙ニス
ル事ガ出来。特ニ又言葉ト思考トノ二ノ人
間ニ於ケル最上ノ武器トシテ働クノデアル。
之等ノ思考生理心理的ナ遺傳ニ對シテ社会的
遺傳ト稱セラレテ居ル人間ノ文化ト云フモノ
ハ、コ、ニイフ環境デアリ人間ハ通常云ハレ
ル如ク *blood* 血液ノ子デアルト共ニ、
age 時代ノ子デアルトシ、彼ノ時代彼ノ
環境ガ彼ヲ人間タラシメルモノデアル。
所ガコ、ニ遺傳ト環境トノ何レガ人間ニ
多ク影響ヲ與ヘルカト云フ事ヲ究メル事
ハ困難デモアリ、又必要ナ事デモアリ。コ
、ニ *Stern* ノ如キハコノ兩者ニ對シテ
Konvergenztheorie ヲ樹テタ。即チ兩者ノ結合ノ
下ニ人間ガ成立ツテ行クノデアル。コノ遺傳
ト環境ノ兩者ガ生物一般又全テノ人間ノ臺ト
願トラ究メルモノデアルカラ、從來ハコノ二
ツヲ教育ノ限界トシテ見ツノデアルガ、然シ
ソレハ甚ダ *Negative* ニ見タモノトサレ

之ヲ *positive* = 見ルナラ教育ガソレニヨツテ
行ハレル所ノ基礎デアルトイフ実デアル。環境
= 就テ通常自然的ト社会的トヲ分ツノデアル。

自然的環境ハ空気トカ光、気候、地勢、空気、
動植物等ヲ以テシテ人間ノ身心ニ偉大ナル影響
ヲ及ボスモノデアル。之等ノモノノ影響ハ嘗テ
ハ *Ratzel*, *Buckle* 等ニヨツテ学問的ニ叙
述セラレ又風土心理学ノ問題トシテ注意サレテ
来クワケデアル。

教育学ノ範圍ニ於テハ、從來四季ノ変化特ニ
光ト熱ガ子供ノ身長ト体重ニ及ボス実験的研究
ガ成サレタ。又自然的環境ヲ教育的ニ利用シテ
行ク事トシテハ遠足旅行ハ *Rousseau* 時代カ
ヲ行ハレテ居リ、十九世紀ニナルト *Ferien*
Kolonie (休暇ニ子供ヲ田舎ニ移ス)

Waldschule (廿五紀ニナツテカラ *Berlin*
ノ郊外ニ出来タ)、或ハアメリカニ於ケル

Open air school, *Land Schuleheim*
(田園ノ空気ニ染マセル)ノ如キモノガ発達シ
テ来タ。又十九世紀末カラノ *Wanderivogel*
ハゲルマン古民族ノ思慕ト自然ニ対スル憧憬ヲ
含ムモノデアリ、*Heimathbewegung* 郷土運

動ト云フ様ナモノモソレデアル。

(註) 郷土運動ハ *nature* 自然ヲ求メナケレ
バナラス、大自然ニ接セナケレバナラス。

又最近ドイツニ於ケル *Landbewegung*
田園運動、(*freie*) *Arbeitsdienst* 等モ
コノ傾向ノモノデアル。

社会的環境 (*social environment*)
ハ *Dewey* モ云フ様ニ、人間ノ心理ヲ構成スル
一要素デアリ、*Herbart*ノ *Umgang* モコ
レデアリ、コレニヨツテ道德、宗教、美術、言
語、教育モ行ハレルノデアル、ソツテ教育ニ就
テ言ハレル实例ハ教ニ勝ルモノデアルカラ、社
会的環境ハ古来注意サレタモノデアリ、学校モ
畢竟、整頓サレタ社会的環境ト云フベキデアル。
社会的環境ニ就テノ実験的研究トシテハ營養、
住居、睡眠等ニ就テ研究調査セラレタノデアル。
教育スル社会トシテ *Home School*,

Vocation, *State*, *Church* 等ガアケラ
レテ居ルガ、ソノ内家庭ノ改良トカ両親ノ再教
育等ガ必要トサレルニ至リ、家庭ノ精神的ナ雰
囲気モ特ニ注意セラレルニ至ツタ。近來

Pädagogische Milieukunde 教育的環

限定シテ云フト、職業的教師デアリ、コノ外＝
モ意識的ナ主体トシテ家庭教師、父母、図書館
員等ガアル。歴史的ニ見ルト、宗教家、哲学者
等ガ教育ノ任ニ當ツタモノデアリ、特ニ宗教家
ガ教育者ヲ兼ネテ学校教育ヲ進メテ来タノデア
リ、ソノ為ニ教育ハスシク宗教家ノ手ニアツタ。
(註) 日本デハ寺ニ於テ教育ガ行ハレタ事ガ多
イ。

聖人、賢人、儒者、哲学者ガ教師トシテノ役
目ヲナシ、ソノ後職業的教師ガ出テ来タ。ソシ
テ十七世紀頃カラハ特ニ教師ヲ養成スル師範学
校ガ発達シテ来タ (*La Salle* ガ教員養成所
ヲ創設シタ。) 学校教育者タルベキモノニ必要
ナ資格トシテハ第一ニ人格ノ所有者タル事デア
ル。ソレハ師ト云フ文字ガ法若クハ範ヲ意味シ
テ居ル事ニモ同ハレルノデアリ。学詔ニハ詔問
之学不足以為人師トアリ。Vives ハ教育者ガ
道德稟性ノ人デアリ。所有欲ト名譽欲カラ超越
シタモノデナケレバナラヌト云ツテ居ル。然シ
教師ハ学問ヲ教ヘル事ヲ司ルモノデアリカラ、
學術ニ堪能ナモノデナケレバナラヌ。コノ故ニ
昔カラ学徳兼備ト云フ事ヲ必要トシテ居ルノデ

アル。第三ニハ教育ノ性質カラシテ愛ト信ガ必
要デアリカラ、ソコニ愛ト信トヲ起ス教育ニ對
スル興味ト熱心ヲ持タナケレバナラナイ。コノ
故ニ教育者ハ宗教家ト同ジク *Social Type*
ノ人間デアルトサレネバナラヌ。第四ニ、教育
ニ関スル術ヲ修得シテソノ *Fact* ノ手際ヲバ
持ツベキデアリ。全テノ職業ニ従事スルモノニ
エガ必要デアリガ如ク教育ニ於テハ勿論必要デ
アル。第五ニ、人生社会ニ對スル識見ヲ持ツ事
ガ必要デアリ。ソレハ生徒ガ社会ニ出ルモノデ
アルカラデアリ。ソノ他多クノ人ニ云ハレル教
師トシテノ必要ナル性質トシテハ快活、公平、
教育ノ兩極性ヲ心得テ居ル事等ガ教ヘラレテ居
ル。

教育ノ主体ハ畢竟客體ニ對シテ意味ヲ持ツモ
ノデアリカラ、教師ガ客體ヲ知ルトイフ事ガ最
モ必要ナ事デアリ。古来之ニ就テ最も強ク云ハ
レテ居ルノデアリ。近頃ノ言葉トシテハ
Child Centre 兒童中心 *From child*
兒童カヲ等ハ之ヲ示スモノデアリ。

ソノ客體ノ時期並ビニ発達段階ニ就テ種々ノ
説ガアルガ、時期ハ個體ガ発生シタ時カラ成熟

境学ト称スル部門が出来テ、組織的、学術的ニ環境ノ教育的研究ヲナサントシテ居ル。コノ研究ニ貢献シタ *Busemann* ハ人間ノ性格ガ環境ト離レテ考ヘル事ガデキナイトイフ事ヲ主張シテ環境ハ現実ニ人間ニ体験サレ人間ヲ構成スルモノト考ヘル所カラ、教育的環境組織トシテ居リ *Milieu* ト *environment* ヲ區別シ *Milieu* ハ体験ノ世界デアリ、生活ノ内容ト対象デアルトシ、*environment* ハ生活ノ背景、出現ノ場所デアツテ周囲ノ事物ヲ云ヒ、

Stern ハ *Mitwelt* (外境) ト *Umwelt* (外界) トヲ區別シテ居ルガ、通常ハ両者ヲ含ンデ居ル。ソシテ教育的環境学ニ於テハ *M. P* 組織ノ構造ヲ明ラカニシ又環境ノ類型ヲ研究セントスルモノデアル。学校、学級ノ類型等ヲ研究セントスルモノデアル。畢竟教育ハコノ遺傳ト環境トノ基礎ニ立ソモノデアリ、日本ノ教育ハ日本人ノ素質ト環境即チ日本人ノ国民性ト風土及ビ文化カラ出立シテ考フベキモノデアル。

(註) 日本ノ歴史的風土的基礎カラ考フベキ事ガ修身ニ要求サレルノガ今度ノ高等学校ノ^中教授自改正ノ一部ヲナシテ居ル。

第五章 教育ノ主体 (*subject*) ト客体 (*Object*)

Salzmann ハ完全ナ教育ハ主体ト客体トノニ要素ヲ拵ツベキモノデアルト云ツテ居ルガ、ソノ意味ハ意識的ニ教育スル主体トシテノ教師ヲ重ンジタ為デアル。

彼以前ニ教師論ニ就テ一冊ノ本ヲ著イタ人ハナイガ、彼ハ之ヲ重視シテ教師論ニ就テノ書イタ。学記ニモ「凡ソ学ノ道師ヲ嚴ニスルヲ難シトナス。師嚴ニシテ然ル後道尊ク道尊クシテ、然ル後民学ヲ教スルヲ知ル」トアリ、又「大学ノ禮ハ天子ニ詔グト雖モ北面スル所ナシ、師ヲ尊ブ所以ナリ」ト、又「克ク寛クサトシテ然ル後師タリ、師タルモノハ君タル声ヲ学ブ所以ナリ。コノ故ニ師ヲ選ブ慎マザルベカラズ」トアル。

コノ教師即主体ヲ廣義ニ就テ考ヘルト必スシモ意識スルモノノミデナク *Rousseau* ハ自然ト人間ト物トノ三種ノ教師デアルト云フ。支那ニ於テモ天ヲ師トシ経ヲ師トスルト云フガ、然シ

限定シテ云フト、職業的教師デアリ、コノ外＝
モ意識的ナ主体トシテ家庭教師、父母、図書館
員等ガアル、歴史的＝見ルト、宗教家、哲学者
等ガ教育ノ任＝當ツタモノデアリ、特ニ宗教家
ガ教育者ヲ兼ネテ学校教育ヲ進メテ来タノデア
リ、ソノ為ニ教育ハスシク宗教家ノ手ニアツタ。
(註) 日本テハ寺ニ於テ教育ガ行ハレタ事ガ多
イ。

聖人、賢人、儒者、哲学者ガ教師トシテノ役
目ヲナシ、ソノ後職業的教師ガ出テ来タ。ソシ
テ十七世紀頃カラハ特ニ教師ヲ養成スル師範学
校ガ発達シテ来タ (*La Salle* ガ教員養成所
ヲ創設シタ。) 学校教育者タルベキモノニ必要
ナ資格トシテハ第一ニ人格ノ所有者タル事デア
ル、ソレハ師ト云フ文字ガ法若クハ範ヲ意味シ
テ居ル事ニモ同ハレルノデアリ。学詔ニハ詔問
之学不足以為人師トアリ、*Vives* ハ教育者ガ
道德稟性ノ人デアリ、所有欲ト名譽欲カラ超越
シタモノデナケレバナラヌト云ツテ居ル、然シ
教師ハ学問ヲ教ヘル事ヲ司ルモノデアリカラ、
學術ニ堪能ナモノデナケレバナラヌ。コノ故ニ
昔カラ学徳兼備ト云フ事ヲ必要トシテ居ルノデ

アル、第三ニハ教育ノ性質カラシテ愛ト信ガ必
要デアリカラ、ソコニ愛ト信トヲ起ス教育ニ對
スル興味ト熱心ヲ持タナケレバナラナイ。コノ
故ニ教育者ハ宗教家ト同ジク *Social Type*
ノ人間デアルトサレネバナラヌ。第四ニ、教育
ニ関スル術ヲ修得シテソノ *Tact* ノ手際ヲバ
持ツベキデアリ。全テノ職業ニ従事スルモノニ
之ガ必要デアリガ如ク教育ニ於テハ勿論必要デ
アル。第五ニ、人生社会ニ對スル識見ヲ持ツ事
ガ必要デアリ、ソレハ生徒ガ社会ニ出ルモノデ
アルカラデアリ。ソノ他多クノ人ニ云ハレル教
師トシテノ必要ナル性質トシテハ快活、公平、
教育ノ兩極性ヲ心得テ居ル事等ガ教ヘラレテ居
ル。

教育ノ主体ハ畢竟客体ニ對シテ意味ヲ持ツモ
ノデアリカラ、教師ガ客体ヲ知ルトイフ事ガ最
モ必要ナ事デアリ、古来之ニ就テ最も強ク云ハ
レテ居ルノデアリ、近頃ノ言葉トシテハ
Child Centre 児童中心 *From child*
児童カヲ等ハ之ヲ示スモノデアリ。

ソノ客体ノ時期並ビニ発達段階ニ就テ種々ノ
説ガアルガ、時期ハ個體ガ発生シタ時カラ成熟

スル迄ト見ルベキデアリ、コノ発達段階及ビ個性ニ應ジテ取扱フトイフ事ハ極メテ大切ナ事デアアル。

普通認メラレテ居ルモノハ次ノ如クデアアル。

幼児前期 (1オ-3オ) — 1オヲ乳児、嬰兒期。

2オ3オヲ幼児前期。

幼児後期 3オ-6オ。

少年期 (兒童期) 7オ-12オ。

青年前期 13オ-18オ。

青年後期 18オ-24オ。

コノ発達段階ニ従フ教育ヲ異ニスベキハ古来カ説サレタ事デアアルガ、東洋デ云フ隨年教法ト称セラレルモノハソレデアアル。禮記ノ内則ニハ六年教之教典方名、七年男才不同席不共食、八年出入門戶及即席飲食必後長者始教之讓、九年教之教日、十年出就外傳居宿於外学書計……十有三年学梁誦詩算勺、成童(十五オ以上ヲ云フ) 簪笄学射御二十而冠始学禮。

発達段階ト共ニ個性ノ相違ト云フ事ハ古来ノ教師者ニカ説サレタ事デアリ、今日ハ最適心理学、性格学、生活形式等ノ研究ガナサレ、

Typeノ研究トシテハ注意ノ方向ニ開シテ内向

ト外向トヲ分テ、或ハ感情、嗜好、直覚、感覺等ニ依リ Typeヲ分テ或ハ智能ニ依リ優劣ヲ分テ或ハ道德的ニ高低ヲ分ツノデアアル。之等ノ個性ヲ眼中ニ於テ取扱フ事ノ必要ハ孔子、釈迦、キリストノ主張シ実行シタ事デアアル。学校教育ニ於テハ、ソレヲ缺キ易イモノデアアルカラ、十九世紀ニナソテカラ *tutor system* 私教師制度ガ起リ、十九世紀ノ終ニハ *America*ニ於テハ *Class Teacher*ノ外ニ *Individual Teacher*ガ行ハレ、*Menheim-system*ノ如ク補助等級ヲ設ケタリ、*Dalton Plan*ハ個性ノ速度ニ応ジテ *Assignment*割充テサセ *Wynnetka System*ノ如ク個性的診断ト治療ノ方法ヲ科学的ニ行フモノトガアル。猶ホ、学級編成ヲ能力ニヨツテナスト云フ事ハ實際上ハ反対ハアルガ、同質的ナ *group*ヲ造ル事ハ必要デアアル。

第一学期終リ

[PAT]

K.	Kant	4, 9, 19, 38.
	Kerschensheimer,	7.
	Key Eln,	43.
	Krepschner,	13.
	Kriech,	6, 14, 21, 35.
	Kroh, slow,	29.
	キリスト	53.
	孔子	37, 53.
L.	Lay A.,	26, 28.
	Litt,	17.
	Lochner,	14.
	Locke,	23, 38, 39.
	Lasalle,	50.

	Drapp,	19, 23, 24, 34, 38.
W.	Weber,	24, 34, 35.
	Welton,	31.
	Wentscher,	33.
V.	Vives,	28, 50.

以上

[帝大ブリット聯盟編輯部 M1 生編]

[附]

教育學概論 第一分冊 人名索引表

B.	Bain, 24, 31, 36 Barth, 6, 7, 35, 39. Basedow, 28. Bandonin, ch 41. Bencke 24 Bergemann, 16, 35. Buckle, 46. Bühler, 30. Busemann 48 Butler, 4, 5, 19. Clopaxide, 29. Coe 26 Cohn, J 22, 36, 42. Comenius, 9, 19, 22, 25, 31. D.	Davidson, 35. Dewey, 6, 7, 14, 47. Dilthey 15, 30, 34. Fiske, 40 Brückeisenköhler, 7, 8, 37. Fröbel, 25. G.	Görland, 33. Groos, 29. Guyau, 10, 40. H.	Henderson, 44. Hensinger, 9. Herbart, 2, 19, 20, 21, 24, 31, 33, 37, 42, 47. Hirth, A, 27. Königswald, 7. 細井平州 25 J.	Judd, 29. K.	Kant 4, 9, 19, 38. Kerschensteiner, 7. Key Sen, 43. Kriegschner, 13. Kriech, 6, 12, 21, 35. Kroh, Lew., 29. Kリスト 53. 孔子, 37, 53. L.	Lay A., 26, 28. Litt, 19. Lochner, 14. Locke, 23, 38, 39. Laralle, 50.	M.	Macramel, 36. Measmer, 13, 21, 24, 32. Meumann, 27. Miller, 26 Milton 9 Montessori, 27, 28. Natura sp, 18, 32. Niemeyer, 9, 19, 23. Nohl, 43. O.	获王但傑 38 P.	Pestalozzi 31. Peterson, 14, 35. Piaget, 30. Pultarck, 27. Preyer, 29. R.	Ratzel, 46. Rousseau, 1, 23, 31, 49. Rusk, 28. S.	Sallwürk, 24, 32. Salzmann, 1, 9, 43, 49. Schleiermacher, 4, 16, 21, 23, 33. Schopenhauer, 38. Spencer, 24. Spranger, 5, 17, 30. Steiner, 34. Stern, 45, 48. 聚迦 53 瞿德太子 38 朱子 38 T.	Tetens, 28. Tiedemann, 28 Trapp, 19, 23, 24, 34, 38. W.	Welter, 24, 34, 35. Welton, 31. Wentscher, 33. V.	Vives, 28, 50. ----- 以上 -----
----	--	---	--	--	-----------------------	---	--	----	---	---------------------	--	--	--	--	--	--

[帝大リソト聯盟編輯部 M1生編]

第六章 教育ノ目的

(Zweck)

教育ノ目的ハ個人ノ性能ノ啓キニ社会ノ一員トシテ有能ナ人間ヲ養成スルニ存シ。オクノ如キ人ハ一己ノ立場ヲトリ、社会ニ貢献スルト共ニ人間トシテノ修養モ必要ナル。然ルニ時代並人ニヨリ、個人的目的ト社会的目的トノ何レカ一方ヲ強調シテキル。

原始時代ノ教育ハ全ク民習民風ノ教育デアリ。社会ノタメニ教育ヲスルコトヲ目的トシテアルガ、ギリシマノ文化時代ニハ *Sophist* ノ個人主義ガ旺ンデアツタ。然ルニ *Platon*、*Aristoteles* ニ至ルト個人主義ヲ排シテ国家社会ノ方面ヲ力説シタ。彼等ノ主義ニモ *liberal* ノ思想モ大イニ含まレテキルコトハ見逃スコトハ出来ナイ。

中世ニ於テハ教会即チ宗教的社会ヲ中心トシタモノデアルガ、近世ニ至ツテ、ソノ反動トシテ個性解放ガ叫バレタ。

然ルニ 16 世紀ノ後半ニハ *Social Realism*

社会的+実学主義が起り、社会人ヲ養成スルコトヲ目的トシ、17世紀ニ至リ、*John Locke*ノ如キ又實際社会ヲ體調スルアリ、18世紀ノ *Philanthropist* モ亦社会的+方面カラ教育ヲ説イテキル。 *Kant* モ明カニ教育ノ目的ヲ社会ノ有益ナ一員トスルコトデアルト説イテキル。19世紀ニハ *Schleiermacher* ハ教育ヲ以テ少年ヲ國家ニ対シテ有能デアルマウニ教養スルヲ目的トセネバナラナイト云フテキル。特ニコノ世紀ニハ生物学ト社会学が成立シテソレガ社会的見地ヲ力説スルコトニナリ。又國家ノ対立ガ國家主義ヲトラセルマウニナリ。コノ世紀ニハ社会的教育学ノ出現ヲ見ルニ至ツタ。而シテ個人的目的ト社会的目的トハ教育ニ於テハ何レモ考慮セラルベキモノデ個性ノ発揮ハマカテ社会ノタメデアリ。又個性ハ社会ニヨリテ始メテ人間トナリ得ルカラデアル。コノコトニ因ミテハ己ニ *Niemeyer* ハ教育ハ自由ナ本質トシテ行動スル人間ヲ養フノデアルガ、カハル理性的人間ハ其時ニ良キ公民トシテ社会ニ効用ヲナスモノデアルト云ヒ。 *Schleiermacher* ハ教育ハ國家ノ一員トシテ同一ノ *Bildung* ヲ

受ケサセルト同時ニ個性ノ特質ヲ發揮スルモノデ、ソノ間ニ矛盾ハ存シナイト主張スル。我が國ニ於テモ教育ハ天性ヲ教養サセルモノデアルト云フテキル。社会的教育学者ノ一人デアル *Rutarp* ハ社会ト個人トノ關係ニ就テ両者ハ互ヒニ働ク要素デハナクテ社会ハ個人ヲ結合デアルト同時ニ社会ノ外ニ個人ハナク、個人ハ社会ノ中ニ社会ニ依リテ社会ノタメニ社会ニ沿フテ構成セラレテ社会ハ個人ノ中ニ個人ニ沿フテ個人ニヨツテ個人ノタメニ社会ヲ養成スルノデアルト云フテキル。文化教育者ハ具体的ナ文化ニヨツテ教育ガ出采上ル方面ヲ力説シテキル。 *Erich Stern* モ社会カナクテハ個人ハナク、陶冶ト個性トハ客観的文化ト社会ノ道ニ沿ツテ始メテ可能デアルト云ヒ。又文化ノ進歩ハ價值充實ノ精神、社会ト關係シタ人格ニヨツテ起ルト云フテキル。

† *Theodor Litt* ハ個人ノ生活ハ純粹ニ個人的デハナク、民族ノ生活 *Folk Leben* ハ純粹ニ超個人的デハナイト云フテキル。即チ、個人的目的ト社会的目的トハ關係シテキルモノデアルトコトヲ思ハナケレバナラヌト主張シテキル。

教育の目的として修養を力説スルモノは實用職業を重シスルモノがアリ。原始時代ニハ全く實用を目的トシタガ。ソレガ、支那、ギリシヤノ文化時代ニ至ルト。百科智識的教育或ハ美的教育或ハ自由教育へ實用カラ自由ナ修養ヲ目的トスルモノニ至ツタ。(例ヘバ、*Seven Liberal Art*) 即チ修養ヲ目的トスルコトニナツタ。カクシテ原始時代ニハ軍事ノタメニ設立タル五技ガ單ナル *sports* ニナツテ又神ヲ喜ハセマウトシタ實用的舞樂ガ美的教育トナツテ一般修養ノモノトナツタノデアル。即チ自由ノ七科デアツテ、支那ノ六藝、印度ノ五明等何レモ實用ヲハナフ。修養トシテノ廣イ教育ヲ目的トスルモノデアル。

中世ニ於テハキリスト教ノタメニ實用ノ方面カラ考ヘテ自由ノ七科モ全く宗教的奉仕ノタメニ學ブノデアリ。ギリシヤ傳統ノ自由教育ノ方面ガ輕視サレタ。*Schola* 哲學モ全くキリスト教ノ下僕トシテ見ラレタコトハ勿論デアル。

近世ニ至ルト文藝復興ガ人文主義 *Humanism* カラ修養ヲ力説シテ實用ヲ脱カナイマウニナツタ。ソノ反動トシテ十六世紀ノ末カラ

一般ニ實學主義ガ起リ。實用的目的ヲ主張シ、コノ傾向ガノブ世紀、18世紀ヲ通ジテ一般ニ漫瀟シタガ。18世紀末カラ19世紀ヘカケテ *New-Humanism* ノ修養時代トナツタノデアル。然ルニ19世紀全体トシテハ自然科学ノ時代デ實用主義ガ旺シテ職業教育トナフ所ガ起ツタ。

然シナガラ *Hellenism* ノ傳統ハ西洋ニハ長ク流シテ居リ。19世紀ノ末ニ新理想主義ノ教育ガアラハレニ人格ノ修養ヲ説イクノデアル。

今日ノ教育ニ於テモ修養ト實用トガ相對シテホルガ。確カニ人間ノ教育トシテハ広イ修養ヲ持ツベキデアリ。而モ同時ニ社会ニ對シテ職業ヲ持ツテ貢獻スベキモノデアル以上ソレヲ怠ルコトハ出来ス。

猶ホ教育ノ目的ニ關シテハ道德、宗教、藝術、學問ノ何レヲニ稱スルコトヲ避ケナケレバナラズ、古來ノ教育ノ目的ヲ道德ト見タリ、呂姓ノ陶冶ト云ヒシタ人ガアリ。又宗教的方面カラ見た人モ多イガ。教育ハ個性ノ持フ智情意身體各方面ノ飛進ヲ速ケサセテ社会ノ有用ナ一員トラシムベキコトヲ中心トスベキデ文化ノ一方

面ニ備スルコトハ正シキ教育ト見ルコトハ出来
ヌ。

以上ハ教育ノ意義ノ全般ニ就テ述ベテノデア
ルガ、各方面ノ教育ニ於テ或ハ各種ノ学校ニ於
テソレゾレ特有ノ教育目的ヲ有スベキモノデア
ル。小学校ハ将来ノ国民トシテノ生活ニ必要ナ
基礎教育ヲナスモノデアリ。中学校ハ男子ニ必
要ナ高等普通教育ヲ授クルヲ目的トシテ小学校
ヨリ高イ一般教育ヲ施シテ直接職業教育ヲナサ
ズ。高等学校ト同様デアルガ、然レ、職業ト實
用ノ関心ガ無い訳デハナイカラ昭和6年1月ノ
文部省令デハ中学校ヲ第一種、第二種ニ分ケテ、
第一種ニハ職業教育ヲ加ヘテ居ル。而シテ中学
校、女学校ガ一般個々ヲ中心トスベキコトハ明
カデアルガ、同時ニ教育ガ生活ト離レテハナラ
ナイコトハ必要デアル。

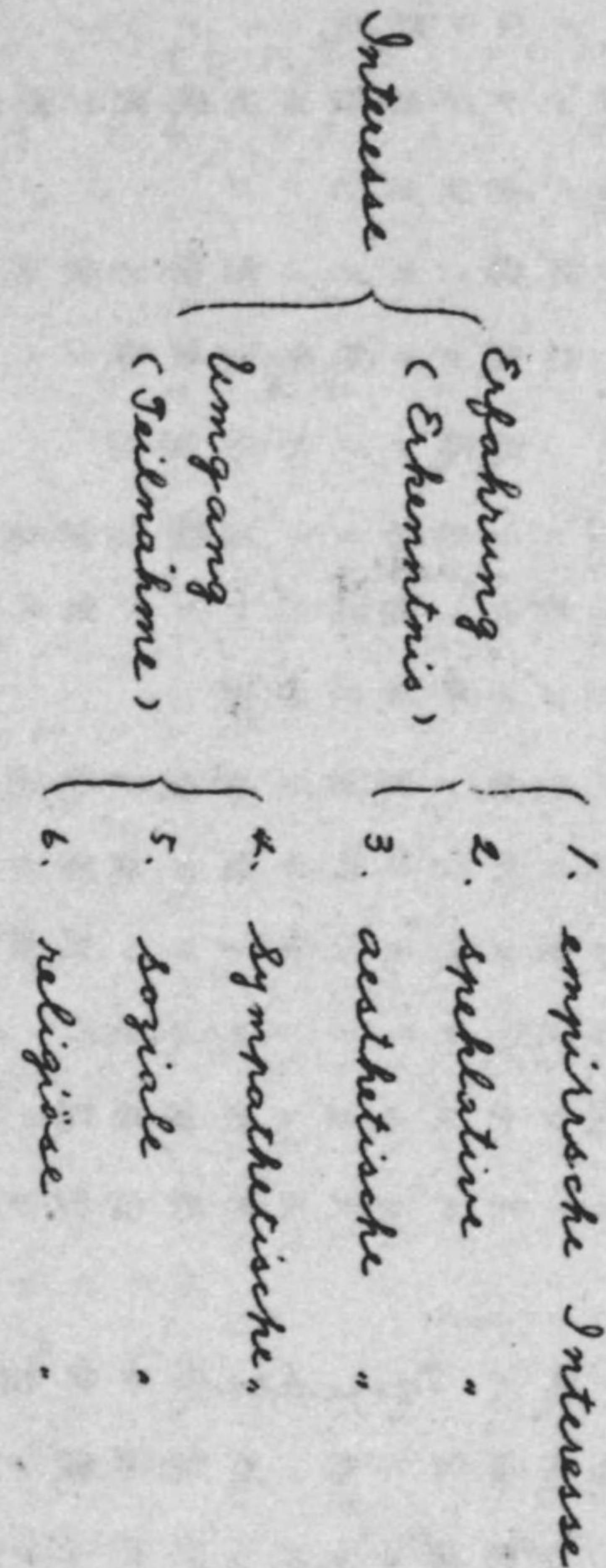
第七章 教育ノ任務

(Aufgabe des Unterrichts)

教育ノ目的ヲ達センガためニ行フ活動ヲ大別

スレバ、教授即チ *Unterrichts* 或ハ教育ト訓
練、*Training* 即チ *moralische Erziehung*
ト養護 *Pflege* 若クハ体育トニナルノデア
ルガ、ソレニ美育、及ビ宗教教育ヲ教フルコト
ガ出来ルガ、後、ニ着ヘ教授及ビ訓練ノ中ニ含
マセルコトガ出来ルノデアル。教授ト云フ語ハ
Greek / didaskein デアフテコノ語カラ
didactics スハ *didaktik* (教授学) ガ出
テキル。*Unterricht* トイフ語ハ報告スル、指導
スル、準備スル、譲渡スル等ノ意味デアリ。文
化財ヲ傳ヘテ、文化生活ノ準備ヲナシ又、文化
力ヲ形成スルコトヲ意味スル。然レコノコトハ
訓練ニ関係スル。教授ハ唯知ノ方面ニ於テカ
ル形式準備ヲナスト見ル。國語デハ授クルトハ、
傳ヘル意味ト、傳ヘル意味トガアリ。コノ意味
カラスレバ、文化財ノ知的傳達ノ意味トナル。
Comenius ハ教授ノ語ヲ教育ノ語ト同様ニ
使用シテキル。*Herbart* ハ教授ヲシテ必ず
シモ知ト興トニ限ラズニ *Erfahrung* 経験ト
Umgang 交際トノ補綴トシテキルノデアリ。
経験ハ事物ノ認識ニ関スル故ニ知的デアルガ、
交際ハ人ニ関スル同情デアルカラ、教授ハ必ず

3. 知識 = 價ヲズ、感情的活動ノ意味デアル。
 又ツ所謂教科 = 見テモ修身、宗教、歴史、技能
 等ノ教授ハ単ニ知的バカリデナク、備意ニ関係
 レテキルコトハ明カデアル。唯研究ノ便宜上教
 授ハ知育トシテ科学ノ傳遞ト知能ノ同巻トイフ
 コトヲ主要ナル意義トスルノデアル。即チ、教
 授ハ児童ノ學習活動ヲ指導スル上ニ於チ知能ヲ
 啓発シ、知識ヲ増進スルコトヲ任務トスルモノ
 デアル。ソコニ教授ノ形式陶冶 *Formale*
Bildung ト実質陶冶 *Materiale Bildung*
 トノ任務ガ生ズルノデアル。前者ハ知力ヲ啓発
 スルコトデアリ、後者ハ知的内容ノ増加デアリ。
 人間ハ経験ヲ蓄積スルト共ニ高橋ヲ処理シテ行
 ク所ノ判断ヲ必要トスル故デアル。教授ハ知育
 ノ中ノ活動デアルガ故ニ教授ノ任務ハ教育ノ目
 的ニヨツテナスベキコトハ言フ可キ。
 Herbart ハ教授ノ最後ノ目的ハ教育ノ目的ト
 同ジ品性ノ陶冶トイフ事ニ置キ、茲ニ此ノ目的ヲ
 六種ノ興味トシテ居リ、コノ興味ハ力デアルト
 云ツテキルカラ彼ハ形式陶冶ヲ達シジテ居ルコ
 トハ明カデアル。



上ニ平ケタ六種ヲ説明スルナラバ、ソレハ彼ノ教授ノ意味ヲアル経験ト交際即チ認識ト同情ノ方面ニミツツアル。

1. 多様ノ認識ノタメノ経験的興味。
2. 法則ノ認識タル思作的興味。
3. 自然美ノ認識タル美的興味。
4. 人ニ対スル同情タル同感的興味。
5. 社会ニ対スル同情トシテノ社交的興味。
6. 神ニ対スル宗教的興味。

デアリ、コノ六種ノ興味ノ方向ヲ學問、藝術、道德、宗教等ノ文化ノ各方面ト關聯サセテキルコトハ注目ニ値スルモノデアリ。兒童ヲシテ文化ニ接觸セシメルタメニ *Herbart* ハ文化ノ発達段階ニ依ツテ又子供ノ発達段階ニ適合シテ取扱ハウトスル所ガ文化史的段階説ヲ生ジタノデアリ。

Herbart 系ノ *Toischer* ガ教授ヲ以テ精神内容、知的信仰内容、及世界觀ヲ媒介トシテ以テ知力ヲ発達サセルコトトシテキルノモ文化ノ発達若クハ文化力ノ養成ヲ意味シテキルノデアリ。而シテコノ文化ノ傳達及ビ力ノ養成ト云フコトハ各方面ノ興味ガソレヲ可能ニスル

ノデアリ。

Herbart 自身ガ興味ハ卓ナル知識ヲ以テコトヲ注意シ、ソレヲハ精神活動ノ種類ヲアルトシテキルガ、コノ以テ於ケル活動ノ方面ヲ眼中ニ置イテキルコトハ近年ノ文化心理學的ナ考ヘデアリ。

又 *Herbart* 系ノ *Wilmann* ニコノ精神活動ヲ注意シテソレヲハ陶治ノ活動トシタノデアリ。

1. 本能的ナ無意識即チ *Spontaneous* ナモノデアリ、或ハ直接的動機、即チ自己ヲ教育セントスル動機デアリ。
2. 各人ガ私ノタメニスル間接的ナ意識的ナ動機。
3. 裝飾トシテノ美的並びニ知的ナ動機。
4. 道德的動機。
5. 社会的動機。
6. 宗教的動機、デアリ。

コノ陶冶ノ動機トハ兒童、生徒、自身ガ自ら *bilden* セントスル動機デアリ。教授ハ是ガ動機ヲ目的トシテ陶冶ニ進ムベキデアルト云フノデアリ。即チ陶冶ノ動機ヲ心理的且ツ社会的

ニ見タコトガソノ特色デアツテコノ第一、第二ノ動機ハ其ノ價值ノ方面カラ云フナラベ、快不快及ビ實用ノ動機トシテ見ルコトガ出來ルノデアアル。

オクノ如ク、藝術、道徳、宗教ノ方面ガ教授ノ方面ニ關係シテ考ヘラレル時ニ *Ziller* ガ情操ノ陶冶ヲ任務トシタコトハ必ズシモ排斥スベキデアナイケレドモ *Sallwürk* ハソレハ混雜ヲ避ケンガタメニ教授ハ生徒ニ學向ヲ授ケルコトデアルトレ。 *Messmer* ハ教授ノ *norm* トシテ經驗ノ正確ト精神力ノ經濟ノ二者ヲ置クノデアアル。然レ經濟的ナランガタメニハ兒童生活ノ心理狀態ニ適合スルコトガ必要デアアル。コトニ教授ハ論理的並ビニ心理的ニ考察サルベキデアアル。然レナガラ教授ハ情操ト關係セネバナヨヌガ故ニ *Herbart* ノ所謂教育的教授 *Ergiehende Unterricht* ガ起ラテ來ルノデアリ。教育セザル教授ナク、教授セザル教育ハナイト云フノデアアル。コトニ教育ト云フノハ呂注ニ因テ即チ訓育ヲ意味スルモノデアアル。被ハ

1. *Regierung* . 管理.
2. 教授.

3. 訓練

トシテ居リ。コノミツガ教育活動ノ三方面デアアルガ。然レ教授ハ訓育ノミヲ目的トスルモノデアナク。教育全般カラ之ヲ考ヘ、ホバナラヌ故、教育特有ノ目的トシテ知力或ハ知識ニ關シテ形式實質兩方面ノ任務ヲ全ウスベキデアルトイフ。特ニ教授ニ於テハ實質的方面ニ備ヘ場イモノデアアル故ニ古來ノ如クノ教育者ハ形式ヲ力説シテ特ニ重ナル概念ノ陶冶ダケテナク、之ヲ *Max Scheler* ノ言葉ヲ借リルナラベ、作用トナツタ知識又ハ垂直線的ナ知識ヲ得ルニシムルニ努ムベキデアアル。コトニ具體的知識或ハ知識ノ應用ト云フコトガ必要デ *Max Scheler* ノ陶冶知識トハカフノ如キモノデアツテ、ソレハ全ク消化サレ、英化サレタ生活デアアル。尚ホ換言スレバ應用力或ハ生活ニ *apply* サレル力ノ養成ヲ中心トスベキデアアル。

第八章 教材ノ撰択、排列及統合

教授ニ於テ教師ト生徒トノ活動ノ媒介ヲナス

モノが教材デアル。教材ハ社会ニ於ケル文化即チ人間ノ自然ノ素材ヲ理想化シタモノデアルガ爲ウ、如キ文化財ガ多量多様ニナルニ從ツテソノ全テヲ教材トスルコトガ出来ナクナルカラ、ソレノ経緯前後ヲトツテ *select* シナケレバナラナクナルノデアル。ソノ撰択 *selection* ノ標準ハ先ツ教育ノ意味カラシテ社会ノ一員トシテ生活スルニ必要缺クベカラザルモノデアル。ソレヲ教材撰択ノ *social standard* 社会的標準ト呼ビテキルノデアル。然シナガラソレハ一方ニハ子供ノ発達ノ程度ニ適合シナケレバナラナイ。コノ標準ヲ *psychological standard* 心理的標準ト云フテキルノデアル。尚ホ、之ニ次イテ *Spranger* ノ如キハ形式陶冶、実徳陶冶、個性陶冶ノ三ツヲ挙げテキル。又 *Kerschesteiner* ハ第三ノモノヲ以テ教授ノ根本原則トシテキルノデアル。

元来、学校教育ハ商業教育カラ着手サレタノデアルカラ、初期ノ時代ニハ当時ノ學問、技術ガ全テ教材トシテ採用サレテ、五明(印度)五藝(支那)、七科(西欧)ガ教ヘラレタ。中華教育モ亦コノ傳統ニヨツテキルノデ今日ノ問題

トシテハ中華教育ノ整理ガ必要トサレテキルノデアル。

初等教育ニ於テハ實用ト心理的標準ガ主トシテ考慮セラレタ結果、讀ミ、書キ、計算ノ三科ガ中心トナリ、ソレニ算教、修身、國語、体操、唱歌、等ガ加ハリ、尚ホ又地理、歴史、理科ガ加ハソテ来タモノデアル。之等ノ教科ノ内容ガ小学校ニ於テサヘモ、學問ノ要約ト云フ傾向ヲ帯ビルノハ学校教育ノ傳統ガ然ラシムル所デアリ、ソコニ改善ヲ要スル點ガ極メテ多イ。

斯ノ如ク教科、教材ガ傳統的ナ立場カラシテソノ時代ノ要求ニ適合シナイト云フコトガ早クカラ注意サレテキタガ、ソレニ關シテ最も根本的ニソレヲ論ジタモノハ *Spencer* デアリ、彼ハ *What Knowledge is of most worth?* (イカナル知識ガ最も價値アリヤ) ニヨリ教科ノ價値ヲ論ジタモノデアリ、彼ハ教科價値決定ノ標準ヲ *complete living* 完全ナル生活ニ置イタノデアルガ、彼ニ於テハ、*living* ガ生物学的ノ意味ニ於テナシタモノデアルカラ、ソノ價値標準ノ決定ハ次ノ如キ順序トナル。

1. 直接ニ自己保存ニ関係スルモノ、歩行、飲食。
2. 間接ニ自己保存ニ関係スルモノ、生理学、物理学、化学、天文学、地質学、生物学、社会学。
3. 子女ノ教養ニ関スルモノ、生理学、教育学、心理学。
4. 社会的団体的生活ニ関スル智識、文化史トシテノ歴史。
5. 趣味、娯楽ニ関スル智識、音楽、詩。

第一ノモノハ自然ニ修得セラレルカラ、第二以下ノモノガ学校ニ於テ授ケラレル部外デアリ、第五ハ既ノ部分ヲ台ムベキモノデアルトレ、彼ノ考ヘ方ハ生物学、自然科学ニ依ハレタモノデアルガ、ダリシマカラ得ハツタ百科的智識ノ教育ニ反対スルトコロニ意義ヲ見出スノデアル、Spencerノ標準ガ一方的ナモノデアルコトハ云フヲ候タナイ所デアルガ、教材ニ於ケル実用ヲ説ク所ニ意義ガアルノデアリ、Deweyノ如キモ、生活ト活動ヲ標準トシ、歩行、談話、讀ミ、書キ、計算、等ニ関スル智識ヲ第一ニ重

要ナルモノトシテキル、コノ見方カラシテ算術ハ数ガ活動ノ世界ノ性質及ビ関係ヲアヲハスガ故ニ價值ガアルト云フノデアリ、又彼ハ一方ニ於テ子供ノ活動ノ様式ニ合スベク、play and work 遊戯ト労働ヲ教科ノ一ツトシテ又各教科ヲ遊戯ト作業ノ形式ニ於イテナスベシトシテキル、又地理、歴史ハ日常生活ニ對シテ空間的、時間的ノback-ground 背景ヲ與ヘテ、ソレヲ拉ゲルガ故ニ價值アリトスル、斯クシテ彼ニ於テハ一般ニ経験ト生活ヲ豊富ニシテソレガ個性ノsituation 環境ニ入ツテ來ル点ニ於テ價值ヲ持ツモノデアルトイフ、尚本教材價值ヲ向題トシテ取扱ツタモノニDürr, Wagner 等ガアリ、彼等ハ教育学ノ中心ハコノ價值論ニ存スルト云フノデアル。

Dürrニヨレバ、從來ハ理想的價值ヲ重ク見スミタモノデアリ、抑々價值ニハ直接ト間接ト即チ、實際的ト理想的ノ二種類ガアリ、人生ノ實際ニハ實際的價值ガ主デアル。

(説明) コレハ彼ノ *Empföhrung in der Pädagogik* 1908年ノ中ニアル。(説明終)

Wagner は聖、善、美、真、實用、快ハ大
々独立ノ價值ヲ有スルモノデアツテ、夫等ヲ個
性ニ關シテ考ヘルベキモノデアルト云フノデア
ルガ、然シエ曼ト云フ標ナモノヲ過重シテ文化
ヲ精神ノナイモノデアルトシテハナラナイト云
ツテキル。價值ノ標準ニ關シテハ Spencer ト
ト全ク反対ニ價值ノ標準ヲ人間生活テナク、之
ヲ指導スル理想目的デアルトスル見方デア
ル。Shraves ノ如キモノガアル。彼等ニ於テハ經
験テナク、經驗ヲ實在セシムル *absolute*
value 絶對的價值即チ真善美宗教ノ價值カラ
コノ理想ヲ實現スル程度ニ應ジテ各教科目ガ意
義ヲ持ツトスルノデア
ル。然シコノ理想的價值
ハ個人ノ興味及ビ意志ニヨツテ實現サレルモノ
デア
ルカラ生徒ノ個性ヲ考ヘルコトガ重要デア
ル。斯カル立場ニ於イテ教育的價值ヲ見テキル
ノハ Eucker, Budde 等ノ人格的教育學者、
或ヒハ前カント派ノ學者デアリ、彼等ニ於テハ
經濟、政治的價值ハ精神生活ノ手段デアリ、價
値ソノモノデハナイト云フ。コノ *realism*
對 *idealism* ヲ超越シテ前述ノ Wagner,
如ク理想的並ビニ實際的價值ヲ包括スルモノガ

アル。Scheler ノ如キニ價值ハ、

1. 快不快
2. 生活價值
3. 精神的價值

ヲ合メルノデア
ルガ、彼ニ於テハ、聖ガ最高價
値ヲ有スルモノデア
ル。

Spranger ノ如キニ、五ツノ教育的價值、
即チ、理論的、經濟的、藝術的、社会的、宗教
的ノ五ツヲアゲテ、ソレニ高下ヲツケナイノ
デア
ル。Litt ハ各文化財ヲ以テーツノ生活意義
ヲ有シ、生活全体ニ於ケル列置ヲ中心トスベ
ト云フノデア
ル。

米ノ Bagley 之 *The Educational*
Process 1916 ニ於テ理想現實ノ兩者ヲ見テ
次ノ五ツヲ考慮ニ入レテキル。

1. *Utilitarian value* 實用的價值
2. *Conventional value* 傳習的價值
3. *Preparatory value* 準備的價值
4. *Theoretical value* 理論的價值
5. *Sentimental value* 感情的價值

今日迄ノ教科教材ハ歴史的傳習的ニ價值ヲ持

+ Spencer の所謂合理的ト考ヘラレテキル
点ガ少イカラ世界各國ニ於テ 教科ノ向類ガ整
ツテキル。

我國ノ教科過程ハ明治ニ於ケル 功利主義ノタ
メノモノガ多クテソレ以前ノ傳統ヲ regret
レク嫌ヒガアルカラ本年三月中尋学校及ビ高等
学校ノ教授專目ガ改正セラレタノデアル。

排列及び配合

選択シテ教材ヲ如何ニ排列スベキカニツイテ
ハ東洋ニ於テハ 隨年教法トイフ 各種ヲモツテ云
ハレテキルノデアリ。 專修ノ内則篇ニ大年ヨリ
始メテ順次教材ヲ排列シテキルノヲ見ル。

一般ニ教材ヲ各学年ニ配当スルトキニツイテ
法ガアル。

1. 單行法 (順進教法 *Lehrplan*)

一学年ニ一科目ヲ配当シテソノ教科ヲ終ツ
テカラ次ノ^{学年ニ次ノ}教科ヲマシ。十七世紀ニ

Ratke ハコノ方法ヲ採用シテキル。

2. 並行法。並進教法ト云フモノデ同ジ学年
ニ幾ツカノ科目ヲ並行サシテ學習サセルノ

デアル。

3. 折衷法ト云ハレ 両者ヲ並用スル。

コノ三ツノ方法ニツイテ考ヘルニ第一ノ單行
法ハマトマツテ知識ヲ興フルコトガ出来。ソレ
テソノ學科ノ全体ヲ貫通スル利益ガアルガ。他
ノ學科トノ解明ヲ欲イテ又發達段階ニ適合レナ
イ教材ヲ興ヘル不便ガアル。

第二ノ並行法ハコノ單行法ト利害ガ相及スル
モノデ利益トシテハ各教科ノ連絡ヲソケヌ一教
科ヲ多年ニワケツテ易ヨリ難ニ進ミ得ル利益ガ
アルガ。缺點トシテハ一教科ガ永年ニワタルカ
ラ全体ヲ見通スコトノ出来ナイ不便ガアル。

第三ノ折衷法ハソノ教科ノ性質ニヨツテ單行
モスルシ、又並行モスルカラ前者ノ長所ヲ發揮
スルト同時ニ短所ヲ補フコトガ出来テ今日ノ学
校ニ於テ行ハレテキルモノデアル。ソノ方法ハ
修身、國語、算術等ハ^ニ並行法ニヨリ實
的教科即チ地理、歴史等ハ單行法ニヨツテ行フ。
コノ方法ニヨルト全体ガマトマルノデアル。

尚 重要ナル教材例ハ修身、歴史ノ如キハ
反覆シテ之ヲ課スルモノガアリ。ソレヲ環狀教

寮トイフ。宋子ガ大急須箱振理合ト云ツテキル
ノモコノ意味デアル。然レ及種ハ興味ヲ失ヒ易
イモノデアリ。又單ニ無益ノ反復ニ終ルコトガ
多イタメニ飽環スル場合ニハ教材ノ程度ヲ高メ
テ行クコトガ必要デアル。ソシテ無益ノ反復ヲ
省クコトヲ目的トシテ、アメリカノ *Junior*
High School ハ考案サレ且ツ實施サレテキ
ルノデアル。

フランスニ於テハ 1921年ニコノ目的ノタメ
ニ高等小學校ト前庭學校ノ規則ガ改正サレテキ
ル。

ナホ、單行法ノ一種トシテ *Herbart* 派ノ文
化史的段階ガアル。ソレハ第一学年ニ於テ童話、
第二学年ニ於テハロビンソン物語ノセウナ物語
ト云フマウニ子供ノ発達段階ニ從ヒ、然モ文化
ノ発達ニ從ヒ排列ト行フモノデアル。コレハ一
面ニ於テ各教科ノ教材ヲ含マシメヨウトスル
concentration 中心統合ノ原理ニヨルモノデ
アル。統合トハ各教科教材ノ連絡ヲ計ラウトス
ルモノデアツテ、普通學校ノ教壇ガマ・トモス
レバ、隔リ易イ断片的知識ノ注入デハナク、生
キテ知識、マトマツタ知識ヲ興ヘヨウトスルニ

ノデアル。教科教材ニ於テ具體的ナモノ、全一
的ナモノヲ興ヘヨウトスルノデアル。コレヲ歴
史的ニ見ルト *Goethe* モカ、ル思想ヲ *Wilhelm*
Meister ノ中ニ描イテキルノデアリ。子供ガ
唱歌ノ中ニ各教科ヲ含ムヨウニ教ヘラレテキ
ルノデアル。19世紀ニナルトフランスノ *Jacotot*
ハヘルマツクノ冒險談一冊ヲ以テ全テノ知識ヲ
授ケルコトヲ主張シテノデアル。コノ思想ヲ發
展サセ、組織シタモノガ文化史的段階説デアッ
テ、ソレハ明カニ統合ノ原理ヲメガスモノデア
ル。

然レナガラ、コノ排列法ハ歴史、史學ト云フ
モノニ所寄フテ自然科学的ノ教材ヲ *neglect*
スル弊害ガアルカラ、アメリカノ *Herbart* 派
ノ學者 *De Garmo* ハ共列法ヲ主張シテ、ソ
レハ統合ノ中心ヲ人文的教科ト自然科学ト藝術
的教科ノミツニ置クノデアル。コレハ文化史的
段階ノ橋シテキルノヲ補フモノデアルガ、同時
ニ全体的立場ニヨル方法モ必要デアツテ、ソノ
統合ノ中心ヲ御土國家ニ置キ、或ハ教師ノ人格
ヲ以テ統合スベシトノ論モアル。カクノ如キ思
想ガ今日ノ各科學習、*Gesamtunterricht* ト

云フモノニ導イタノデアアル。

我が國ノ各科學習ハ低学年ニ置イテ環境ヲソノマ、提供シテ *Herbart* ノ所謂經驗ト實際トノ道ニ於イテ學習サマヨウトスルモノデ環境教育デアアル。ドイツ又ハオーストリアノ *gesamte unterricht* 全下級学年ニ於イテ統合的ニ取扱フトスルモノデアアル。ドイツノ各科教授ハ1921年 *Prentzen* ノ改革ニ始ルノテ各州ガソレニ倣ツタモノデアツテ之ニヨレバ *Grund-Schule* 基礎學校ノ各科教授ハ知識及ビ技能ヲ單ニ外的ニ修得サセズニ子供ノ學習スル全テノモノヲ出來ルダケ内的ニ經驗サセル自己活動的ニ收得セシムベキモノデアリ。從ツテ全テノ教授ハ子供ノ郷土的環境ニ關係セシムベキデアアル。最初ノ教授ニ於テハ教科ノ一定ノ時間ニ收別スルコトヲ避ケ、諸教科ガ自由ニ交替スル所ノ全体教授ヲナスベキデアリ。コノ各科教授ノ中心ハ郷土科的直觀教授デアツテソノ中ニ話シ方、読ミ方、四画、習字、算術、唱歌ニ於ケル練習ヲ編入スベキデアアル。宗教道德ニ對スル初歩ノ教モ亦ソレニ關係スベキデアアル。教師ト生徒トノ不斷ノ協同活動ヲ要求スル。コノ生命ニ充タ

ク各科教授ノ為メニ時間割ハ新入生ニ可シテモ、以ツトモ一週四時間ヲ配當スベキデアアル。コノ法令ヲ見ルト各科教授ノ目的トスル所ハ生命ニ充タシテ知識或ハ生々知識ト云フモノニアルノデアアル。

オーストリアノ法令ヲ見ルト：一年カラ五学年マテノ教授ハ各科教授デアリ。即チ一定ノ時間及ビ教科ニ依ツテ教材ヲ區別シテハナラス。教授ハ郷土ノ事物教授ニ添シテ郷土ノ生活カラ教材ヲ典型的ニ子供ニモタラスノデアアル。子供ハ斯クシテ彼ノ環境及ビ體驗生活ノ *Image* ヲ通観スル。コノニ教授ハ漸次ニ学年頃カラ同種類ノ対象過程出來事ノ統合及ビ別ノ理解ニ引入レテ行ク。ソノ他ノ教授任務即チ言語、文章、四画、手工的形式ニ於ケル敘述、環境ノ數量的及ビ空間的捕捉モ亦事物ノ領域カラ發達スル。カクシテ四学年ニ於テ漸次教科的教授ヘノ道ヲ充實シテ五学年ニ於テ完成スル。一学年ヨリ三学年マテハ教授時間ノ始メト終リノミヲ教ヘ、又担任教師ノ交替ヲナイ東教及ビ女子ノ手工即チ裁縫ヲ示スノミニトドマル。而シテ四年ノ始メカラ教科的ノ實行ヲナシテソノ四学年ノ後半

期カラ教科系ヲ分ケテマシム。

以上ニ於テ各科教授ノ企図スル所ハ個ハレルガ、上級ニ於テモ各科的取扱ハ必要ナルカラ、郷土科若クハ文化科ヲ設ケルノ事アル。又時々行ハレル機會教授、環境教授モ亦各科的性質ノモノデアル。各教科ニ互ヲナイテモ各個ノ教科ヲ合ハセタリ、又一教科ヲ中心トシテ他ノ教科トノ連絡ヲ計リツツ綜合的ニ教授スルコトガ願ル利益ノアル方法デアル。大戦前ニ於テ既ニ G. Klemm / Kulturkunde (郷土、家庭、社会ノ活動) Seybert / Arbeitskunde (農業科(衣食住ノ方法、物理、化学、生理衛生、工業ヲ合セタモノ)ガ主張サレテキタガ、今日ノ文化ハ Klemmノ考ヘニ産業経済ノモノヲ包含シタモノトシテ行ハレテキルノデアル。

第九章 教授ノ段階及ビ様式

教授ニ於テ一定ノ順序ガナクテハナラナイ事ハ已ニ早クカラ注意サレテキタガ、Comeniusハ verstehen (了解)、merken (知得)、anwenden (應用)ノ順序ニヨルベキモノガ

ト云ツテキル。尚十八世紀ニナルト、Trappハ教授ノ四種類トシテ、1. Behalten 把持、2. Verstehen und Empfinden 理解、3. Finden und Erfinden 発見、4. Anwenden 應用トシテキルガ、是ハ種類ト云フ共ヨリ見レバ、様式ノマウニ思ハレルガ、同時ニ又順序トモ見ラレル。Pestalozziハ Anschauung 直観、Benennung 命名、Beschreibung 叙述ノ順序ヲ立テ、キルガ、コノ順序ニ Stufen (steps)ノ名ヲ與ヘタモノハ Herbart デアル。Herbartニ於テハ教授ノ目的タル多方面ノ興味ハ做ニハ作ルヲ得ナイモノデアツテ、先ツ種々ナモノガ一箇ニ修得セラレル作用ガアツテ然ル後結合セラレ通観サレテ遂ニ心得サレルモノデアル。ソノ際ニ Vertiefung 潜心ト Besinnung 致思ガ交錯シテ来ルノデアリ、personality 人格ハコノニツノ意識ノ統一ニヨツテ発達スル。コノ潜心ト致思ガ静止的 runtendeノ場合ト進動的 fortschreitendeノ場合トガ区別シ、コレニ四ツノ活動ガ起ル。

1. 個々ノモノノ所屬ナル認識タル潜心

Darstellung jedes Einzelnen.

2. 多ク(メ)ノ聯合サレタル組織タル運動的着心 *Assoziation des Vielen.*

3. 聯合サレタル(メ)ノ整理タル靜思的致思 *Zusammenordnung des Assoziation* 即チ *System* 二ナル.

4. コノ順序ニヨリ、或ル練習ヲナスコト、運動的致思 *Methoden*

Ziller ハコノ段階ヲニツケ分ケ、*Analyse* ト *Synthese* ノニツトシテ、前者ハ既有觀念ノ介在デアリ、後者ハソレニ新シイモノヲ併セテ行クコトヲ意味スル。Rein ハ豫備 *Verbreitung*、提示 *Darbietung*、比較 *Vergleichung*、概括 *Zusammenfassung*、應用 *Anwenden* ノ五ツヲ命名シテキル。コノ段階ガ正ニク行ハレルトキニ *Herbart* ハソコニ教授ノ潔正 *Sauberkeit* ガ存スル)デアルト云フ。ソコニホカイ *group* カヲ次第ニ *unit* ニ違シ、組織立テ、行ク時ソコニ教授ノ介在 *Artikulation* ガ存スルト云フ)デアリ。其ノ最モホカイ單位ヲ *Ziller* ハ方法的單元 *methodische Einheit* ト呼ンダ。尚コノ形式

段階ヲ *Darppferd* ハ *Anschauung* ハ *Einheilung* ト *Anschauung* トヲ *Denken* ハ *Vergleichung* ト *Zusammenfassung* カラトシ、ソレニ *Anwendung* トイフマウニシテ、*Willmann* ハ *Empirische Moment*、*Rationales Moment*、*Technische Moment* ノ三ツトシテキル。

コノ *Herbart* 派ノ段階ハ世界各国ニ用ヒラレテ各學校ニ適用サレルガ、ソレガ形式的ニ置スルト雖ク起ツクノテソレヲ生物學的或ハ論理的ニ追求シテ新段階説ガ唱ヘラレルマウニナツテ。

Lay ハ生物一般ノ *Action and Reaction* 即チ刺激ト反應トノ聯絡トイフ事實カラ段階ヲ見タ。1. *Beobachtung (anschauung)*、2. *Verarbeitung (Assimilation)*、3. *Darstellen (Ausdruck)* ノ三段階ヲ立テタ。彼ニヨレバ、コレハ學習ノ順序デアツテ、1. ハ生徒自身ノ觀察、2. ハ觀察シタモノノ類似、差異、上下四果關係ヲツケ又多少感情的記憶的ナモノヲ含ンテ居リ、3. ハソレガ発表サレルノデアル。彼ハ *Ziller*、段階ガ心理学ノ

ミニヨソテ居ルカ一方的ヲアルト云ツテキル
 ガ、*Sallwirth* և 亦同シ理由ヲ *Zeller* ヲ非
 難シ。故等 *Herbart* 派ノ形式段階 *Formals-*
tufen և 亦ハルニ規範形式 *Normalstufen*
 ト云フ言葉ヲ以テシテキル。然シ内容ニ於テハ
 同ノ着眼ヲ有スルモノデアル。彼ハ學問ニ存
 スル認識ノ種類ニ就テノ論理的研究トソレヲ獲
 得サセル心理的母体トノ両方ノ基礎ノ上ニコノ
 形式ガ成立スベキモノト云ヒ、知識ハ、

1. *auf Treu und glauben* 信仰ニヨル
 モノ。
 2. *Durch Konstruktion* 建設ニヨルモノ。
 3. *Durch Induktion* 帰納ニヨルモノ。
 4. *Durch Hypothese* 仮定ニヨルモノ。
- ニヨツテ得ラレルヲ。歴史、地理ハコノ1デア
 アルガ (自今ハ見聞シナイガ、人ガサウイフカ
 ラ信ズル) 併シソレヲ比較研究スルトキハ 2、
 3、4ノ種類ノモノニナル。コノ2ハ、幾何
 トカ算術トカノ知識即チ演算的ナ知識デアルガ、
 ソノ知識ヲ取扱フトキハ帰納的デアル。3、ハ
 自然科学デアツテ、コレニ亦仮定ニヨツテ其カ

レルモノデアル。カクチ知識ハ何レモ帰納的ナ
 経路ヲトル。

カクシテ *Normalformen* 規範形式ハ

1. *Hinleitung* { a. *Gegenstand*
 b. *Grundlegung*
2. *Darstellung* { a. *Lehrstück*
 b. *Beweiterung*
3. *Verarbeitung* { a. *Ergebnis*
 b. *Einfügung*

ノ如クナル。

教授ノ進行ニ於テハ一定ノ段階ガアルノデア
 ルガ、*Seybert* ハ教授法ヲ研究シテ *Wundt*
 ノ精神発達ノ原理ト教授ノ根本原則トシテノ自
 己活動ト感情的把握トノ見地カラ段階ヲ立テテ
 キル。精神発達ノ原理ト云フノハ、第一ニ複
 合的精神発達ノ原理、第二ニ運動的結合ノ原
 理、第三ニ運動的濃化 (*Verdickung*) ノ原
 理、第四ニ *Mechanism* 機構ノ原理又ハ
Psychische Ökonomie 精神経済ノ原理デア
 ル。

カクシテ段階ハ

1. *die Einstimmung* 同意.
2. *Erarbeitung des Neuen* 新教材ノ整理.
3. *Einarbeitung in das Bewusstseins-ganze* 意識全体へノ導入.

2ノ新教材ノ整理ノ段階ハ *Wundt*ノ 1. =
アタリ、3ガ *Wundt*ノ 2ト3ノ段階ニアタル。

4. *formale Verarbeitung*

コレハ *Wundt*ノ 4 = アタル。

コレノ段階ハ多クノ異ニ於テ *Herbart* 派ノ
段階ニ相当スルコトヲ云フテ可ル。

コレノ段階ヲ实例ヲ以テ云フナラバ東教教授ニ於
テ、第一段階ニ於テハ *Byble* 物語ノ要索ニヨ
ツテ感情状態ヲ起スノデアリ、第二段階ニ於テ
ハソレヲヨリ深ク入り込マセルノデアリ、第三
ノ段階ニ於テハ他ノ例ニヨツテ濃化スルノデア
リ、第四ノ段階ニ於テハ詩々物語ヲ讀ムコトデ
アル。

Stachner ハ自我ノ活動ト云フコトニ重キヲ
置キ、自我ガ材料ヲ取入レテ整理シ発表スル順
序ガ教授ノ *Process* ヲ定ムルモノデアルトシ、

1. 判断ニヨツテ観察スル。
2. 感情ノ判

断ニヨツテ決定ス、3. 意思活動ニヨツテ行動
ニアタハシテコレニ人格ガ表現セラレルト云フ
ノデアリ。カクシテ、1.ハ材料ヲ取入レル
段階、2.ハ、材料ト人格トノ競争ノ段階、
3.ハ、人格ノ自由ナル活動ニヨツテ材料ヲ征服
スル、段階デアリ。

コレヲ主観的ニ命名スレバ、

1.ハ直観、2.ハ経験、3.ハ発表デアリ。

Walsermann ハ *Herbart* *Stachner* 以テ
段階ヲ綜合シテ、次ノ如キ段階ヲ述ベテ可ル。

第一、教員ニヨリ、教材ニ於テハ児童生徒ニ教材ヲ
確定サセテ明瞭ニ理解ニ画カセルコトガ必要デ
アリ、ソレガ第一手段トシテ、

1. 直観デアリ、コレハ複雑ナ *image* 像デ
アリ、個々ノ対象トシテ多クノ要素ヲ含ムモノ
デアリカラ、第一ニハソレヲ分析スルコトガ可
能デアリ、必要デモアル。直観ノ非ニ段階トシ
テハ教材ヲ *produce* 産出スルコトガ必要デ
アリ、コレヲ *Konstruktion* 建設ト云フ。所
シ具体的ナ表現ヲケテナク、思考作用ニヨツテ
導カレナケレバナラマカラ。

2. 認識ヲ必要トスル。コレハ直観ノ基礎ノ

上ニ得ラレテ思考關係ヲ整理シテ概念的ナ組織ニ高メルノデアル。コノ認識ハ知識ノ教材ノミニ該当シテ技能教材ニ於テハ行動練習ガ中心トナル。認識ハ必ず判断シ、次ニ発長 *develop* シ、最後ニ學習セル者ノ應用ガ必要デアリ、ソレガ第三ノ段階ヲ形成スル。

3. 應用ハ學向ト生活トノ必然的結合ノ確立ヲ目的トシ、知識ヲ能力ニ置キ換ヘ學習シテ普通命題ニヨツテ個々ノ材料ヲ支配スルモノデアル。

以上ハ教授ヲ智的課程トシテ見タモノデアルガ、情意ノ要素ヲ一層多ク加ヘテ段階トシテ、生活認識生活、体験認識体験ト云フマウナ段階ヲ唱ヘル人モアル。

以上述べた教授ノ段階ノ如何ナル段階ニモ通ジテ行ハレルモノデアルガ、教材ノ種類又ハ生徒ノ発達段階ニ應ジテ異ル所ノ形ヲバ教式、模式ト称シテキルノデアル。

Herbert ハ教授ノ *Gang* トシテ單ニ敘述的ナルモノト分析ナルモノト、綜合的ナルモノトノ三ツヲ分ケテキル。 *Messmer* ハ分析ト綜合ト抽象ト限定 (*Determination*) ト帰納ト

帰納ト云フ六ツヲアゲテ之ガ教材ノ性質ニヨリ時々行ハレルト云フノデアル。

Wilmann ハコノ教式ヲ叙述教授、說明教授、発展教授ノ三ツニ分ケテキルガ、嶺本之ニ發着教授ト云フノヲ加ヘルモノモアル。又コノ教式ニ注入ト問答トノ區別ヲシテ、注入ニハ示教式、示範式、講義式ケアリ、問答ニハ問答式、對答式、標題式ヲアゲテ、コレヲノ教式ヲ用フルニ當ツテハ示例法、説明表、因解法、訂正法等ヲ心得置クベキデアル。

America / *Bagley* ハ発展教授ニ帰納的ト演繹的トヲ分ケテトキヲモ概念及び判断ノ形式ニ導クモノトナシテ、後者ヲ説明的ト先見的トニ分ケテ考ヘテキル。而シテ彼ハコ、ニ形式段階ヲ認メテキルノデアリ、帰納的ナモノニハ *Herbert* 系ト同ジク、

1. *preparation*
Statement of aim 目的ノ叙述
2. *presentation* 3. *comparison and abstraction* 4. *generalisation* 5. *application*

演繹的ナモノニハ

1. *the date*

2. principles
3. imperance
4. verification 等ガアルトエテキル。

第十章 教授ノ方法 (原理)

古来ノ教育者ハ何レモ *active* ナ方法ヲ主張シテキルノデアリ。樂記ニ、導而弗牽、強而弗屈、劑而弗違、ト云ツテ居リ。論語ニ不憤不啓、不悱不發、學一隅而示之、以三隅而不反不復也、ト云ツテキルノモソレデアル。

西洋ニ於テハ *Socratic Method* モソレデアツテ、先ツ *Irony* ニヨツテ、青年ノ抱ク偏見誤解ヲトリ去リ、*Maientics* ニ於テ正シキ知識ヲ内部カラ引キ出シテ概念定義ニ盡ヒ詰メルノデアル。後世ニ於テハ *Socratic Method* ハ單ニ問答法又ハ *active* ナ方法ノ意味ニ用ヒラレテ來タガ、問答ニヨツテ兒童生徒ノ既有觀念ヲ分析シテ歸納的ニ概念ニ返求スルコトヲ奨励シタノデアル。又子供ノ生活ニ適合スルタメニ *Playing Method* 又ハ *Play-way*

Method ガ主要サレテキルガ、ソレハ *Greek* 時代ノ教育者モコレヲ強調シテキルガ、特ニ十六世紀ノ *Erasmus* ハ子供ガ學ヲコトガ出來ルヤ否マ教育ハ遊戲的ニ始ムルベキモノデアルト云ツテキル。十七世紀ニハ直轄、言語ノ教授ニ於テ夫々ノ方法ガ考ヘラレ、十八世紀ニ至ツテ汎發散ノ人々ハ一層詳細ニ種々ノ方法ヲ考ヘテ又ソレヲ組織シタノデアル。一例ヲ舉ゲルト、*Basedow* ハ學校ニ於テ *Buchstabierspiel* (活字遊戲)、*gedächtnisspiel* (記憶遊戲)、*Kommandierspiel* (命令遊戲)、*Begriffspiel* (概念遊戲) ト云フ様ナモノヲ行フタノデアル。*Campe* ハ地理カルタヲ作ツテ、ソレヲトランプト同ジ様ニ遊ンデソノ中ニ地理ヲ學バシメヨウトシタノデアル。

我が國ニ於テモ、江戸時代ニ徳沢善山ハ殿様輩ノ遊ビニトリナレテ君臣ノ禮儀ヲ教ヘマホラスベシト云ヒ又遊ビガテラニ習ハスベシト云フテキル。山鹿素行モ亦遊戲ノ間、遊行ノ間ニ成人ノ道又ハ各々ノ家業ヲ學バシムベキデアルト云ツテキル。若シ、サヨウデナケレバ、平常ト別ニナルト素行ハ云フノデアルガ、コレハ

Dewey の各教科ハ幼年ノ学校外ノ生活ト同一
ナ形式即チ遊戯ト作業ノ形ニ於テ教ヘナケレバ
ナラナイト云フノト同じ考ヘデアル。一般ニ遊
戯ハ子供ノ活動形式デアツテ、彼ツテ遊戯的方法
法ハ低学年ニ於テ特ニ意義ヲ持ツノデアリ。ソ
レカ單ニ遊ビ事ニ終ツテナラナイノハ勿論デア
ツテ、コノ遊戯的形式ヲ漸次ニ作業ノ形式ニ進
マシメルコトハ必要デアル。コノ点ニ Ker-
schensteiner ハ遊戯ハ繼續的段階デアツテ、
ソレガ漸次作業ニ導カレルコトが重要ナコトデ
アツテ、好幸裏的態度ニ陥ツテハナラナイト云
ツテキル。彼ハ学校ニ於ケル学動ノ Type ヲ
spiel, Sport, Beschäftigung,
Arbeit, 四ツニ分ケ、ソレガ漸次級ノ形式ニ
移ルベシト云フテ居リ、ツマリ、遊戯的方法ハ
子供ヲ active ニ導ベシメントスルモノデア
ル。猶ホ自ラヲ活動セシムルコトニ依リ学習セシメ
ントシ、理科教授、Nature Study, 物理学ニ
於テハ、discovering Method ガ行ハレテキル。
nature study トハ子供自身ヲシテ直接自然
界ニ就イテ子供ヲシテ自ラ判定サセ、自ラ考ヘ
サセルヨウニスルノデアル。

Salzmann 亦同然ノ大傳物標本室カラ
直接採レシモノコトヲ主張シテキル。discovering
Method ハ物理化学ノ発見ノ Process
ニ於テ取扱ハントスルモノデアツテ、コレモ亦
Rousseau ガ子供ニ學問ヲ學習サセナイテ発見
サセルト云フテ居リ、子供自ラ材料ヲ集メテ歸
納的方法ハ行ヘセテ導ベシメントスルコトデア
ル。ソレ故ニ Scientific Method トモ云ハレテ
居ル。然レナガラ科学者ガナレタコトト同じ経
路ヲ辿ラセルモノデハナクテ、唯 ready made
ナ法則(出来上ツタ法則)ヲ暗記サセルノデハ
ナク、ソノ法則ニ連スベク帰納的ニ導カントス
ルモノデア
ル。

ドイツニ於ケル Arbeitsschule 作業学校、勤
勞学校、勞作学校ト称スルモノモ亦 active ナ
方法ノモノデアリ。コレガ主張サレタノハ Hand-
work ヲ重ンズルコトニ始リ、後ニハ精神ノ活
動、或ハ行動、法則ノ適用、應用ノ如キ方法ニ
進展シテ行ツタ。ツマリ Handwork ノ科ト共
同作業ト自己活動トヲ含メル教育方法ノ改革運
動デア
ル。1910 年以後ハ精神方面ガ力説サレ
テ gangig ハ自由精神作業 Freie-geistige

Arbeit を強調シテ ソレハ 生徒 = 固有セルカテ
向類ヲ解決スル様ナ 作業ノ 種類デアル。ソレハ
單ニ 智的デハナクテ 感情的 意志的デアツテ 成長
スル 人格ノ 活動デアルト云フノデアル。世界大
戦後 = 於テ *Österreich* = ヨツテ *Produktion-*
schule) 名ノ下ニ 謂ハレルニ至ツタ。彼 = 依
レバ、 作業学校ハ 抽象的ナ 飛問法ヲスルノデハ
ナクテ 庭園、 農園ノ 作業ヲ 指回スルノデ 健康
ト 共ト 進ヲ 養ヒ、 人間ト 社会ヲ 教フルモノデア
ルト云フ、 彼等ノ 手ニ ヨツテ 園藝 作業 学校ガ 設
ケラルルニ至ツタ。 併シ、 コレハ 作業 作業ノ 一
方面デアツテ、 教授法トシテハ 作業学校カラ 生
活学校 *Lebensschule*) 方向ヘ 転向シテ 行ツタ
モノデアル。

コレハ 早クハ *Lay, Tatschule*) *Lay* ハ
自ラ 生活 学校ト云ツタガ、 ソノ 後十 数年ニシテ
Arbeit) カガ *Leben*) カガトナリ。 学校
ヲ *Lebensgemeinschaft*) ト考ヘ 手 作業ヨリ
モ 生活、 体験ト云フガ如キ *Ganglichkeit* 全
一的ナ 活動ヲ 教育ノ 中心トスル様ニナツタ。 然
シナガラ コノ 方法ノ 起源 = 於テ、 手エ = 始リ 單
ニ 精神 作業ノミヲ 以テスルモノデハナイ。 ドイ

ツノ *Arbeitschule*) 思想及ビ 方法ガ *France*
ニ 於テハ *Active school*) 名ノ下ニ 活動的
方面ヲ 力説スルニ至リ。 ソレガ ベルギー = 於テ
Decroly = ヨツテ 生活ト 結合シテ *Decroly*
Method = 至ツタモノデアリ。 *Decroly*
Method) 始メタ *Doctor Ovide Decroly*
(1871 - 1932)) ハ 精神病学者、 教育学者デ
アリ。 彼ハ 医学、 心理学ヲ 研究シテ 1907年カ
ラ、 ブラッセルノ 郊外ニ *Decroly school*)
開キ *Lecole par la vie et par la*
vie) ヲ 標榜シタ (コレハ *life* = ヨツテ 立テ
life = 向ツテノ 適切ナ 学校ト云フ 意味デアル)
ノデアリ。 ソノ クラスハ 一 学年ヲ 25人以下ト
スルノデ 個性ニ 適シク 教育ガ 行ハレルノデアル。
児童生徒 = ハ ソノ 生活、 自然的環境 = ヨツテ 教
育スルコトガ ソノ 中心デアツテ、 ソノタメニ 現
象ニ 対スル 観察、 地理、 歴史ノ 新實ノ 聯合
Association 手エ = 陶スル 表現 *expres-*
sion) ニツノ 仕事ヲ サセル。 而シテ コノ 三ツ
ノ 事柄 = 陶シテハ 次々ノ *Notebook*) デアツテ、
ソレニ 記入サセル。 而シテ 又 子供ノ 読ムコトニ
陶スルモノハ 國語以外ノ 教科書ト 密接ニ 關係サ

セ書方ハ因画 手エカラカス 技術、観察、録
習ト關係サセル。学校ハ生活ガ共同シテオホ
フコトヲ共同作業トシテ為ヘル主観教育、手エ
教授ヲ学科ノ中心トスル。普通ノ読方、算術ハ
一ツ一ツノ教科デハナクテ、教育ノ各部分ノ機
能ヲ指シ示ス方法デアルト考ヘル。教科ハ生活
ニ導キ文化ヲ獲得スル手段ニ過キナイト考ヘ、
自然及ビ社会ニ関スル生活ヲ準備スルモノト見
ルノデアル。興味ノ中心ハ子供ノ生活カラ出悉
シテ社会生活ノ材料ニヨソテ生活ニ導クノデア
ル。

Montessori Method ハ Arbeitschule ×
Decroly Method ニ近イ但イ所ヲ持ツテキル
モノテ自由、活動、作業、実生活ガコノ法ノ精
神デアル。Maria Montessori ハ(1870~)
医学、心理学、教育學ヲオサメテ異常児ノ研究
ニ力ヲ盡シテ、1907年ニ Casa dei Bam-
bini 児童ノ家ヲRomeニ開イタノデアル。校
女ニ依レバ Scientific educationノ根本原則
ハ子供ノ自由デアリ、自由ト云フコトハ活動デ
アル。自ラ活動サセルト云フコトガ児童ノ家ノ
主義デアリ、綱領デアリ、作業ガソノ主幹トナ

ルノデアル。ソユデハ9時カラ10時迄實際生
活ノ練習。2時カラ3時迄手エ Handwork
読ミ書キノ初歩教授及ビ感覺器官ノ練習ハコノ
自由ト活動ノ上ニ建設セラレルノデアリ。ソノ
方便物トシテ educational material 教具
ヲ使用スル。

同じク自己活動ニヨル教授法トシテ America
ニ Case Method ト云フモノガアル。之ハ
Langdel ガ用ヒタノガ始メデアリ。今日デハ
医学、愛文等ニ適用サレテ居リ。之ハ判決例ニ
ヨツテ原理ヲ引出サセヨウトスル法学教授ノ帰
納的課程ヲ取ルノデアリ。即チ学生ガ判決例ニ
就テ、ソノ中心ノ事實問題提出ノ形式ソノ判決
ニ用ヒタ法律問題判決ノ理由等ヲ自ラ提出スル。
教師ハ問答法ニヨルガ、徹底デナク演習デアリ。
指導デアル。コノ自己活動ノ力説ト云フコトカ
ラ America 人トシテハ Motivation 動機付
ケトイフコトガ唱ヘラレ。H. B. and G. M.
Wilson, Motivation in Scientific
Work 1916.

Miller, Education for the need
of Life 1918. 等ガアル。

Motivation ト云フ、ハ子供ノ態度、意向、
向類ニ教育ヲ関係サセ意義アラレドモ、子供ハ
仕事ノ中ニソノ實際的ナ用途ヲ見出シタ時トアル
要求ヲ満足スル時ト望ム目的ヲ達スル時ニ
Motivate 動機付ケラレルノデアル。即チ子
供ガ自分ノ仕事ト目的ノ関係ヲ明カニ了解スル
時 *Motivate* サレル。 *Motivate* ヲ一般ノ刺
戟ト比較スルト刺戟ハ努力ニ對シテ表面的概念的
的デアルノニ對シテ、動機ハ努力ニ對シテ基礎
的ナスハ動的ナモノデアル。猶亦動機ハ興味ヨ
リニ根本的ナモノデアル。ソノ源ハ本能及ビ先
天的傾向、金得レタ習慣等デアル。

コノ自己活動ノ力説ガ教授法乃至管理ノ一
法トシテ *Supervised Study* ガ *America*
デ唱ヘラレ、実行サレテキル。

指導學習

コレハ各生徒ガ自分デ種々ノ問題ヲ了解シ、
支配スルノニ適當ナ機会ヲ與ヘルマウナ教授法
ヲ云フノデアル。コノ法ノ特ニ力説サレル所以
ハ家庭ノ變動ガ學校ニ於ケル個性教育ヲ必要ト

サセ、課業ハ子供ノ能力ニ契ツテ進マセナケレ
バナラナイト云フコトヲ痛感サセルニ從ヒ、コ
ノ必要ガ起リ、コレハ全テヲ子供自身ニ任セル
ト云フノデナク、子供ノ自學自習ヲ監督指導ス
ルノデアル。コレニヨツテ個々ノ生徒ニ教授ガ
行ニ涉リ、特ニ劣等性ノ仕事ヲ進メ、一般ニ生
徒ノ進歩ヲ熟知シテ意向、暗示ニヨツテソノ進
歩ヲ刺戟シテ學習法ヲ教ヘルノデアル。

8.8 ハ斯クレテ學級管理ノ方法

第一ニハ教授法デアリ、

第三ニハ學科課程ノ指導デアリ、

第四ニハ學校管理ノ新ラシイ形式デアル。

斯クシテ、8.8 ハ

1. 學級管理及ビ學校管理ノ新ラシイ標式ト
シテ從來ノ一切教育カラ個人教授若クハ分擔教
授ニ移動シタモノデアル。

2. 教授法ニ於ケル力説点ノ變化トシテ教授
ガ學習ノ指導者トシテソノ學習ノ條件及ビ方法
ヲ教フルノデアル。

3. 8.8 = ヨツテ困難ナル点及ビ重要ナル点
ヲ悉見シテ又生徒自身ニソノ個所ニツイテ知ラ

セルノデアル。

4. 学校管理ニ於テ宿願ヲルクスル。学校ニアル時間ヲ永クスル。教師ノ改善ガ必要デアル。

斯クシテ *Surprised Study* トハ各生徒ガ学習及ビ思考ノ方法ニ於テ自分ノ毎日ノ仕事ガ智的飛展ニ好都合ノ様ニ適度ニ教授カレル学校方針ノ案ハ創造的精神、明晰ノ思考、而シテ自己ヲ信頼スル精神ヲ展フコトニナル。

而シテ、*Surprised Study* ニ於テ、個人ノ指導ノ問題、学習ノ障礙ヲ除ク條件ノ考慮ガ必要デアリ。カ・ル見地ノ下ニ

1. *Study room* 若クハ *reading room* ノ設備ガ必要デアリ。ソコニハ百人位迄ハ一人ノ教師ヲヨイガ、多クレバ二人位ノ教師ヲ監督シナケレバナラナイノデアル。

2. *discussion of Study* 即チ学習シタモノノ *discussion* ヲヤリ、ソレガ一般納討論ト特別ナ討論トニ分ケテ行フノデアリ。前者ハ30分間学科ノアトで行フ。アル学校デハ四時間ニツイテ11時間ヲ普通討論ニ充テ、弁ルノデアル。

3. 研究法ヲ教ヘルノデアリ。ソレヲ個人的

教フル。基本組織ノ案トシテハ第一ニ *part time plan* デアリ、一般取組ト個別指導トノ二部ニ分ケル。即チコレハバタビヤ案即チ *Class teacher* ノ外ニ個別指導ノ教師ヲ置クモノノ類型デアリ。

コノ内デ *Newark plan* ハ一時間ヲ三十分ヲ分ケテヤリ、ソレニヨリ宿願ハ全ク満足シタノデアリ。

Columbia plan ト云フノハ一般取引ヨリニ *Surprised plan* ノ方ヲ多クシテ全時間ノ三分ノ一ヲ *recitation* ノ時間トスル。三分ノ二ヲ *surprised study* ノ時間トスル。ソシテ *surprised plan* ハ普通教室ヨリニ小サイ読書室ヲ行ツテ、読書書マソノ他ノ材料ニ直接触レサセル。ソシテ普通教室ニ居ツテモ生徒ト教師トノ共同実習場トシテ、ソコニ学童ハ絶エズ学習指導ヲ受ケル。

第二ノ案ハ、*Double plan* デアリ、始メノ四十分ヲ普通教育後ノ四十分ヲ *surprised Study* トスル。

第三ノ家ハ隔週指導學習デアリ。各学科ニツキ毎週一時間づつ指導スル。

第四ニ。指導學習ヲ課業時間ノ外ニ行フ。

第五。隔日ニ行フモノ。

第六。普通教室ヲ行フ。

第七。時々行フ。

以上 Americaニ於ケル *Active + Methods*ヲ見タガ。斯ウレタ *Methods* カヲ見テモ *Project Method* ガ広ク行ハレルコトニナツタ。

実項教授、橋本教師。コノ方法ノ起源ニツイテ *Stockton* ハ 18世紀ノ教育ノ状況及ビ思想ニソレヲ求メテ居リ。Parker ハ 19世紀ニ於ケル *activity* 活動ノ原理ニ求メテキル。

Stockton ハ *Project work in Education* ナル著書ニ於テ之ヲ説キ。Parker ハ *Project Teaching* ニ於テ、*Pupils Planning*、*Practical Activity* ヲ説ク。

前者ニヨレバ 18世紀ニ於ケル社会的能率ト學習者ノ精神ニ基礎ヲ置キ *language* 語學ニバフルニ *science* ト *utility* ヲアゲ。

ソレガ *Rousseau*、*Pestalozzi*、*Froebel*、*Herbart* ヲ通シテアメリカニ傳リ、*James Hall*、*Thorndike*、*Dewey*、*Mc Murry* ニ及レタコトヲ基ケテキル。

後者ニヨレバ、新教育運動トシテ、*Motivation* 動機付ト教授ヲ *Problem* 問題解決ノ経過ニ置クコトカラ *Project Method* ガアラハレタノデアリ。ソレニハ *Dewey* ガ幼稚園ノ作業的ナ方法ヲ小学校ニモ行フトシタコト、並ビニ職業ノ精神ヲ学校ニ入レヨウトシタコトガソノ導キニナツタト云フノデアリ。

Project トハ *Practical enterprise* ト云フ意味ニ於テ一般ニ採用サレル言葉デアリ。ソレヲ教育ニ持ツテ未ダ始メハ職業教育ニ於テ *home project* ヲ家庭ノ庭園ノ一部ニ生徒ヲシテ或作物ヲ培養サセ。ソレヲ課業ノ一部トシタコトデアリ。ソレハ *Slinson* ガ 1912年頃カラコノ法ノ普及ニ努メ。ソレト前後シテ *Snedden* ガコノ方法ヲ説イテ居リ。1914年、理科教員会ニ於テ、従来ノ暗記ニヨル教育ヲ *Project Method* ヲ以テ改善レヨウトシタノデアリ。

(説明) Woodhull, Teaching of
Science 1918.

Swiss, Science Teaching 1917

等ガアル。(説明終)。

ソノ後、地盤登火算ニモコノストガ行ハレテ
家事、手工ニモ應用サレ、コノ間ニ Problem-
Method 問題法即チ、問題解決ヲアドラセル方
法ト稱候々補助ケテ、Problem-Project
Method ト云フヨウナ言葉ガ出来遊ニハ両者ヲ
合メテ Project Method トスルマウニナ
ソク。此ノ法ノ発達ニヨルト實際的ナ見方ニヨ
リ教育ヲ徹底サセルコトガ、コノ法ノ主眼点デ
アリ。教育上ノ Product トハ具體的ナ或ル仕
事ヲ成シ遂ゲル教育作業ノ Unit デアル。斯
クノ如ク仕事ノ性質トシテ第一ニソレガ統一シ
タ Unit デアリ。第二ニ、目的結果ノ意識ガ明
瞭デ興味ヲ起シ易イ。第三ニ、ソノ仕事ノ標準
ガ objective and clear デアリ。第四ニ、
ソノ遂行ニ於テ旧知識ヲ適用シ又新知識ヲ獲得
スル。Mc Murry ハ Project ヲ以テ大直視
的學習デアルト云ツテ居リ、Parker ハ兒童ノ

計画スル實際的活動デアルト云ヒ Stockton
ハ learning by doing, modernization
of school デアリ。兒童自身ガ結果ヲ追求ス
ルコトデアルト云フ。

カクノ如ク Project Method ハ具體的ナ
仕事ヲ中心トスル所ナラシメテ現今デモカ、ル向
ニ用ヒラレテ来ルガ、ソレニ對シテ Problem
Method, element ヲ強調シテ目的ノ意識
ヲ明瞭ニスル派アリ。Kirpatrick ニハ著書ト
シテ The Problem Method トシ、之ニ於
テ Problem Method ハ目的アル活動或ハ
whole hearted activity 全投活動デアルト
云ツテ更ニ Crachowitz 女史ノ如クモ目
的アル活動ヲ中心ニシテキチ殊ニ低学年ニ於テ
研究シタノテ具體的作業ガ多イ。

ソノ外 Stevenson ハ Project Teaching
1921. ニ於テ兩者ヲ合メテ考ヘテ居リ Project
トハ natural setting 自然的ナ組織ニ於テ
完成スル問題的活動デアル。即チ記憶ニヨラナ
イテ自己ノ思考デアリ。報告デナク activity
行動デアル。artificial setting 人工的ナ組
織デナク natural setting デアリ。原理

カラ始メナイデ問題トシテ解決シテ原理ニ到達
スルニテアルト云フノデアル。コノ意味ニ於
テ行動デアリ、實踐デアリ、蒐集セシメ解決セ
シメタコトガコノ法ノメダス所デアル。一例ヲ
以テスルナラソノ *Product* ガ英國ノ經濟地理
テアルトスルト *Europe* ノ外國貿易ト比較スル
コトカラ始メ団体ノ仕事トシテ政治上ノ仕事ヲ
研究調査サセ又國內ノ生活ヲ細々、討論ト摘要
ヲ取ラセ、終ニ英國ノ過去ト現在ト云フ題目ヲ
劇ヲマツテ過去ノ *spirit* ト現在ノ *spirit* デ
野外劇ヲマシ、或ハ又地圖ヲ模型等ノ製作モー
ツノ小サイ *Project Method* デアル。

コノ *Project Method* ノ特色ヲ考フルト、
第一ニハ、直観作原、行動ヲ力説レタモノデア
リ。Snedden ハ *Project* ヲ以テ *positive* 實
証的ノ具體的ノ形ニ於ケル教育作業デアルト云
ツテ居リ、Mc Murry ハ又モナ直観單位デア
ルト云フノデアル。

第二ニハ、生活、將ニ實生活或ハ社会トノ結
合ト云フ点デアリ。Mc Murry ハ *Project* ハ
實生活ヲ反映スルト云ヒ、又活動的生活ニ於ケ
ル計画デアルト云ヒ、Crackwitzer ハ學校外

ノ生活ト出来ルダケ一致サセル。ソレテコノ實
生活ハ *Complex* ナモノデアルカラ、コノニ非
スノ性質トシテ教材ニ於ケル場合、合衆ヲ力説
スルノデアル。即チ *Stenerson* ノ *Natural*
setting ト云フノハカ、ル合体的ノ意味デアル。

第四ニハ、目的ノ意識ガ力説サレテキルコト
デアル。世

第五ニハ、問題解決ノ課程ヲ力説スルコトデア
アル。カナル特徴カラレテ生ズル利益トシテ社
会ト同じ仕方ニ於テ教材ヲ考ヘルコト、思考ヲ
勵カスコト、共同奉仕ニ役立タセルコト、言葉
ノ練習ニナリ、個性ニ適合スルコト等ヲ奉ゲテ
キル。又コノ法ノ難点トシテ、コノ法ヲ用ヒル
児童及ビ教師ノ不能ガ擧ゲラレテキル。又自己
活動ト云フ形式ニノミ採ハレルコトガアルト云
フノデアル。

猶ホ *America* ニ於ケル *Dalton plan* ハ一
層 *Individuality* ヲ強調シテアラハレタ方法
ノ一ツデアリ。コノ方法ノ創始者ハ *Helen*
Parkhurst (日本ニ四回ニ來タコトガアル)
デアリ。Education on the Dalton Plan
ナル著書ニ於テコノ法ヲ説イテキルガ、コレハ

嘗ツテ Emerson が学校が多量ヲ暗記カセルコトハスルガ、事物ヲ知ラシメナイト云フコトヲ云ツテ居リ、Edison が子供が自然ニ學習ヲ好ムト云フ好奇心ヲ持ツテ居ルノニ教育法ハコレニ失敗シケト云ツタコトが今日ハ何人ニモ考ヘラレテハキルガ、古い組織ノ内ニハカナル教育ハ行ハレナイト云ヒ、ソレニ対スル改革ヲ Conklin ノ人間ノ発達ニ於ケル遺傳ト環境 Swift ノ人間ノ発達ノ両者ニ負フテ云ルト述ベ、此レ等ノ影響カヲ考ヘタコトハ最も rational ノ方法トハ生徒ト共ニ勵フコトダ、教師ハ生徒ヲ研究シ、教室ガ教育ノ実験室トナリ、活動ハ手工ノミニ限ラレナイ筈デアアル、今日ノ教育ハ環境カラノ suggestion ヲ正當ニ認メテキナイト云ヒ、カウイフ精神カラ 1911 年ニ 8 オカヲ 12 オマテノ子供ニ対シテコノ案ヲ実行シヨウトレ、1913 年頃ニ時間割ヲ止メマウトシタガ、1915 年頃迄ハソレヲ実行スルコトガ出来ズ、1914 年頃 Montessori Method ヲ研究スベク Italy ニ行キ、翌年コノ法ヲカルフオルニマテ実行シ、1919 年頃コノ案ヲ缺陷兒童ノ教室ニ行ツタ、

ソノ成功ガ Miss Crain ヲシテ Dalton High School ニ行ハセタリデアアル、ソノ好成绩ヲ見テ London ノ Miss Lennie ガ英國ニ通傳シ又實際行ツテキル所モアル、

コノ案ノ中心ハ学校ヲ Social Laboratory 社会ノ実験室、換言スレバ学校ヲ生活自身ニ於ケルカ如ク社会的條件ガ規定スルマウナ場所トスルベシトスル、America ニ於テハ Dalton High School ニ於ケルカ如ク、Parkhurst ノ children's University デ行ハレ、コノ案ノ Principle トシテ彼女ハ自由ト協同ヲアケテキルガ、ソノ言ニヨルト old school ハ Culture ヲ主トシ、New school ハ experiment ヲ主トスル、文化ヲ形成スルコトハコノ experiment ヲ主トスルコトデアリ、学校ガ社会ニアルクメニハ社会ノ基本デアアル個人ガ自由ニ自ラ発達スルコトガ必要デアリ、ソレハ決して利己的ニ違フデ社会生活ニ不適當デアルノデハナク、自己ノ Energy ヲ自由ニスルコトヲ目的トスル、コノ意味ノ自由ガ Dalton Plan ノ first Principle デアリ、自由ニ學習スルコトガ必要デアルカラ、bell ヲ以テ中

断せしむるコトがナイノヲ要スル。第二ノ Principle
ハ *Co-operation* 協同デアリ。コレハ 団体生
活ニ於ケル 相互活動デアソテ、*Class* 参加者
デアル。今日ノ人ハ 学科課程ヲ考ヘ 子供ヲ多ク
考ヘナイノデアルガ、コノ案ハ 子供ノコトヲ多
ク考ヘテヤルノデアリ。教授ト 学習トノ 双児ヲ
調和スルノデアリ。ソレニハ 教室モ 教科目モ 及
ヘナイガ 契約ノ 仕事トシテ行フノデアリ。一
週スハ 一ヶ月ノ 課定ヲ 約束スルノデアル。ソレ
ハ *selfstudy* デアルカラ、9才以上ノ 等級
ハ 行フコトガ 出来ル。New-Yorkニ 於テハ
四級カラ 入級マデ 三十人ツツノ 五組トシテ 五人
ノ 教師ガ 五ツ、主要学科ヲ 行フ 学科担任ノ 教師
即チ 科任制度デアリ。十ニ 時カラ 四十五分ツツ
行フ。Discussion トイフコトモ 大切デア
ル。

Evelin Dewey ハ *The Dalton Labora-*
tory Plan ナル 著書ニ 於テ 学科課程ヲ 生徒
ノ *Co-operation* カラ 出惹サセテ 児童ニ 実
験ノ 仕事ヲ 興ヘテ 子供ノ 意志カト 活動カヲ 考ヘ
ル。

第一ニ 仕事ノ 速度ハ 個性ニ ヨリテ 異ルカラ

コノ *Plan*ニ 於テハ 自分ノ 速度ヲ 行フ。ソレ
ヲ 一様ニ 取扱ヘバ 子供ノ 注意ガ 集中セズ。創造
性ガ ソコナハレル。第三ニハ、学科担任ニ ヨツ
テ 学問的トナル 利益ガアル。第四ニ *Class*
meeting 即チ *Discussion*ニ ヨツテ ソレハ
*scientific method*ニ ヨリ 自ら 研究ト 表
レ。討議シテ 教師ガ ソレヲ 捕フ。第五ニ、各学
科ノ *Laboratory* ハ 実社会ノ 生活ト 離レズ。
各自ガ 経験ヲ 分チ 又ソレヲ 他ニ 傳ヘル。第六ニ
生徒ト 教師ノ 間ニ 契約ガ 成立シテ 生徒ハ 自ら 選
ンデ 困難ナ 仕事ヲ スル。ソレヲ カクノ 如キ 方法
ヲ 用フルコトニ ヨツテ 各生徒ノ カヲ 考慮サセル
ヨウニ 教材ノ 排列ガ 出来上ル。然レソレニ 就テ
非難スルモノハ、各々 個性的ニ 取扱フト 学科ノ 合
チヲ 学バナイデ 卒業シテ シマフノ デハナイカ。
又 各学科ノ 勉強ニ 多大ノ 時間ヲ 費スト ムフ 非難
モアリ。コノ *Plan*ハ カ、ル 傾向ヲ 寧ロ 改善セ
ントスルモノデアル。即チ 一教科ヲ モ捨テナイ
コト。ソレニ 経験ノ 完全ト 個性ノ 作業及ビ 興味
ノ 極大ガ コノ *Plan*ノ 中心点デアリ。又
*Project method*ニ コレヲ 添テ 行ケル。
*Problem method*ハ *Classification*ト

Isolated fact カラ自由ニナルコトヲメザ
シテキル。

(綜合ト文化) Dalton Planハ Prag-
matical ナ時間割マメルマ疲勞又暗記カラ解
放シヨウトスルモノデアル。

前者ハ新シイ教材ヲ現代生活ニ必要ニ合セレ
メルコトニ貢献シテ後者ハ現代心理学ノ発見ニ
ヨリ 作業條件ヲ子供ニ共フル方法ニ貢献シタ
ノデアル。

Hegius Hesse'nハ Dalton Planヲ
Arbeit Schuleト比較シテ兩者ハ学校ヲ
Arbeit Platzト應ヘル点ニ於テ又 Passive
Schuleニ對シテ allgemeinヲ打破セル
点ニ於テ共通点ヲ見出スノデアル。ソレテ個性
的取扱ガ Dalton Planノ生命デアリ。長
所デアリ。同時ニ短所トシテハ Laboratory
ヲ重ンジスギテ共同ヲ少クスルコト。教科書ノ
知識ヲ主トシテ機械論的ニナリ易イコト等ヲア
ゲテ教師カラ Methodヲ教フル共同ノ学校
教授モ必要デアルト批評シテキル。コノ Dalton
Planニ於ケル Co-Operationノ欠陥ヲ

補フテ個性的取扱ヲ重ンズル)ガ Wymetha
systemsデアリ。コノ systemハ Carlton
Waschburneガ始メタモノデアツテ。彼ハ
シカゴ大学ト、スタンフォード大学ニ於テ法律
ヲ學ンテ会社ニツトメタガ。コノ会社ノ解散ト
共ニ教員ニナツテ教員界ノ改新ニ進ミ父ノ友人
ノ John Dewey, Francis Parker
W. Harris, Cecil Reddニ共ガアツタコト
等及ビ母ガ児童研究家デアツタコトガ原因トナ
ツテ教育家ニナリ。始メハロスアンゼルスノ回
合ノ学校ノ校長トナリ。又ソノ後。低能児学校
ニ奉職シタガ。ソレカラサンフランシスコノ師
範学校ニ入ツテ Barkノ下ニ研究シテ七年間
實際ニ從事シタ後ニ 1919年ニ Wymetha
Cityニ視學トシテ来リ。今日ニ至ツテキル。
日本ニ来タノハ 1931年デアリ。欧州ノ New
School in the old World 1926
ノ著書アリ。自分ノ学校ノ事情ニ就テハ Origin
of Wymetha Method 1930デアリ。彼
ニヨレバ。コノ法ノ Originハ William
Harrisニヨツテ發表サレ。Pleaton Aearch
ニヨツテ形式ヲ支ヘラレ。又 F. Barkニヨ

ヨツテ Method トナリシモノデアルト云ヒ。
Harris ハ直接個性的取扱ヲ説カナカフタガ。
自由ナ進級、學級ヲ移動的ニスルコトヲ主張シ
テ普通ノ教授法ヲ非難シテ、Aearchハ 1880
年次ニ個性的ナ組織ヲ作ツテキル。或レソレハ
普通ノ教科書ヲ依ツテ特別ノ Technique ヲシナ
カウタガ。現在ノ Systemノ運動ノ起源ハ 1921
年ニ於テ Barkガ行ツタコトヲ勉メタノデアリ。
即チ Barkハ lark-step-system ト云フ
コトヲ打破スルタメニ self-taught-Book
自習書ニヨル方法ヲカルブオルニマサシム大学ニ
行ツタ。Wynnetka System 係個性的取扱
ヲ持ツテ居テ、悉ク学科ノ成績ノ者ハソノ科
グケヲ留メテ書取、算術ニ於テ、個性的ナ診断
ト治療ヲスル自習書ノ採用ガ特色デアル。コノ
方法ニ於テ、原理トシテアゲテアルモノハ、第
一ニ各兒童ハ將來ノ生活ニ必要ナル知識ト堪能
ニ到達スル権利ヲ有スル。第二ニ、各兒童ハ兒
童トシテ自然的ニ幸福ナ完全ニ生活スル権利ヲ
有スル。第三ニ人類ノ進歩ガ各個人ガソノ才能
ヲ發展サセルト云フコトニ依ツテキルノデアリ。

人間社会ノ幸福ハ各個人ニ於テ社会的ナ意識
ヲ持ツ。コレ等ノ原理ニ從ツテ個性的取扱ヒヲ
シテ卒業及ビ卒業ノ後半ハ Social activity
ヲナサシメル。ソレチ Dalton Planノ缺
陥ヲ補ハントスルモノデアル。個人作業ハ
Goalニヨリ一ツノ Unit ヲツツ學習サセテソ
レヲ終フタモノハ共同作業ニ参加サセル。ソレ
ニハ Discussion 自治 Project meeting
等ヲサセ、學科ニツイテハ唱歌、手工、体操ニ
Social activityト見ラレルモノガアル。

以上述ベタ方法ハ生活乃至活動ヲ力説スルモ
ノデアルガ、ソレヨリミ一層多ク抽象ト概念ニ
於シテ生活若クハ経験ヲ高調スルモノガ体験教
育デアル。体験ト云フ言葉ハ紋ガ固ニ於テモ、
ソノツニ於テモ、普通ニハ経験 Erfahrung
ノ言葉ト同意義ニ用ヒラレテキテ、ソノコトハ
体験ガ経験ニ近イコトヲ示シテキルガ、ソノ相
違ヲ云フ者ニハ経験ハ内面的、主観的デアル。
ソレ故ニ体験トハ内面的経験ト云フコトガ出来
ル。又体験スル erlebenノ言葉ハ zu leben
ヲ意味トスルカラ生活ト云フテ近イモノデアツ

テ、教育ニ於ケル生活ノ力説即チ *Lebens*
Schule ノ思想及ビ方法ト体験教育トハ甚ク
近イ関係ガアル。然レ單ニ生活スル *Leben* ト
異ツテ体験スル *erleben* ハ何等カノモノヲ体
験スルコトデアツテ、体験教育ハコノ内容、対
象、或ビハ目的、若クハ文化價值ヲメザシテ居
ル点ニ於テ單ナル生活ト異ル。ソレ故ニ旅業學
校ノ思想ガ作用ノ原理デアルノニ對シテ体験教
育ハ内容ノ原理デアルト云ヘル。

ナホ、國語ニ於テ、コノ意味ヲ云フナラバ、
内心ニ徹スル *durchdringen* ノ意味ヲ持テ、
從ツテ智的ヨリモ情意的ナ意味ヲ有ソ。体験ニ
於ケル生活及ビ經驗ノ意味デハ *Rousseau*、
Schaft burg、*Goethe* 飛愛次等ニ於テ、
ソレヲ重ンズル教育ガ説カレタガ 19世紀ニ於
テ *Hildebrandt* ニヨツテ *Erleben* ノ言
葉ガ用ヒラレテ、ソノ後、教育者ニ用ヒラレタ
ガ、一般ニ教育界ノ注意ヲ起シタノハ今世紀
1906年ニ公ケニサレタ *Dilthey*、*Das*
Erlebnis und die Dichtung カラデ
アル。*Dilthey*、*Fragmente zur*
Paetik (全集、六卷) ニハ体験ノ概念ニ就

イテカナリ詳シク述マテアル。*Entschiedene*
Schulreformer (徹底的ナ學校改革者派)ニ
於テ、コノ *Lebnis unterricht* ヲ力説シテキ
ルガ、コノ派ニ於テハ体験ニ含マレル感情ノ要
素ニカク置キスギテキテ又作用トシテノ体験ノ
ミヲ見テ目的若クハ対象ノ方面が見ナイ点ニ於
テ誤マレル点ガアリ。コレハ *Kneisel* 等ノ早
クカラ注意シタトコロデ、彼ニ於テハ対象性ヲ
説ク所ガ強ク見ラレタキル。*Otto Eberhard*
ノ如キ、彼ノ生活教育ニ於テソレハ正シイ生
活 *rechtes Leben* デアリ。ソレガ又 *Erleb-*
nis デアルコトヲ云フノデアル。*Neubert* ハ
Das Erlebnis in Pädagogik ヲ書キ、
彼ハ *Dilthey* ニヨリテ体験ヲ追求シテキルガ、
目的内容ヲ多ク見ナイテ主トシテ作用トシテ見
テキル、ハ彼モ亦誤ツテ見テキルト云ハナケレ
バナラナイ。体験教育ガ目指シテキル處ヲアゲ
ルナラ、第一ニ概念ニ對シテ直接的ナモノヲ目
指ス点デアル。コノ直接若クハ具體的ナモノノ
尊重ハ從來ノ智的、論理的、方法ニ對シテ云ハ
レル新ナ特色ヲ持ソ。*Dilthey*、言ヲ以テス
レバ、*Erlebnis* ハ生活過程ノ一部分デアル故

＝ 具体的ナモノデアアル。

第二＝ハ、*Erlebnis* ハ経験ヨリモ内省的デアアル点デアアル。因縁テハ体ニ徹スル意味ハ同時ニ心ニ徹スル意味デモアル。

第三＝、ソレハ同情ノ力説デアアル。然レハカルモノニテカ説レテ、主観的ナモノノミヲ重シグルノハ通デアアル。

第四＝ハ、*Ganzheit Zusammenlichkeit* ハ即チ全体観ノ哲学ヲ基礎トシテキルノデアアル。*Dilthey* ハ、コノ点ニ関シテ現実トシテ自分ニアラハレ、且ツ保タレルモノノ構造関係ガ体験デアアルト云フ。

第五＝ハ、コノ全体ハ統一ヲトルモノデアアルガ、ソコニ凝然タル統一デハナクテ、分岐的統一 *gliederte Einheit* ヲ必要デアアルト云フ。

第六＝ハ、特色性ヲ主張スル点デアアル。ソコニ個性ノ力説ガアルガ、個性ノ特色ハ普遍ヲ代表スル特殊トシテ見ルノデアツテ、*Neubert* ガ普遍ト個性トノ緊張関係トシテ見ルノハコレデアアル。

第七＝ハ、歴史的見地ニ立ツテキル点デアアル。然レソレハ歴史主義デハナクテ、過去、現在、未来ヲ通ジテ、ソレハ緊張関係ニ於テ脈々タルモノデアリ、将来ノ理想ヲ目指スモノデアアル。

第八＝ハ、表現 (*Ausdruck*) ヲ力説スル点デアアル。ソレハ体験シタモノハ必ず、表現サレルト云フノデアアル。*Neubert* ハ生活ヲ *Leben* 表現、理解ノミツノ関係ノ下ニ説イテキルガ、ソレハツマリ、コノ表現、活動ヲ説クモノデアアル。

第九＝ハ、目的性 *Zweckmässigkeit* ヲ含ンデキテ目的ニヨリテ統一セルモノデアリ。*Dilthey* ハコレヲ価値関係ト云フテキル。

第十＝ハ、対象ノ内容ヲ重視スルコトデアツテ、作業学校論者 *gaudig* ノ如キモ、内容原理タルコトヲ認メテキル。*Dilthey* ハ体験ヲ以テ対象ニ対シテ働キ、感情ニ於テ働キ、価値ノ意義ニ於テ働クト云ツテキル。此等ノ意味ヲ含メテ体験教育ガ主張サレテ、ソレハ感情、活動、生活体験、文化等ヲ中心トシテ具体又ハ個性ヲ力説スル方法デアアル。ソレ故ニソコニ合科教育或ハ新上教育、概念教授 *gelegentliche Unterricht*、生活科 *Lebenskunde*、文化科 *Kulturkunde* 等ノ方法ガソレヲ体験教育ノ中ニ取リ入ラレテキル。

体験的方法ハ合科教育、共同教育ガカゝル方

向ヲ含シテキルガ、コノ思想ニ合マレル全体観
ガ *Gangsheits Methode* (*Ganzheit-
liche Methode*) 全体法ヲ主張スル概ニ
ナツタ。Ernst Lindé ハ嘗テ人格ノ中心ハ
心情 (*gemüt*) ニ存シテ居テ情モ意思モ
Gefühl ニヨリテ動クテ所謂 *Gefühl-
betonte Unterrichte* ヲ主張シタガ。全体法
ハ必ズシモ感情ノミヲ力説シナイガ、確カナ教
授ニ於ケル情意ノ関聯ヲ力説スルコトハ明カデ
アル。

即チ合理主義ノ哲學ノ時代ニ *denken* スル
主体トシテ見ラレタ人間ガ價值哲學、文化哲學
ノ時代ニ至ツテ *werden* スル。即チ *leben-
erleben*、*verstehen*、スル主体トシテ見ラ
レルマウニナツテ全体法ヲ主張サメルウニナ
ツタ。コノ法ハ *Ganzheit*、*Einheit* ノ見
地ニ立ツテ教授ヲ行ヒ、常ニ全体ヲ眼中ニ置ク
モノデアアルガ、然レ決シテ分析、特ニ分岐
Gliederung ヲ怠ツテハキナイ。ソレ故ニコ
ノ法ヲ *Analgtirch Syntesirche Methode*
ト云ハレル。一般ニ全体カラ特種ハト云フコト
ハ昔カラ唱ヘラレタ方法デアツタガ、マ、モス

ルト、教育ハ分析ニ過ズテ兒童生徒ノ理解ニ副
ハナイカラ、必要ナコトハ分析シテ出来ルダケ
綜合セヨト教ヘラレテ来タ。實際ノ教育ハ分析
ト智的トニ隔リ易イノデアツテ、*Pestalozzi*
ノ教育法モコノ名義ハ綜合法デアアルガ、分析ニ
過ズテ符ニ字母ノ教授法ハ當時ニ於テモ既ニ非
難サレク全体法ニ於テハ分析シタモノノ綜合デ
ハ蓋クテ始メカラ全体的ニ取扱ハレルノデアアル。
Spranger ハ智識ハ有機体デアアルト云ツテキル
ガ、斯ノ如キ構造関聯的ニ取扱フマウニシタノ
ガコノ方法ノ主眼点デアアル。即チ、教材ヲ生キ
タモノトシテ取扱ツテソレハ兒童ノ *unentfaltene
Einheit* (出発点ノ統一) ノ時代ニ適合サセマ
ウトスルノデアアルガ、*Verschiedenheit* (多様)
ノ時代ト雖モ全体法ノ取扱ヒガ必要デアアル。
entfaltene Einheit ノ時代ニハ一層サウデア
ルベキデアアル。コノ子供ノ心理ニ適合サセルト
云フ方面ト同時ニ知識ガ有機的全体的デアアルト
云フ立場ヲ考ヘネバナラナイ。Project Method
ハ具体的ナ生活單位ヲトル点ニ於テ全体法トモ
云ハレルベキデアアルガ、ソレノ基礎附ケハ経験
全体法ハ全体的ノ哲學ニ立ツテキル所ニ特色アリ現今教育ニオケル
論デアアルガ、ドイツニ於ケル *Sentence Method*

、全体法アルガ殊 = *Pestalozzi* 風ノ書籍
教授ト、対立ノ意味ガ相ハレル。算術教授法 =
於テモ *Steiner* ノ方法ニ見ル如ク出達スル点
ニ於テ全体法ト云ヘル。Steiner ハ博物教育
ニ於テモソノ各部分カラ出ダシ。植物全体又ソ
レト土地トノ関係カラ説クベキモノトシテホル。
又 *Steiner Schule* = 於テ取用ハレル方法
ハ全体法ト云ヘルノデアリ。Johan Willmann,
*Theorie und Praxis eines Ganzheitlichen
Methoden unter 1933.* Artur Kern:

以上述べた active + Method ハ彼等ノ
Passive + Method = 対スル改革ヲ目指
スモノデアツテ。ソノ方法ニヨツテ活キテ知識、
技能ヲ得サセヨウトスルノデアル。或ル人ハコ
ノ法ヲ浪費デアルマウニ非難スルモノモアルガ、
要ニ方法マ概念ヲ暗記スルヨリモ生キテ知識技
能ヲ覚エタ方がヨイノデアル。カ、ル見地ニ立
ツタ *Economic Method* ハ直接能率ヲ目指シ
テ特ニ心理的ニ学習ノ経済ヲ計ラウトスルノデ
アルガ、コノ方法ノ着眼ハ十七世紀ニ見ラレル
ガ、近代ノ能率的研究ハ米國ノ *Rice* ノ研究ニ始
マリ被、*incidental instruction* 随伴教

育ハ算科 (地理、歴史、理科学) ノ中ニ算術、
幾何等ノ教科ヲ含マシメントスルモノデアルガ、
コノ経済的方法ノ根拠トシテハ学科ヲ興味アラ
シムルマウニスルコト、欲求 (動機) ヲ喚起ス
ルコト、個性ヲ顧慮スルコト等デアル。所謂、
発生的方法 *Genetic Method* モコノ立場ニ
合メンガタメノデアアルガ、精神成熟ノ時期
ニ應ジテ効果ヲ擧ゲントスルモノデアル。

Economic Method = ハ実験的、統計的方
法ガ貢献シタモノデアアルガ、コノ *genetic
Method* = ハ動物学、児童心理学等ガ貢献シタ
モノデアル。Willmann ハ博物教育ニ於テ進
化論的取扱、発見ノ便ニヨル取扱ニヨリ発生的
方法ヲ取ルコトヲ主張シテキル。既ニ *Ziller* ノ
文化史的段階ハソレヲ祖ツタモノデアル。

Sodler ハ修身教授ダケヲ *genetic Method*
(童話、傳説、Bible 物語、*Iliad* und
Odyssey、古典、*Juda* 民族ノ道德、特ニ回
家的道德、*Greek* ノ道德、現代ノ道德) ド
イツノ *Barth* ガ修身教授ニ於テ道德ノ発達ノ
順序ニヨツテ幸福説カラ唯心説ニ進ミ宗教教授
ハ *natur Religion*、立法 *Religion*、感情

Religion / 順序 = ヨルベクトレチキルノハ
私生的方法デアル。Klem, Kulturkunde
文化科 (公民科、歴史科、修身科等ヲ一箇ニ
シテモノ) Seyfert Arbeits hande 等
モーツ / genetic method ト云ヘルモノデ
アル。教育ニ於テハ方法ノ吟味ガ重要性ヲ持ツ
モノデアル。

— 第二学期 終り —

第十一章 訓練

Zucht, Discipline

教授ヲ教育ニ於ケル智的ノ仕事トスル時ニハ
訓練ハ道德的意志、感情ノ仕事トシテ區別スル。
之ハ、勿論、概念的ノ区分デアツテ、コノニツ
ハ相伴ツテ行ハレルモノナルカラ、訓練ヲ上
述ノ仕事トシテ見ル場合モ、修身、歴史ト密接
ニ関係シテ養護若クハ体育ニ於テ、忍耐或ハ秩序、
習慣ガ養ハレルコトハ訓練ノ仕事ヲナスモ
ノデアル。ツシテ情意ハ主觀的ナル莫ニ於テ
コノ身体的基礎ト密接ノ關係ガアル。訓練ハソ
ノ目的トシテ品性ヲ陶冶スル事デアツテ、

Herbart ハコレヲ以テ教育ノ全目的 Gesamt
Zweck トシタ程デアツテ、コレハ教育ノ
Erziehungガ、訓練ヲ意味スル事カラモソ
ノ重要性ガ考ヘラレル。儒教、佛教ガ總ニ入ル
コト或ハ總ヲ実行スル上、教テアルコトカラ考

ヘテモ、教育、訓練、重要ナガ観ハレル。呂性
ハ勿論、情意バカリデナク智ヲモ含ムモノデア
ツテ、道徳的價値ヲ區別スル判断、ソノ價値ニ
関スル感受性逆行ノカヲ含ンテキル、デア
ル。コノ三ツ、中テ古クカラソノ何レカガ *betonnen*
カレタノヲ見ルガ、訓練ニ於テハ智的要素ヲ考
慮スルト共ニ、ソノ *Seite* 両側面トシテハ情意
ニ就テ見ル、デア
ル。コノニ於テ、本能、衝動
欲望、情緒、情操、*Psychology* ヲ考ヘテ、ソ
レヲ基礎トシテ教育手段ヲ講ズベキデア
ル。特
ニ、ソノ発達ヲ熟知シ、ソノ環境ヲ考慮スベキ
デア
ツテ *Pestalozzi* ガ *Das Leben*
bildet ト云ツタノモ、コノ意味デア
ル。

コノ呂性が形成サレテ行ク基礎ハ、家庭
Haus デアル。

子供ガ主トシテ家庭ニアル間ハ最も変化シ易
ク時代デア
ツテ *suggestion, imitation*
ヲ受ケ易キ時代デア
ルカラ、古クカラ、教育者ハ
父母、下男、下女、影響ノ大事ナコトヲ注意シ
テキル。特ニ、克己、敬虔、勤勉、精神、如キ
ハ初期、習慣ニ基ツカラ最も注意ヲ要スル。学
校ハソノ歴史カラ考ヘテ、確カニ教授ノ場所デ

アリ、而シテ家庭ハ訓練ノ場所デア
ルコトハ事
実デア
ルガ、唯近頃、社会生活、家庭生活ハ、
学校ガ家庭ニ代ツテ訓練ヲモスル、テ仕事ガ倍
加シタ。 *Böhmen*、古イ語ニ、訓練、ナ
キ学校ハ水、無イ水車、如キデア
ルト、云ツテ居
ル、ハ、此ノ事ヲ早クカラ指摘シタ、デア
ル。
少クモ、学校ハ家庭、訓練、補充ヲナスベキデ
アツテ、既ニ情意、傾向ハ学齡以前ニ定メラレ
テキルカラ、学校ハソレヲ基礎トシテ仕事ヲ進
ムベキデア
ル。然シ、古クカラ公共的精神、要請
ニ関シテハ学校生活ガソノ場所タルベキデア
ツ
テ、校風、級風ガ子供ヲ和ラズ和ラズ、同ニ、
感化スル、デア
リ、積極的ニハ共同作業、共同
遊戯ニヨツテ、責任感、若クハ同情心ヲ養フ事
ニ努ムベキデア
ル。

ドイツニ於テ *arbeitsgemeinschaft*、ス
ハ *Arbeitsdienst* トハフ着眼ハ、学校及ビ
共同生活ノ意味ヲ見タモ、デア
ル。コノ遊戯、
作業、外ニ儀式、祝祭、会合、旅行、自治的施
設ハ秩序、勤勉、責任感ヲ養成スルニヨキ機
会
ヲ与ヘルモノデア
ル。祝祭、年中行事ハ風習、
道徳、発達、意味ニ於テ、古來重ンビラシテ、

団体的精神、敬虔、怠惰ヲ養フモノデアツテ、
原始時代カラ之ヲ重ンジタモノデアツタガ、十
八世紀 = Basedow ハ、コノ觀察ヲソレニ含
マレル音楽的、詩教的要素ヲ重ンジテ、世界大
戦中ニハ英國ハ特ニ Shakespeare day、
如キ觀察日ヲマシタノデアツタ。 Nazis ド
イツニハ、母、日ソ、他多クノ日ヲ設ケタ。我
が國ノ公立学校ニハ法律上宗教儀式ト認めラレ
ルモノハ行ハサルコトニナソテキルガ、一般ノ
國民的儀式ハ差支ヘ無キモノト認めラレテキル。
会合モ亦共同、精神ヲ養フ機会ヲ互ヘテ古來、
修養、結社モ之デアリ、遠足、旅行モ同様、價
値ヲ持ツモノデアル。各種、各少年團 Boy Scout
Hitler Jugend, Camp Fire Girls,
Arbeitdienst 等ガコレニ考慮サルベキデ
アル。

自治的施設ハ十六世紀ニ新教、教育者、
Trotzendorf ガ Goldberg、学校ニ行ツ
タノガ始マリテ、十八世紀ニハ Basedow ガ
コレヲ行ノタモノデアル。米國ニ於ケル School
City System ハ十九世紀末カラ行ハレタモ
ノデ、ドイツニ於テモ Wynecken ガ、世界

大戰後ニソノ精神ヲ、ドイツ全國ニ行ハシトセ
シモ、一年ニシテソノ制度ハ廢止サレテタガ、屬
々ニ Gemeinschaftsschule 共同体学校
(父兄、教師、生徒) ガ行ハレタガ、漸次之ガ
ナソテ Arbeitdienst、形ヲ取ツテ來
タ。小學校ニ於テハコノ飛達段階カラシテ自治
的施設ハ年少者ニ早熟過勞ヲ強ヒル懼レガアル
ガ、周到ナル注意、下ニハコノ弊害ガナソテ、
ソノ効果ヲアゲルコトガ出來ル。訓練、方針ト
シテハ干渉ト放棄ノ兩極ニ偏シナイテ中間ヲ行
クベキ事ガ、東西古今多クノ、人々ニヨソテ言
ハレル。訓練、手段トシテノ命令、禁止、ソレ
カラ賞罰ヲ行フベキトニ於テモ中間ヲ行ク心掛
ガ必要デアツテ、命令禁止ニツイテハ、ソレガ
実行シ得ベキモノデアルコト、ミダリニ廢ス可
ラサルコト、或ハ斷子トシテ而モ注意ヲ以テ、
行フコトガ必要ナル條件デアル。罰ニ關シテハ
体罰、禁ガ特ニ注意サレテ、ソノ爲スベキ、罰
ヲ行ハナイ Spencer, Rousseau、自然
罰、説ガ主張サレタガ、自然罰ヲウケル前ニ人
工罰ヲ以テ訓誡スル必要ガアル。非難、此責ハ
罰、一種デアルガ、罰ト共ニ個性的ニ行フ事ガ

肝要ナル。罰ニ對スル賞 *Lohn* ハ功利的ニ
算ク非難ガアルトノ説ガアルガ、正義強調、真
カラ見レバ、強調サレル。罰ヲサケル爲ニ賞ヲ
説ク事ガ行ハレ *Jesuit* 教団、博愛社ノ教育
者ハ多クコレヲ用キ、今日デハフランスデヨク
用ニラレテキテ、コトニモ又事柄ト個性トニ從
フ事ガ必要ナル。

訓練ニ對シテ *Comenius* ハ次ノ如ク言
フ。訓練ハ太陽ノ如クアルベシ、ト。コレハ成
長スル若ニ對シテ望ト光ト熱トヲ与ヘ、又辱
雨ト風トヲ与ヘル。而シテ、稀ニ雷ト電トヲ与
ヘルベキナルガ、鞭ハ避ケルベキナル。

第十二章 宗教教育

訓練ト宗教教育トハ密接ト關係ガアツテ、歐
洲諸國デハ宗教教授ノ中、修身ト訓練ガ行ハレ
テキル。我が國ニ於テハ主トシテ道德ナルト
コロ、儒教ト、主トシテ宗教タル佛教ガ昔カラ
國民ヲ教養シテ來タガ、儒教モ敬天思想ト祖先
崇拜ニ於テ宗教的ト根據ヲナスモノテアリ、佛
教モ亦徳化スルコトヲ以テ中心トシテキルシ、

又民族的宗教トシテ、神道ハ宗教的、道德的ニ
國民ヲ涵養シテ來タ事ハ勿論ナル。

訓練ガ道德的感情及ビ意志ノ教育ナルレバ、
宗教教育ハ宗教心ノ涵養、養成ヲ目指スモノテ
アリ、宗教心ノ中核ハ恐怖ト希望ノ情緒デアツ
テ、神即チ人間以上ノモノニ恐怖スルト同時ニ
ソレニ依拠スル所ニ宗教ガアツテ、ソレハ神ヲ
認メル事カラ神ニ祈ル行動トナリ、又敬虔ノ情
ノ陶冶ヲソノ實行ト結合シテ行ハルモノデア
ル。コノ宗教教授並ビニ實行ガ我が國及ビフラ
ンス、スイス等ニ於テ学校外ノ事トサレテキルノ
ハ成立宗教ノ對立ト、宗教ガ教育ニ於ケル占據
Primat ヲ避ケヨウトスル爲ナル。然シ
テコレガ爲ニ成立宗教ニ依ラナイ宗教的態度
ト成立宗教ニ關スル公平ナル智識ヲ得タ事ハコ
レヲ排斥スルモノテハナイ。我が國ニ於テハ、
儒教ガ、拜天仕天地ノ思想ヲ以テ道德ノ集ニ宗教
ヲ教ヘテ居リ、佛教ガ初等教課ニ於テ見ラル
、カ如ク、道德ト結び付イテ日常生活ノ方針ト
ナツテ居タガ、明治維新ニ於テ排佛棄釋ノ工作
ト物質文明ヘ、其中トイフモノガ宗教教育ヲ、
学校及ビ民間カラ除外シテ、特ニ明治二十年代

＝於テ、所謂宗教ト教育トノ衝突カ起リ、明治
三十二年＝文部省訓令第十二號＝ヨリ学校内＝
於テ宗教上ノ教育ヲ行フコトヲ許サズト、令ガ
発布サレル＝至リ、ソノ結果宗教＝就テ語ルヲ
好マズ宗教カラ教育ハ絶縁サレテ、我が教育ノ
伝統ヲ破壊スル＝至リ自然科学ノ理＝合ハナイ
モノハ迷信トサレル＝至ツタ。コレガ訓練ヲモ
意ハサセル＝至ツタノデ、大正十四年＝ハ全国
高等^女学校長會議＝於テ、宗教的信念ヲ啓発スル
事＝努メ、生徒ノ信教＝便宜ヲ与ヘルコトヲ決
議シテ居リ、翌十五年十一月＝ハ全国小学校教
育大會＝於テ教師ノ宗教ニ於ケル理解ヲ増進シ
児童ノ宗教心ノ啓発＝努メル事、具體^的案ヲ決議
スル＝至リ、昭和年代＝至リ宗教教育ガ学校＝
於テカ説サレル＝至ツタ。昭和三年七月ノ学務
部長會議＝於テ、訓令十二号ノ解釈ガ緩和サレ
テ、昭和八年三重縣ノ回答ハ一面寛大ナル儀式
ヲ進達シタ。昭和七年五月ノ全国中学校長會議
＝於テ、教育ノ徹底ヲ期セントシテ＝宗教的涵養
ノ必要ヲ認ムル＝至ツタ。カ、ル態度ガ昭和
十年三月カラ文部省＝宗教教育協議會ヲ開カシ
ムル＝至リ、十一月二十八日＝ソノ答申＝関シ

テ絶^え々^々宗教、宗教ニ對シテ中立不偏ノ態度
ヲ持スル條件ヲ、其中行革ノ中＝宗教的情操＝
意ヲ用フベキコトヲ具體的ニ示シテキル。コノ
通牒ハ消極的態度ナルモ、然レ、当局ノ態度＝
比ハルト非常ニ変化ヲアツテ、積極的ニ宗教的
意識ヲ奨励シテキル。

宗教心ノ陶冶ハ、他ノ陶冶ト同シ様ニ子供ノ
発達段階ニ相應スルモノナリ、又歴史的発達
ニ並行スル事ハ明ラカナル。自然宗教、立
法宗教、感情、宗教、順序ニ依ルベキテアツテ
自然ノ中ニ神ヲ認メシメントスル事ガ宗教教育
ノ出発点ナリテ絶対的信仰ガ最後ノ目標ナ
ル。古來ノ方法ヲ見ルニ、原始時代ニ於テハ模
倣ト実行トヲ以テシテ風習トシテ、行革ヲ行ハ
ンメモノナリ、ソレハ單一的、強制的ナ
アツテ個性的ナハナイ。文化ノ進ムニツレテ、
釋迦、キリスト＝見ルガ如キ個性的方法ヲ取ル
事＝ナリ、又障害ヲ除クトイフ態度ヲ取ル＝至
ツタ。而モ猶ホ、宗教教授ヲ行フ為ニ宗教上ノ
經典ト宗教回答ニ押込ヲ用フル直観的方法ヤ、
祈禱ヲ中心トスル感情的方法、或ハ *Pestalozzi*
ノ如ク、環境ヨリスル方法ヲ取ルニ至ツタノデ

アル。

米國ノ *Coe*、如キモ共同カラスル方法ヲトリ、例ヘバ団体、結社等、組織ヲ用ヒ、ドイツニ於テハ *Herbart* ハ、從來、宗教教育ガ記憶ニノミ訴ヘタコトヲ非難シテ研稱生活、宗教生活カラ這入ラネバナラナイト説イテアル。

文部省、通牒ニ於テ追悼会、医学界、遠足旅行ノ利用ハ、コノ生活或ハ機会教授ノ原理ニモヨルモノデアリ。学校ニ於ケル宗教教育ニ関シテ成立宗教ニヨラナケレバ宗教教育ヲ行ヒ得ズト云ヒ、又ソレガ学校ニ於テ行ハレハル以上、宗教的教育ハ稀薄デアルト主張スルガ、成立宗教以外ニ宗教的ナルモノノ存在スル事ヲ認めナクテハナラナイ。又、次ニ道德ニ足レリトスル論者アリ、ソレハ道德ノ道ト宗教ノ道ヲ混同スルモノデアリ、又宗教ノ道ガ容易ニシテ一般的ナル事ヲ無視スルモノデアリ、且又教育ヲ多クノ道ヲ通ズヘシトノ原理ヲ忘レテナルモノデアリ。

第十三章 美育及ヒ體育

教育ノ原始的形式ハ实用ヲ中心トスルモノデアリ

アツタガ、ソノ中ニ 舞蹈音楽、詩歌、裝飾科ノ教育ガ存在シテ斗テ、ソレガ文化ノ進ムニツレテソノ要裏ガ進歩シテ *Greece*ノ文化時代ノ様ニ美育ガ教育ノ中心ヲナス様ニナリ、体育モ又身体ノ均等ノ発達ヲ中心トスル様ニナル。中世ニ於テハ、宗教中心ノタメノ实用ニ集中シメ、テ美的教育ヲ *neglect* スルコトニナリ、ソノ反動トシテ *Renaissance* 時代ノ美ト感情ノ力説ヲ生シタ、デアリ。然シ又、十六世紀以來ハ教育ニ於ケル *Realism* 実学主義ガ起リ、ソレガ十七、八世紀ニ引続イテ進展シタ、コレニ對シテ又十八世紀ノ後半 *New-humanism*ノ勃興ガアリ *Goethe*、*Schiller* 等ニ見ル美的思想、教育 *Hädel*、*Humanity*ノ教育モソノ中心ニ人間ニアル凡ユル美ナルモノヲ發展サセヨウトスルモノデアリ。

然ルニ、十九世紀ガ自然科学ノ世紀デアツタ事、政治的革命ノ時代デアツタ事カラ民衆ガ美育ト離レル傾向ヲ生シタ、テ、ソレニ對シテ十九世紀ノ中頃カラ藝術教育運動ヲ起ス事トナツタ。Franceノ *Fouillee*ハ真ノ科学ハ美カラ起ルト云ヒ *Humanistic* ナモノヲ尊重

シテ居リ *Guyau* ハ、藝術ヲ社会生活 *Life*
ニ於テ眺メ、教育ニ於ケル美的要素ヲカ説シ、
人間ニ於ケル藝術、養生ヲ培養スベシトシタノ
モコノ運動、傾向デアル。コノ運動ガ学校ニ於
ケル各教科ヲ改善スル事ニ導キ、*Goethe* 及 *Wilhelm*
改革運動、又音楽教育ノ改善、語学ニ於ケル文学
的要素、尊重トナツタ、デアル。体操ニ於テモ
コノ傾向ガ美的ト要素ヲ重要視サセルヨウニナ
ツテ來タ。

美育ノ目的トシテハ鑑賞、制作、兩方面ガア
ルガ、ヤ、モスレバ制作、方面ニトラハレテ鑑
賞、教育ガ *neglect* サレ勝テノモ、デアル
、ナリ。近頃特ニ鑑賞、教育ニ時間ヲ割リ、事ニナ
ツタ、デアル。畢竟、從來ニ於ケル主知主義
的ト傾向ガ藝術ヲ強調スル事ニナツタ、デア
ルガ、ソコニメ警戒スベキ事ハ藝術、又ハ文藝ガ教
育ニ對シテ独占的態度ヲ取ル唯美主義、藝術主
義ニナラナイ事ガ必要デアル。

(註) 我が國ヲハ明治、終カラ大正、如ニカ
ケテ文藝教育ガ行ハレテ、文藝ガ教育ヲ庄
倒シタ時代ガアツタ。(註終)

美育ノ方法トシテハ少年ノ発達段階ニ沿ウヘ
キデアリ *Meumann* ハ、部分評價ノ段階カ
ラ、特徴認知ノ段階ニ進ミ、ソレヨリ全体評價
ノ段階ニ導クコトニシテナル。文藝的環境ニ置
ク事ガ必要デアリ *Goethe* 及 *Wilhelm*
meister ニ於テ説イテナル、モソレデアル。

制作練習ニヨルト同時ニ藝術ニ関スル説明モ
マシ必要デアル。各教科ニ就テ美育ヲ考フル
ト、*Goethe* ハ、手ト目ト、機械的練習ノミデアリ、色
ト調和ト、鑑賞ニ導クベキデアリ。地上、自然、
美、或ハ地上藝術、鑑賞等モ美的且ツ道德的ト
教育トシテ、近頃特ニカ荒サレテナル所デアル。

(註) 最近ニオケル、ドイツ小學校令ノ改正
ハ、地上的、民族的文藝カラ行ハレタモノデア
ルガ、ソレニ於テハ地上的自然ヲ愛スル
事ヲ重視サレテナル。(註終)

國語ニ於ケル文学ノ趣味ハ、國語読本ノ材料
ガ宗教的、道德的、言語的、實利的傾向カラ、
文藝的傾向ヘ移ツタ事ニ於テ見ラレル。
唱歌ヲ機械的ニ取扱フ事カラ開放シテ、感情、
言葉トシテ見ルコトニナリ、体操モ亦、コノ美
的、音楽的ト要素ヲ加ヘテ來、一方手工業ガ、

實用ト同時ニ、美、方面ヲ主ニスル事トナリ、
教科以外ニ於テ学校劇、実演等モ行ハレル事ニ
ナツタリテアル。

体育若クハ養護ハ教育、最も原始的ナ形式ナ
アルト共ニ、最も最近ニ於テカ説サレテキルモ
ノテアル、中世ニ於テハ宗教的教育、為ニ

体育ガホサリニサレタモ、デアツタリテ、
近世ニ至リソ、反動トシテ体育、尊重ガ起リ、
英國、*Asham, Mulcaster* 等ハ早ク之
ヲカ説シ、十七世紀ニナルト英國、*John Locke*
ガ最も詳シク之ヲ説イテ居リ、十八世紀ニ於テ
ハ遠足、旅行、体操ガ学校ニ於テ行ハレル事ニ
ナリ、十九世紀ニナルト衛生学方面カラ
Spencer 等、学校体操、尊重トナツタリテアル。

(註) *Guyau* モ *Spencer* ト同ジク、
女学校ニオケル体育、*neglect* サレテ
キルコトヲ説イテキル。(註終)

体育ノ目的ハ元來、身体ノ発達ヲ助ケルト共
ニ心ノ活動カラ盛ニシ、精神ノ快活ト剛毅ト政
同規律ヲ守ルコトヲ練習スルニアル、デアアル。
嘗テ *Montaigne* ハ我々ノ教育スルモノハ

子供ノ身体ヲモ精神ヲモナク、子供ソレ自身ダ
トニツテキルガ、ソノ意味ニ於テ体育ハ身心一
元ノ立場カラナサルベキデアアル。体育ノ方法ハ
身体発達ノ状況ト個性トニ適合スベキモ、デア
リ、ソレニ消極的保護的方法ト、積極的鍛錬的
方法トガアル。*Locke* ヲ見原益軒ハ後者ヲ
取ツテキルガ、前者ヲ顧慮シナイ、デアモナク、
彼等ノ説ク養生ハソレデアアル、学校ニ於テハ、
ソノ設備、清潔、放牧時間中ノ注意、特ニ個性
的注意等ガ必要デアアル。積極的方法トシテハ、
体操、遊戯等ニヨルモノデアリ、既ニギリシヤ
ニ於テ体操ガ行ハレテキルガ、近時、体操、起
原トシテハ、ドイツ、*Guthmuth* (1759~
1838)、*Jahn* (1778~1852)、
Spies (1810~1858) 等、体育家ニ
ヨリ形成セラレ、ソレガ *Sweden, Denmark*
等ニ於テ美的ナ方向ニ発展シテ今日ニ至ツタリ
デアアル。消極的保護的意味ニ於テ 1904年
Berlin, Waldschule 林間学校、1
908年 *America* ニ於ケル *Open air*
school ガ治療的意義ニ於テ行ハレタガ、尚
ソレガ積極的ナ意義ニ於テモ利用サレテキル。

Ferienkolonie 休暇植民ハ 1807年、
Swiss = 於テ始メラレ、各國 = 於テ夏季、聚
落ガ各地 = 於テ行ハレテキル。

第十四章 學校論

學校ハ *formal education* ヲナス所ト云
ハレテキル通り、最モ教育スル = 整頓サレタ場
所デアルカタメ = 從來、教育、重要、部門ヲ占
メテキル。コノ學校 = 關シテイカナル種類ノ學校
ガ必要デアルカニ關シテハ *Comenius*
以來、多ク論セラレテキル。コノ學校教育ヲ教育
作用 = 依ツテ分ケルト、普通教育、專門教育
特殊教育（不興者ニ對スル教育） = ナツテキル。
普通教育ノ學校トシテハ幼稚園、小學校、中學校、
中學校、高等女學校、高等學校等デアツ
テ、國民トシテ必要ナ一般陶冶ヲ施スモ、デア
ツテ、專門教育ハ實業學校、師範學校、各種專
門學校、大學等デアツテ、特殊ノ學術、技藝ヲ
授ケ、特殊教育ハ特殊ノ事情ニテル者ニ与ヘル
變体的ナモノヲ、盲學校、聾啞學校、低能學校
感化院等ヲ含ムモノデアル。

先ツ幼稚園ハ家庭教育ヲ補フ機關トシテ、18
07年 = *Froebel* ガ *Bad Branckenburg*
ニ設ケタノヲ始メトスル。我が國 = 於テハ明治
九年 = 東京女子師範學校 = 設ケソモ、デアツテ
ソノ規則ハ久シク小學校分ノ一部分トシテ含
レテキルガ、大正十五年 = 至ツテ獨立シタ幼稚園
トナツタ。ソノ第一條 = 幼稚園ハ幼兒ヲ保
育シテソノ身心ヲ健全ニ発達セシメテ善良ナル
性情ヲ涵養シテ家庭教育ヲ補フヲ以テ目的トナ
ス、トシテアル。今日社會、變遷ガ幼稚園ヲ益
々必要トシテ、家庭カラ學校ヘ、推移ヲ滑カニ
スルノ意義ヲ認めラレタ。

英國 = 於テハ社會革命家、*Robert Owen*
(1771 ~ 1858) ガ十九世紀ノ始メニ、
Infant school ヲ設ケ、滿三才以上ノ子
供ヲ收容シタノデアツタガ、アメリカニハ18
以前、幼兒ヲ入レル *Nursery school* ガ
アリ、英、佛、モ、ハ *Montessori class* ト
云ヒ *Montessori* ノ製作シタ教具ヲ使用
シテキル。

我が國 = 於テハ、小學校ハ國民トシテ必須ノ
普通ノ智識技能ヲ授ケル所デアリ、尋常ト高等

コ 市備級ト小学校ヲ叙、ナヲ共置ニスレトニ
シテ小学校カラモ入り得レト、シテ、

専門教育、学校トシテハ農、工、商、等、実
業学校、師範学校、各種専門学校(ニ十年以上
ノモ、)及ビ大学ガアル

英国、大学ハ Oxford, Cambridge 大学
、如キ古式大学ト London 大学, Manchester
大学等、新式、大学ガドツテ、後者ハ十九世紀
ニ至ツテ始メテ出来タ。

米国、大学ハ、程度カマケマケテアツテ、
通常 High school, 上ニ College ガ四年
リ、上ニ大学院 Graduate ガ二年、又新シイ
制度トシテ Junior College ガアル、

ドイツハ Höhrschule = 於テ大学入学
資格試験ヲ合格シタモ、ヲ入レル。 フランス
ハ Lycée ヲ Collège, 卒業生ヲ入レル。

英国、初等教員養成ハ Secondary School
、卒業生ヲ十八歳以上、モ、ヲ收容シテ Train-
ing College, 一ト年卒業生ト、大学、Train-
ing Department ヲラ集メテ、之ハ学士ヲ
ト共ニ教育、修養ヲスレモ、テアル。 ナホコ
、外ニ十六才以上、者ヲ收容シテ実習、上ニ、

Training College 卒業セシムル

Student Teacher System ガアル。 米国、初
等教育ハ High school, 上ニ四年、 Teachers'
College 及ビ Normal School ヲ養成スル。
ドイツ、初等教育ハ Höhrschule, 卒業
者ヲ二年、 Hochschule für Lehrer =
入レテ卒業セシムルモ、テアツテ中等教員ハ、
大学卒業者ヲ試補トシテ二年間実習ヲヤラセテ
後、試験、上教諭トスル。 世界大戦後、

Pädagogische Institut, 又ハ Pädagogische
Academie ヲ教育シテキタ、ヲ Vazis = +
ツテカラ Hochschule für Lehrer ヲ教
育スルヤウニナツタ。

フランス、初等教員ハ師範学校、卒業者ニ二
年間、試補ヲ経テ教員ヲスル様ニナツテキル。
中等教員ハ高等師範学校、卒業者ヲ以テスル。
ソ、中テ師範学校及ビ高等小学校、教師ハ初等
教員師範学校ヲ卒業シタモ、ガナル。

特殊教育、中テ、盲学校ハ盲人ニ普通教育及
ビ職業教育ヲ施ス所ナ、莫学、發明セラレテヨ
リ急速ニ発達ヲナシタ。 ソ、延原ハ、1744
年フランス、Haüy (1745~1822) =ヨ

トニ分ケテアル。尋常小学六年ヲ義務教育トスル。欧米ニ於テハ八ヶ年以上ヲ義務トシテキル（フランスハ七年）。我が國ニ於テモ青年学校ヲ義務トシタガ、之ハ社会教育局ノ管下ニ属シテキル所カラ社会教育ト見做サレテキルガ、本質的ニハ学校教育ニ属シテキル。

（註）青年学校ハ補習学校ト青年学校トガ併合サレタモ、テアル。（註終）

ドイツノ Volksschule 国民学校。英米ノ Elementary school ハ八ヶ年ヲ普通トシ、ドイツニ於テハ四年終了後、Höherenschule ニ入り、米ニ於テハ六年終了後、High school ニ進ム、テアル。フランスノ école primaire elementaire ハ七ヶ年テアリ、école primaire supérieure ハ三年テアリ、之ハ中等教育ニ属スルモ、テアル。

高等普通教育ノ学校ハ我が國ニハ中等学校、高等女学校、高等学校ガアル。英国ノ中等学校ハ程度、差ガ非常ニ異リ public school ハ程度ガ最も高シ grammar school ハソレニ次ギ、伝統的テアリ、且ツ地方的ナモ、テアル。

新ラニイテ、中等学校トシテ county municipal secondary school ガアル。

アメリカノ中等学校ハ Latin grammar school スハ Academy カラ発達シテ今日ノ High school トナリ、ソレモ、テアル。コノ High school ハ小学校、八ヶ年ニ經ク四ヶ年ヲ以テ修業年限トシタガ、時代ノ要求カラ小学校六年カラスル Junior High school ガ出来テ大都市ニハ両者併置ノ学校ガアル。ドイツ

ノ中等学校ハ世界大戦前ニハ Vor-schule 前校カラ戦後ハ Volksschule、下、四年カラ範クモ、テアリ、下、四年ヲ最近迄ハ Grundschule ト云フテキタ。當ツテ九年中学ト称セラレタ Gymnasium ト Realgymnasium, Oberrealschule、ミツガアツク、ヲ世界大戦後 Deutsche Oberschule, Aufbau schule ト云フニツ、新ラシイ型ガテキ、ヲ三ヶ年、改正ヲ以テ Deutsche Oberschule ヲ以テ本体トスルコトニナリ、且ツ九年ヲ八年トスルニ至ツタ。フランスノ中等学校メル Lycee College ハ七年テアリ、Division Préparatoire カラ入ルモ、テアルガ大戦後

コ 予備級ト小学校ヲ余、十ヲ共置ニスレトニ
シテ小学校カラモ入り得レト、シヤ。

専門教育、学校トシテハ農、工、商、等、実
業学校、師範学校、各種専門学校（三十歳以上
ノモ）及ビ大学ガアル

英国、大学ハ Oxford, Cambridge 大学
ノ如キ古式大学ト London 大学, Manchester
大学等、新式ノ大学ガアツテ、後者ハ十九世紀
ニ至リテ始メテ出来ヤ。

米国、大学ハ、程度カマケマケテアツテ、
通常 High school, 上ニ College ガ四年
リ、上ニ大学院 Graduate ガ二年、又新シイ
制度トシテ Junior College ガアル。

ドイツハ Höhrnschule = 於テ大学入学
資格試験ヲ合格シヤモ、ヲ入レル。フランス
ハ Lycée ヲ Collège, 卒業生ヲ入レル。

英国、初等教員養成ハ Secondary School
ノ卒業生ヲ十八歳以上、モ、ヲ收容シテ Train-
ing College, 一十年卒業生ト、大学ノ Train-
ing Department ヲヲ集メテ、之ハ学士々
ト共ニ教育、修養ヲスレモ、テアル。十ホコ
ノ外ニ十六才以上、若クハ收容シテ実習、上ニ、

Training College ヲ卒業セシムル

Student Teacher System ガアル。米国、初
等教育ハ High school, 上ニ四年、Teachers'
College 及ビ Normal School ヲ養成スル。
ドイツ、初等教育ハ Höhrnschule, 卒業
者ヲ二年、Hochschule für Lehrer =
入レテ卒業セシムルモ、テアツテ中等教員ハ、
大学卒業者ヲ試補トシテ二年間実習ヲヤラセヤ
後、試験、上ニ教諭トスル。世界大戦後、

Pädagogische Institut, 又ハ Pädagogische
Academie ヲ教育シテ四年、上ニ Vazis = +
リテカラ Hochschule für Lehrer ヲ教
育スルヤウニナツタ。

フランス、初等教員ハ師範学校、卒業者ニ二
年間、試補ヲ経テ教員ヲスル様ニナツテアル。
中等教員ハ高等師範学校、卒業者ヲ以テスル。
ソ、中ニ師範学校及ビ高等小学校、教師ハ初等
教員師範学校ヲ卒業シヤモ、ガアル。

特殊教育、中ニ、盲学校ハ盲人ニ普通教育及
ビ職業教育ヲ施ス所ナリ、莫学、失明セラレテヨ
リ急速ニ発達ヲナシタ。ソ、近頃ハ、1794
年フランス、Hainy (1745~1822) =ヨ

ルモ、テアリ、我が國ハ明治十一年京都、訓育院ヲ始メテ行ハレタ、聾啞学校ハ、1760年 L'pée (1712~1789)ガ Paris 于テ開イタ、ガ始メテ、1787年ニハ Heinicke (1727~1790)ガ、ドイツニ開イタガ、ソレ迄ノ指話法ニ代フルニ口話法ヲ以テシテ大ナル進歩ヲナシタ。

低能児学校又ハ補助学校ハ十九世紀ノ後半カラ漸ク発達シタモノテアツテ、白痴学校ハ1828年ニ Salzburgニ開カレタ、ガ始メテアル。孤児院ハ Greek 時代ニアルガ1695年ニドイツ人、Franckeガ開イタ、ガ始メテアル。又麻痺病、子供ヲ教育スル治療学校又感化院等ガアル。

第十五章 家庭教育及ヒ社会教育

家庭ハ自然ノ力ニコソテ感化影響ヲ与フル場所ヲアツテ、個性ニ直スル教育ヲナシ得ル特色ガアル。十七世紀ニ Comeniusハ Mutter Schuleト呼ンテ母ニコソテ各教科、基礎的ノ習熟ヲ与ヘルベキコトヲ詳シク述べテキルガ

Pestalozziハ母ノ Wohnstubeノ理想的ニ教育場ト爲ヘテ國民教育ヲ母ト子供自身ニ授ケル事ヲ述ベテキル。Gertrudハ紡績ヲ教ヘルト共ニ読書、計算ヲ教ヘテキル。然レニ社会ノ変遷ガ教育場トシテノ家庭ノ力ヲ少クシタ、テ幼稚園ヤ託児所等ノ施設ガ起リ、父兄ト学校トノ聯絡ガ認めラレ、米國ニ於テハ最も父兄教師会ガ発達シテキル。

学校教育ガ進歩シタ今日ニ於テモ社会教育ノ必要ハ益々緊要ノ事トナツテ來タ、我が國ニ於テハ明治十四年ニ文部省ニ通俗教育調査員会ガ設ケラレテ大正二年ニソノ代リニ普通学務局ガ設ケラレテ大正八年ニ各府縣ニ社会教育主事及ビ主事補ガ設ケラレル様ニナツタ。社会教育ハ職業ニ従事シツ、アル青年又ハ成人ノ爲ニ行ハレルモノテアルカラ、ソノ教育ハ主トシテ科学教育特ニ職業教育ニ基礎ヲ置クモノテアル。徳育教育、公民教育ハ学校ノヤリシモノヲ補ヒ、宗教教育ハ学校ノ如キ制限ガ一イカラ一層ヨク行ハルベキナル。又趣味ノ爲、美育又ハ保健ノ爲、体育ニカテ蓋スベキナル。之等ノ各方面ノ事ヲナス爲ニ第一ニ学校ノ開放、即チ講堂教

教育
の
進
歩
に
関
し
て
の
考
察
三
内
終

育等ヲ用ヒ、運動場ヲ公衆、体育ノ為ニ貸与シ学校
 標本室ハ公衆、博物館、図書室ハ公衆、図書館ニスル
 尚講義ヲ一部開放スル事ハ江戸時代ニ行ハレタ
 所ナリソテ仰高門日講カソレテアル。一層積極的ニ
 広張ノ方法ヲ取ルベキテアル。ソレヨリモ尚ホ
 積極的ニモハ特別ニ学校ノ設置テアル。英國ニ於テ
 Laskin 大学、London、労働大学、ドイツニ於テ
 Berlin、Volkshochschule 等ハ規模、大ナルモテ
 アル。図書館、博物館、施設ハ最も大切ニモテアル
 ソ、中ニ於テ教育的指導的取扱ヲナス事が必要ナル。
 劇場、映画館、ラヂオハ社会教育施設トシテ考慮サ
 ルベキナル。諸種ノ教化団体ハ直接社会教育ニ
 当ルモノナル。中ニ労働者団体ハ、中ニ訓育ニ当ルモノ
 ナリ。ソ、他ニ体操会、遠足会或ハ登山会、
 Sports 会等モ体育ト訓練ヲ目指スモノナル。
 持ニ幼児ノ為、託児所、青少年ノ為、青少年団、持ニ
 Boy Scout、Y. M. 青年団ソ、他多クノモノガアリ、
 ソ、起源ハ英國ナル場合カ多イ。

— (終) —

～ 試験注意 ～

試験ニハ教育ノ本質、教育学、教育ノ目的、教授ノ任務、
 目的、教材、統合、合化、Active + method, Arbeit-
 schule, 種々ノ Method ヲ調ベテオク様ニ入テ教授
 ノ注意カアツタ。

教育学概論 (一) 正誤表

頁	行	(誤)	(正)
7	下ヨリ7	克明德	克明明徳
3	下ヨリ8	治	陶冶
10	8	者教育	看即今教育
15	5	時所	時ト所
"	14	一般的 値	一般的價值
"	16	論	論文
18	下ヨリ7	コトガアルガ	コトデアルガ
25	6	取扱ヒ以上	取扱フ以上
30	9	見ルコト	見ラルルコト
31	1	多様同様	多様ニ同様
33	2	徳育	教育
39	2	金テガ芽	金テガ細
"	12	出来ルガ決マテ	出来ルガ全ク成ルハ決マテ
43	1	悪デナクテ	悪デハナク

~~~~~



Faint, illegible text on a light-colored page with a ragged right edge.



特 219

6

177

昭和十三年四月三日印刷  
昭和十三年四月十日發行

編輯人 中 川 澈

發行人 坂 井 十 二 郎

印刷所 帝大プリント聯盟印刷部

發行所 「帝大プリント聯盟」

東京市本郷區根津町七十四番地  
電話東京一三三五七七番

【製複許不】



特 219

6